

南江堂

看護学テキスト2024

看護学テキスト

NiCE

NiCEシリーズ

■ 看護学原論 改訂第3版	[p.04]	■ 精神看護学Ⅰ こころの健康と地域包括ケア 改訂第3版	[p.26]
■ 基礎看護技術 改訂第3版	[p.05]	■ 精神看護学Ⅱ 地域・臨床で活かすケア 改訂第3版	[p.27]
■ ヘルスアセスメント 改訂第2版	[p.06]	■ 災害看護 改訂第4版	[p.28]
■ 看護倫理 改訂第3版	[p.07]	■ 国際看護	[p.29]
■ 看護理論 改訂第3版	[p.08]	■ 看護管理学 改訂第3版	[p.30]
近刊 ■ 地域・在宅看護論Ⅰ 総論(仮) 改訂第3版	[p.09]	■ 医療安全	[p.31]
近刊 ■ 地域・在宅看護論Ⅱ 各論(仮) 改訂第3版	[p.10]	■ 感染看護学	[p.32]
■ 成人看護学 成人看護学概論 改訂第4版	[p.11]	■ 家族看護学 改訂第3版	[p.33]
■ 成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 改訂第4版	[p.12]	近刊 ■ 看護教育学 改訂第3版	[p.34]
■ 成人看護学 急性期看護Ⅱ クリティカルケア 改訂第4版	[p.13]	近刊 ■ 看護関係法規 改訂第2版	[p.35]
■ 成人看護学 慢性期看護 改訂第4版	[p.14]	新刊 ■ 看護と研究 根拠に基づいた実践	[p.36]
■ 成人看護学 成人看護技術 改訂第3版	[p.15]	■ 病態・治療論シリーズ [p.38]	
■ リハビリテーション看護 改訂第3版	[p.16]	【1】病態・治療総論	
■ エンドオブライフケア	[p.17]	【2】呼吸器疾患 近刊	
■ がん看護	[p.18]	【3】循環器疾患	
■ 緩和ケア 改訂第2版	[p.19]	【4】消化器疾患	
■ 老年看護学概論 改訂第4版	[p.20]	【5】内分泌・代謝疾患	
■ 老年看護学技術 改訂第4版	[p.21]	【6】血液・造血器疾患	
■ 小児看護学Ⅰ 小児看護学概論・小児看護技術 改訂第4版	[p.22]	【7】腎・泌尿器疾患 近刊	
■ 小児看護学Ⅱ 小児看護支援論 改訂第4版	[p.23]	【8】脳・神経疾患	
■ 母性看護学Ⅰ 概論・ライフサイクル 改訂第3版	[p.24]	【9】運動器疾患	
■ 母性看護学Ⅱ マタニティサイクル 改訂第3版	[p.25]	【10】感染症/アレルギー/膠原病	
		【11】皮膚/耳鼻咽喉/眼/歯・口腔疾患	
		【12】精神疾患 近刊	
		【13】産科婦人科疾患	
		【14】小児疾患	
		■ 生化学	[p.39]
		■ 薬理学	[p.40]
		■ 微生物学・感染症学	[p.41]
看護過程シリーズ		看護テキスト	
■ 根拠がわかる母性看護過程	[p.42]	■ かんたん看護研究	[p.45]
■ 根拠がわかる疾患別看護過程	[p.43]	近刊 ■ 基礎看護学テキスト	[p.46]
近刊 ■ 根拠がわかる症状別看護過程	[p.44]		

教科書データサービス
のご案内



このマークが対応教科書の目印です。



電子版のご案内

- ご採用教科書の図表データをダウンロードしてお使いいただけるサービスを行っております。詳細、対象銘柄は本カタログ裏表紙をご覧ください。
- 本誌掲載テキストの目次、サンプルページは、www.nankodo.co.jpにてご覧いただけます。
- 教科書電子版の取扱いもございます。詳細につきましては弊社営業部までお問い合わせください。
()の記載がない銘柄は、電子版の取扱いがない場合もございます。

南江堂

教科書 電子版

取り扱いのご案内

南江堂の教科書の
電子版が
「医書.jp」にて
取扱い開始



対象書籍には当パンフレット内で  がついています！

詳細につきましては南江堂営業部（Tel：03-3811-7256）までお問い合わせください。
Web からのお問い合わせも受け付けております。

<https://www.nankodo.co.jp/r/r131020/>



おかげさまでシリーズ発行から16年 シリーズ全50巻がラインナップ NiCEシリーズはこれからも進化し続けます

看護学テキストシリーズとしては後発ながら、『看護倫理』『看護理論』『家族看護学』『看護教育学』といった従来のテキストシリーズにはない看護の基盤となるテキストをシリーズの基幹と位置づけ発行してきました。

経過別で学ぶ成人看護学シリーズでは『成人看護学 急性期看護Ⅰ・Ⅱ』『成人看護学 慢性期看護』『成人看護学 成人看護技術』はこの分野をリードするまでに成長しました。

さらに近年、『エンドオブライフケア』『感染看護学』など新しい分野にも挑戦しています。

**看護学テキストNiCEシリーズは、
高度化する医療や社会のニーズに応え、
これからの時代を切り拓く看護職の育成に
寄与することを目指した、
新しい看護学テキストシリーズです。**

【NiCEコンセプト】

New
新しい

看護の視点を重視し、最新の考えを取り入れる

時代の先を見越し、新しい視点を取り入れ、最新の考えや看護を学ぶことができます。

Integrated
学びと実践の統合

学んだ知識を看護実践に結び付ける

学んだ知識がどのように看護実践につながるのかを学ぶことができるよう、事例と看護過程の例を提示します。

Creative
創造性のある

学びを深め創造性ある看護実践へ

各項目に掲載した学習課題や演習課題などを通して、学びの振り返りや思考を促すことで、より深い学びとなり、創造性の基盤が育まれます。

Evidence-based
根拠に基づいた

根拠に基づいた看護実践を

看護実践・看護技術を、応用可能な実践・技術として習得できるよう、根拠を重視して記載しています。

【NiCEシリーズポータルサイトのご案内】

さまざまなコンテンツをご用意しています

- ・シリーズラインナップと書誌情報
- ・国試対照表
- ・サポート情報
- ・正誤表・リーフレット



こちらから→

<https://text.nankodo.co.jp/nice/>



看護学原論

看護の本質的理解と創造性を育むために

改訂第3版



編集 高橋照子 愛知医科大学

B5判・258頁 2020.3. ISBN978-4-524-24992-3 定価2,750円(本体2,500円+税10%)

！ 改訂のポイント 必要要素をやさしくコンパクトにまとめた読みやすい看護入門テキスト

- ▶ 各章・各節の冒頭に、その章・節の学びの意図を示す導入文を新たに挿入しました。
- ▶ 経過別看護(健康の維持・増進期、急性期、慢性期、リハビリテーション期、終末期における看護)の考え方を学べるよう、「看護実践の展開」の節を設けました。
- ▶ 看護師国家試験出題基準平成30年版に対応しました。

本書の特長

- ✓ 看護入門テキストとして、「看護」「看護学」についての確かな基盤を培うことができます。
- ✓ 国際看護、災害看護、医療安全の項目も充実し、カリキュラムの「看護の統合と実践」の基本も学べます。
- ✓ 看護職に就いてからも、「看護とは何か」について見つめ直すときに有用な一冊となっています。

執筆

高橋 照子 愛知医科大学	白鳥さつき 一宮研伸大学
唐田 順子 山口県立大学	高谷 嘉枝 姫路大学
鈴木はるみ 前西武文理大学	小西恵美子 長野県看護大学名誉教授／鹿児島大学
菅野 夏子 姫路大学	友納 理緒 土肥法律事務所
小田 正枝 徳島文理大学名誉教授	伊勢田暁子 前日本看護協会
中山美由紀 大阪府立大学	野村 陽子 名寄市立大学
高見 千恵 兵庫大学	香春 知永 武蔵野大学
藤井 可苗 関西福祉大学	黒澤 昌洋 愛知医科大学
渡邊美千代 前愛知医科大学	斉藤 早苗 梅花女子大学
倉田 節子 鈴鹿医療科学大学	
富岡 美佳 姫路大学	

目次

第Ⅰ章 看護とは

1. 看護の本質
2. 看護の歴史
3. 変化している看護
4. 地域基盤の看護と看護の継続性

第Ⅱ章 人間・家族・集団・地域の理解

1. 全体の人間
2. 生活者としての人間
3. 健康とウェルネス
4. 家族と看護
5. 集団・地域と健康
6. 災害と看護
7. 国際社会と健康

第Ⅲ章 人間の心理・社会的理解

1. 自己と他者
2. ストレス、コーピング
3. セクシュアリティ
4. スピリチュアリティ

第Ⅳ章 看護実践の基盤

1. 看護実践における技術
2. 医療安全
3. 看護実践と倫理
4. 看護と法
5. 看護と経済
6. 看護と政策

第Ⅴ章 看護の展開

1. 看護実践とクリティカルシンキング
2. 看護過程
3. 看護実践の展開
4. 看護情報管理

第Ⅵ章 チーム医療と看護

1. チーム医療とは
2. 保健・医療・福祉における看護
3. 多職種連携・協働と看護職の役割

第Ⅶ章 看護の専門性の探求

1. 専門性への道程
2. 看護の専門職性
3. 専門領域の確立と展望

第Ⅷ章 看護・看護学の展望

1. 看護における実践・研究・理論
2. 看護実践と研究
3. 看護実践と理論
4. 看護・看護学の展望と課題

128 第Ⅳ章 看護実践の基盤

6 ● よさを認め合う職場環境

職場は、よくないこと、困難なことだけでなく、よいこと、正しいことも数多くある。上記の事例からわかるように、1つの視点を論理的にみるには、問題志向の目だけではなく、よいことをみる目も大切である。

実践の場は、隠れたカリキュラムといわれ¹³⁾、看護職や看護学生は、他の看護職の実践を観望し、患者から感謝の言葉をもらい、あるいは自分が行ったよいケアを振り返ることを通して、生きた倫理を学んでいる。以下の事例は、そのことを示す看護職の語りである。

事例 6

流れの読める先輩

「私のプリセプターさんですが、患者さんに対する柔軟な発想をみて、あー素敵と思えました。(中略) その先輩をみてると、やっぱり先のことか、たとえば検査にしても、この検査をした方がいいかなとか、あるいは、輸血のために採血をしたら、その採血は患者さんですか、何かをみて、その検査の流れっていうのを事前に、必要な情報をあげられていくのがすごくいいなって思います」¹⁴⁾

この例のように、看護職が示すよさは患者に伝わり、そして同僚の看護職をも感化して、生きた倫理の学びとなっている。看護の職場はそのような学び合いを育てる環境でありたい。

事例 7

患者さんからの言葉の贈り物

「オペ後ですと寝たきりで、とても不安な強いターミナルの患者さんが出て、そのときに、私はゆっくり話を聞いていて、徐々に眠られるときに、「ゆっくりと優しい笑顔で話を聞いてくれたらいいなって思っていた。ここまででいいかなって思っています」というような言葉をいただいたことがあって、それはとても嬉しかったです。(中略) 看護職の患者さんだったって、自分からも同じ状況だったということも考えて、なるべく意識して患者さんのベッドサイドに行きつて話を聞くことを意識していたと思います」¹⁵⁾



身近な場面の『事例』を通して、看護の基礎を培います

先生のこえ

- ➡ 看護「学」の基本理念をしっかりおさえていて、学生がこれから歩むべきの道筋を示したよい「入門書」である。
- ➡ 初学者にもわかりやすく書かれているので、自習させレポートの課題としても活用している。

基礎看護技術

改訂第3版

看護過程のなかで技術を理解する



編集 香春知永 武蔵野大学 齋藤やよい 秀明大学

B5判・528頁 2018.3. ISBN978-4-524-25608-2 定価4,620円(本体4,200円+税10%)

！ 改訂のポイント 技術の意義・根拠が豊富で看護実践能力向上をはかるテキスト

- ▶ Skill表の体裁を刷新。「根拠」や「注意」を一目で把握できるようになりました。
- ▶ 動画をDVDではなくQRコードから読み取る形式に変更。自己学習に活用しやすくなりました。

🔍 本書の特長

- ✓ 看護技術を単なる手順としてではなく、「看護」を実践する技術として理解できるように、アセスメントから診断、計画、実施、評価までの看護過程の展開のなかに位置づけて学習する構成としました。看護の受け手となる人々に応じた、個別の“生きた看護技術”を提供するための基盤を培うことができます。
- ✓ 具体的な事例と設問を通して、看護技術の理解を促し臨機応変な思考力(クリティカルシンキング)を培うことができます。

✍ 執筆

香春 知永	武蔵野大学	角濱 春美	青森県立保健大学
林 智子	三重大学	縄 秀志	聖路加国際大学
松谷美和子	聖路加国際大学名誉教授	大河原知嘉子	東京医科歯科大学
南川 雅子	帝京大学	齋藤やよい	秀明大学
佐藤 淑子	大阪府立大学	石田 陽子	山形大学
大久保暢子	聖路加国際大学	安ヶ平伸枝	前聖路加看護大学
菊池 和子	岩手県立大学名誉教授	安島 幹子	日本赤十字看護大学
野崎真奈美	順天堂大学	只浦 寛子	国際医療福祉大学
真砂 涼子	前群馬パース大学	徳永 恵子	前宮城大学
水戸 優子	神奈川県立保健福祉大学	野村 美香	神奈川県立保健福祉大学
塚越みどり	横浜市立大学	射場 典子	認定NPO法人健康と病いの語りディベックス・ジャパン

📖 主要目次

第Ⅰ章 看護技術とは

第Ⅱ章 看護ケアのプロセスにかかわる看護技術

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. クリティカル・シンキング | 4. コミュニケーション |
| 2. 看護過程 | 5. 教育・相談 |
| 3. 記 録 | |

第Ⅲ章 看護実践に統合される基本的看護技術

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 安 全 | 4. ヘルスアセスメント |
| 2. 感染予防 | 5. 与薬にかかわる技術 |
| 3. バイタルサインズ | 6. 治療・検査にかかわる技術 |

第Ⅳ章 基本的ニーズ充足に向けた看護技術

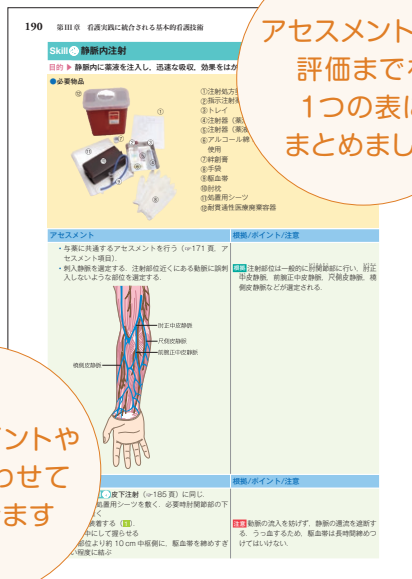
- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 1. 環境・衛生 | 5. 体温調節 | 9. 体液バランス |
| 2. 活動・運動 | 6. 睡 眠 | 10. 排 尿 |
| 3. 清 潔 | 7. 安 楽 | 11. 排 便 |
| 4. 呼 吸 | 8. 食事・栄養 | |

第Ⅴ章 特殊なニーズ充足に向けた看護技術

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 皮膚・粘膜の障害 | 3. 悲嘆(グリーフ) |
| 2. 生命の危機状態 | |

技術のポイントや根拠もあわせて確認できます

アセスメントから評価までを1つの表にまとめました



🔊 先生のこえ

- ➡ サブタイトルの通り、看護過程の展開のなかで看護技術がどう位置づけられているかをおさえていて、より実践的な技術を学ぶことができるテキストである。
- ➡ 各技術にカラー写真やその根拠となる解説があり、基礎をしっかりと学習でき、看護実践能力の向上をはかりやすい構成になっている。

🎥 動画収録技術(収録時間約36分)

Skill 01	手洗い	Skill 08	持続的導尿
Skill 02	リネン交換	Skill 09	グリセリン浣腸
Skill 03	体位変換 (仰臥位から側臥位へ)	Skill 10	口腔内吸引
Skill 04	注 射	Skill 11	車椅子移乗
Skill 05	点滴静脈内注射	Skill 12	口腔ケア (意識障害のある患者)
Skill 06	採 血	Skill 13	包帯法
Skill 07	排泄介助(便器の当て方)		

ヘルスアセスメント

改訂第2版

臨床実践能力を高める



編集 三上れつ 慶應義塾大学名誉教授 小松万喜子 中部大学
B5判・270頁 2017.10. ISBN978-4-524-25748-5 定価3,960円(本体3,600円+税10%)

！ 改訂のポイント ヘルスアセスメントの基本を、豊富な図表や動画を通して解説したテキスト

- ▶ 心理社会的側面のアセスメントをより充実させ、考え方の背景にある理論についても初学者にわかりやすいように整理しました。
- ▶ 前版ではDVDに収載していた動画を、紙面に掲載したQRコードを読み取りWebで再生するかたちに変更。アセスメントの重要ポイントを明確に記載し、動画を閲覧しながらさらに理解を深める内容としました。

本書の特長

- ✓ 人体の構造と機能の基礎知識やフィジカルアセスメントの技術の確かな理解を図るために、人体構造のイラストや診査時の写真を数多く掲載しました。
- ✓ フィジカルアセスメント熟達者による実演動画を付録。本文と動画を併用して、身体診査技法が確実に身につきます。
- ✓ フィジカルアセスメントだけでなく心理社会的側面からのアセスメントについても解説。対象を全人的にとらえ、看護過程をふまえたアセスメントを身につけられるように構成しました。

執筆

三上 れつ 慶應義塾大学名誉教授 広瀬 会里 愛知県立大学
小松万喜子 中部大学 籠 玲子 愛知県立大学
熊谷たつき 国際医療福祉大学 高植 幸子 椋山女学園大学
片岡 純 愛知県立大学 佐藤 美紀 愛知県立大学
山口 直己 豊橋創造大学 石田 陽子 山形大学
曾田 陽子 愛知県立大学 土井 由美 慶應義塾大学病院
早瀬 良 中部大学 高田 幸江 武蔵野大学
福井 里佳 慶應義塾大学 ◎動画実演
服部 淳子 愛知県立大学 山口 貴子 人間環境大学
千村智香子 前千葉県立保健医療大学

主要目次

第Ⅰ章 ヘルスアセスメントの概要

1. 看護過程とヘルスアセスメント
2. ヘルスアセスメントの基本技術
3. アセスメントの具体的な進め方

第Ⅱ章 対象を理解するための系統的アセスメント ——ゴードンの機能的健康パターンに沿って

1. 身体的側面のアセスメント
2. 心理社会的側面のアセスメント
3. 背景となる理論
 - 3-1. 健康信念モデル、計画的行動理論
 - 3-2. 病みの軌跡
 - 3-3. 自己効力感
 - 3-4. 自己概念
 - 3-5. 自尊感情(自尊心)
 - 3-6. 役割理論
 - 3-7. 発達理論
 - 3-8. 家族看護学で用いられる諸理論
 - 3-9. 悲嘆過程
 - 3-10. ストレス・コーピング理論、危機理論
 - 3-11. レジリエンス
4. 対象を理解するための系統的アセスメント——事例

第Ⅲ章 フィジカルアセスメント

1. フィジカルアセスメント総論
2. 外皮系
3. 特殊感覚(眼、耳、鼻、舌)
4. 筋・骨格系
5. 神経系
6. 呼吸器系
7. 循環器系
8. 消化器系
9. 腎・泌尿器系、男性生殖器
10. 女性生殖器
11. 乳房

先生のこえ

- ➡ 動画がわかりやすい! 学生が自分で繰り返し学習できるように工夫されている。
- ➡ 写真やイラストに診査技術の留意点が添えられており、学生の自己学習へも配慮されている。

動画収録内容(動画数69, 収録時間約44分)

- 1 フィジカルアセスメント総論
- 2 外皮系
- 3 特殊感覚
- 4 筋・骨格系
- 5 神経系
- 6 呼吸器系
- 7 循環器系
- 8 消化器系
- 9 腎・泌尿器系
- 10 乳房
- 11 聴診音



看護倫理

よい看護・よい看護師への道しるべ

改訂第3版



編集 小西恵美子 鹿児島大学

B5判・292頁 2021.1. ISBN978-4-524-22508-8 定価2,530円(本体2,300円+税10%)

！ 改訂のポイント 看護倫理を身近な事例から読み解く好評テキスト

- ▶「ケアの倫理」「尊厳」「道徳的感受性」「共感」など、近年、注目が高まっている概念について項目を新設しました。
- ▶社会的要配慮者(認知症、難病、貧困等)、性と生殖、身体拘束、ハラスメントなどの問題を取り上げ、社会の変化を反映しました。
- ▶「4ステップ事例検討シート」にケアの倫理の視点を取り入れ、リニューアルしました。

本書の特長

- ✓ 学生にとって一見難解な倫理問題を学習しやすいように、日常生活で感じる「よい」「わるい」の価値判断を手がかりに、事例を多用し、倫理の学びを進めます。
- ✓ 「和」「礼」「徳」など、日頃の看護で意識しない伝統的な価値観についても解説。
- ✓ 看護師が直面する倫理的問題を分析し意思決定をしていく過程を助ける「4ステップモデル」を提案。「4ステップ事例検討シート」を道案内に考えていきます。

執筆

小西恵美子 鹿児島大学	高橋 梢子 島根県立大学
八尋 道子 佐久大学	麻原きよみ 聖路加国際大学
彭 美慈 元香港理工大學	山下 早苗 静岡県立大学
蔡 小瑛 梅花女子大学	大西香代子 前甲南女子大学
中村 充浩 東京有明医療大学	小笹 由香 東京医科歯科大学病院
太田 勝正 東都大学	杉浦 絹子 名古屋女子大学
石本 傳江 前聖カタリナ大学	河原 宣子 京都橘大学
鈴木真理子 長野保健医療大学	船山 健二 新潟県立看護大学
山本八千代 安田女子大学	勝原裕美子 オフィスKATSUHARA
平野 亙 前大分県立看護科学大学	阿部 洋子 前水戸赤十字病院
小野 美喜 大分県立看護科学大学	
前田 樹海 東京有明医療大学	
Anne J.Davis カリフォルニア大学サンフ	
ランシスコ校名誉教授／	
長野県看護大学名誉教授	

主要目次

第Ⅰ章 看護倫理についての基礎知識

1. 倫理の基礎
2. 看護倫理の基礎
3. 看護倫理の歴史的推移

第Ⅱ章 看護倫理のアプローチ

1. 徳の倫理
2. 原則の倫理
3. ケアの倫理

第Ⅲ章 看護倫理に関係する重要な言葉

1. 和
2. 共同体、家、親孝行、礼、面子、和—東アジアの文化と倫理
3. コンパッション—思いやりの心
4. 共感
5. 道徳的感受性と道徳的レジリエンス
6. 専門職
7. 対象者を中心とした看護
8. 患者の尊厳
9. 看護アドボカシー
10. 協力和協働
11. パターナリズム
12. 個人の権利
13. 看護職の責任—倫理的責任と法的責任
14. インフォームド・コンセント
15. 情報プライバシーと守秘義務
16. 災害におけるトリアージ

第Ⅳ章 倫理的意思決定のステップと事例検討

第Ⅴ章 ささまざまな看護活動と倫理

1. 人生の最後を生きる人々への看護と倫理
2. 地域看護と倫理
3. 小児看護と倫理
4. 精神科看護と倫理
5. 性と生殖をめぐる看護と倫理
6. 遺伝看護と倫理
7. 異文化間の看護と倫理
- A. 文化と倫理:
- B. 在日外国人の看護と倫理
- C. 途上国における看護支援と倫理
- D. 文化背景の異なる看護師との協働

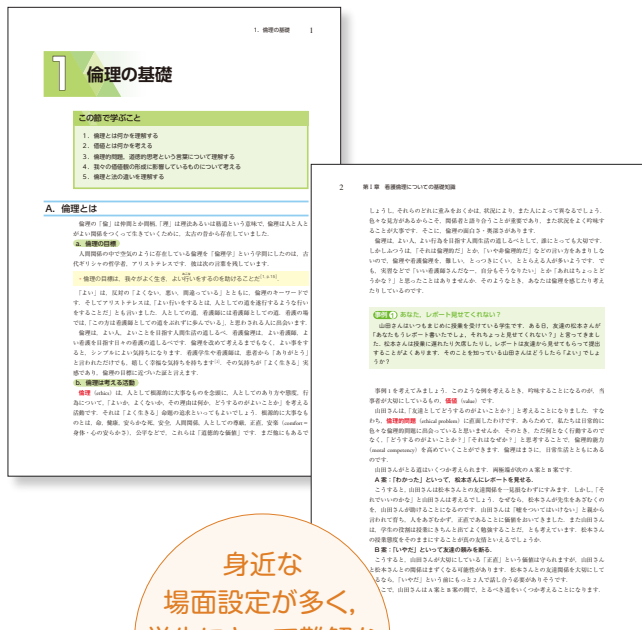
第Ⅵ章 社会的要配慮者の看護と倫理

1. 認知症
2. 難病—筋萎縮性側索硬化症(ALS)を中心に
3. 貧困
4. 家庭内で起こる虐待
5. 受刑者
6. 障害者

第Ⅶ章 その他の看護活動と倫理

1. 看護管理者の役割と倫理
2. 看護部倫理委員会

第Ⅷ章 看護研究における倫理



看護理論

看護理論21の理解と実践への応用

改訂第3版



編集 筒井真優美 日本赤十字看護大学名誉教授

B5判・306頁 2019.7. ISBN978-4-524-24948-0 定価2,530(本体2,300円+税10%)

！ 改訂のポイント 看護実践の支えとなる代表的な21の理論を読み解くテキスト

- ▶ 初学者へ配慮したていねいな記述を徹底し、情報もアップデートしました。
- ▶ 新たにキャサリン・コルカバ(コンフォート理論)を追加しました。

本書の特長

- ✓ 第一線で活躍している研究者が最新の知見をもとに代表的な21の理論を解説。看護実践の支えとなる理論を、具体場面を織り交ぜながら読み解くことで、臨床現場での応用に結びつける思考力を培うことができます。
- ✓ 「看護」から「看護科学」に至るまでの歴史がつながりをもって発展してきたことを理解できるように構成しました。

執筆

筒井真優美	日本赤十字看護大学名誉教授	岡谷 恵子	四天王寺大学
川原由佳里	日本赤十字看護大学	草柳 浩子	上智大学
川嶋みどり	日本赤十字看護大学名誉教授	坂口 千鶴	日本赤十字看護大学
守田美奈子	日本赤十字看護大学	江本 愛子	前三育学院短期大学
池田 明子	北里大学名誉教授	江本 リナ	日本赤十字看護大学
宇佐美しおり	四天王寺大学	鈴木真知子	京都大学名誉教授
田中 真琴	東京医科歯科大学	山口 未久	京都府立医科大学
数間 恵子	前東京大学	高橋 照子	四天王寺大学
兼松百合子	岩手県立大学名誉教授	小西恵美子	長野県看護大学名誉教授
宮脇美保子	慶應義塾大学名誉教授	佐藤 紀子	東京慈恵会医科大学
矢野 正子	聖マリア学院大学名誉学長	川名 るり	日本赤十字看護大学
舟島なをみ	清泉女学院大学	西田 志穂	共立女子大学

主要目次

第Ⅰ章 総論

1. 看護とは
2. 看護理論とは
3. 看護理論を実践にいかす
4. 看護理論の歴史と動向

第Ⅱ章 各論：看護理論21の理解と実践への応用

1. フロレンス・ナイチンゲール
2. ヴァーヂニア A.ヘンダーソン
3. アーネスティン・ウィーデンバック
4. ヒルデガート E.ペプロウ
5. マーサ E.ロジャース
6. ドロシー E.オレム
7. ドロシー E.ジョブソン
8. マイラ E.レヴァイン
9. フェイ G.アブデラ
10. アイモジン M.キング
11. アイダ J.オーランド
12. ジョイス・トラベルビー
13. マドレーヌ M.レイニンガー
14. マーガレット・ニューマン
15. シスター・カリスタ・ロイ
16. マール H.ミッシェル
17. ローズマリー・リゾ・パースィ
18. ジーン・ワトソン
19. ノラ J.ペンダー
20. バトリシア・ベナー
21. キャサリン・コルカバ

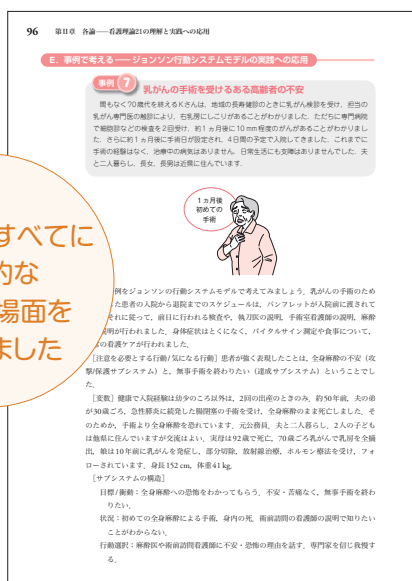
注：上記1～21は以下の項目で構成

- | | |
|-----------|--------------|
| A. 理論家の紹介 | D. 理論のクリティーク |
| B. 理論の源泉 | E. 事例で考える |
| C. 理論の概要 | |

付録

本書における看護理論家一覧／看護の歴史

21の理論すべてに
具体的な
『事例』場面を
設定しました



先生のこえ

- ➡ それぞれの理論にある『E. 事例で考える』は具体的かつ日常的な場面設定が多く、学生の主体的な思考活動を促す工夫がされている。
- ➡ 看護に携わる者として、どのように社会の要請や看護の課題に応じていくか。その基礎となる考えを身につけるために、学生に読んでほしい一冊である。

地域・在宅看護論 I

総論(仮)

改訂第3版

サブタイトル未定

近刊



編集 石垣和子 前石川県立看護大学
上野まり 前自治医科大学

徳田真由美 公立小松大学
辻村真由子 滋賀医科大学

B5判・316頁
2023年12月発売予定
本体予価2,600円+税10%

！ 改訂のポイント 地域・在宅看護の実践の土台となる知識を網羅的に学べるテキスト

- ▶ 新カリキュラムの「地域・在宅看護論」に対応し、前版『NiCE在宅看護論 改訂第2版』から全面リニューアル。
- ▶ 地域で生活する人々の理解や、地域包括ケアシステムの下で多様化する療養の場における看護の理解をめざし、基盤となる考え方や仕組みを学ぶ『NiCE地域・在宅看護論 I』と、在宅での看護の実践を学ぶ『同 II』の2分冊としました。

本書の特長

- ✓ 療養者の自分らしい生活の継続を支える看護をめざし、地域・在宅看護が必要とされる社会的背景やシステム、実践の場において求められる看護師の姿勢や考え方などを初学者向けに解説しています。
- ✓ 療養の場の移行支援や、地域での療養を支えるうえで重要となる家族の理解、地域・在宅での看取りなどの解説も充実。
- ✓ 在宅看護に必要なリスクマネジメントとして、事故防止、情報管理、感染対策、災害への備え・対応等をまとめました。

執筆

石垣 和子	前石川県立看護大学	桜井志保美	石川県立看護大学
小林 宏光	石川県立看護大学	辻村真由子	滋賀医科大学
米澤 洋美	石川県立看護大学	徳田真由美	公立小松大学
金子 紀子	石川県立看護大学	上野 まり	前自治医科大学
山崎 智可	富山県立大学	山崎 潤子	緑が丘訪問看護ステーション
阿川 啓子	島根県立大学	池崎 澄江	千葉大学
菱田 一恵	順天堂大学	飯田貴映子	千葉大学
藤田 淳子	国立看護大学校	伊藤 隆子	順天堂大学
室野奈緒子	石川県立看護大学	津田 知子	滋賀医科大学
千原 裕香	石川県立看護大学	岡田 忍	千葉大学

主要目次

- 第 I 部 地域で暮らす人々の理解と支援
- 第 I 章 人々の営みの移り変わりや医療・看護の現在
- 1. 自然界における人という存在
- 2. 暮らしの知恵と専門職の誕生
- 3. 在宅医療・在宅看護・地域保健活動の発展
- 第 II 章 人々の暮らしの成り立ちと健康
- 1. 人々の暮らしを取り巻く社会
- 2. 個人の暮らしと健康
- 3. 社会・集団が暮らしに及ぼす影響
- 4. 地域の環境が暮らしに与える影響
- 5. 社会経済が暮らしに与える影響
- 第 III 章 地域の暮らしを支える保健・医療・福祉と専門職
- 1. 日本の保健・医療・福祉制度の変遷
- 2. 日本の保健・医療・福祉制度の現状
- 3. 地域包括ケアシステムと地域包括支援センター
- 4. 在宅医療
- 5. 保健・医療・福祉の専門職
- 第 IV 章 生命(いのち)と暮らしを地域で見守る看護
- 1. 地域・在宅看護とは
- 2. 地域包括ケアシステムにおける看護職の役割
- 3. 地域共生社会における看護職の役割
- 第 II 部 生活の場における看護の基盤となる知識
- 第 V 章 日本の訪問看護の現状と諸外国の在宅看護
- 1. 訪問看護制度のしくみ
- 2. 訪問看護を提供する施設や利用者の状況
- 3. 訪問看護ステーションの運営と管理
- 4. 居宅等における医行為の特徴と課題
- 5. 諸外国の在宅医療・訪問看護制度
- 第 VI 章 在宅看護の姿勢・考え方
- 1. 在宅という場の特徴
- 2. 対象者との支援関係の構築
- 3. 病状・病態変化の予測の重要性
- 4. 自立支援(セルフケア)
- 5. 「活動・参加」の促進
- 6. 人々の尊厳と権利の擁護
- 7. 意思決定の支援
- 8. 多職種協働
- 第 VII 章 地域・在宅看護における家族の理解と支援
- 1. 家族の概念・価値観
- 2. 家族を理解する
- 3. 家族への支援
- 第 VIII 章 療養の場の移行支援
- 1. 療養の場の移行とその支援とは
- 2. 入退院支援
- 第 IX 章 地域・在宅でのエンドオブライフケアと看取り
- 1. 様々な死生観と死の迎え方
- 2. 人生の最終段階にある人々への医療と看護
- 3. 地域・在宅における看取り
- 第 X 章 在宅看護におけるリスクマネジメント
- 1. リスクマネジメントとは
- 2. 情報管理
- 3. 感染対策
- 4. 災害への対応

※ サンプルページは制作中のものです。

地域・在宅看護論Ⅱ 各論(仮)

改訂第3版

サブタイトル未定

近刊



編集 石垣和子 前石川県立看護大学
上野まり 前自治医科大学

徳田真由美 公立小松大学
辻村真由子 滋賀医科大学

B5判・360頁
2024年1月発売予定
本体予価2,800円+税10%

！ 改訂のポイント ていねいな事例展開から、暮らしの場における看護の実践を学べるテキスト

- ▶ 新カリキュラムの「地域・在宅看護論」に対応し、前版『NiCE在宅看護論 改訂第2版』から全面リニューアル。
- ▶ 地域で生活する人々の理解や、地域包括ケアシステムの下で多様化する療養の場における看護の理解をめざし、基盤となる考え方や仕組みを学ぶ『NiCE地域・在宅看護論Ⅰ』と、在宅での看護の実践を学ぶ『同Ⅱ』の2分冊としました。

本書の特長

- ✓ 地域・在宅における療養支援を支える看護技術や、疾患・対象に応じた看護を具体的に解説。多職種連携のポイントについても紹介。
- ✓ 第Ⅳ章では、在宅看護で遭遇する頻度が高い場面や重要な課題について9つの事例を取り上げ看護過程を展開。
- ✓ 看護過程の展開では、療養者・家族のアセスメントの視点をわかりやすく表にまとめました。また読者が事例を理解・イメージしやすいようエコマップや情報関連図を掲載しました。

執筆

清水由加里 公立小松大学
辻村真由子 滋賀医科大学
島村 敦子 東邦大学
小此木百合香 獨協医科大学
矢口 和美 公立小松大学
岩田 尚子 東京医科大学
藤田 淳子 国立看護大学校
島田 珠美 川崎大師訪問看護ステーション
紺家千津子 石川県立看護大学
平野 和恵 介護老人保健施設えきさい横浜
角地 孝洋 小松市役所
菱田 一恵 順天堂大学
諏訪さゆり 千葉大学

湯本 晶代 千葉大学
太田 晃子 訪問看護ステーションやのいえ
篠原 裕子 足立区地域包括支援センター
嶋澤 順子 東京慈恵会医科大学
松浦 志野 順天堂大学
石垣 和子 石川県立看護大学名誉教授
上野 まり 前自治医科大学
徳田真由美 公立小松大学
宮本由香里 訪問看護ステーションリハケア芦城
森本 安紀 滋賀県立大学
新井香奈子 滋賀県立大学
彦 聖美 金城大学

主要目次

第Ⅰ章 暮らしの場で実践する生活援助技術・医療処置技術

1. 食の支援、栄養の管理
2. 排泄の支援・管理
3. 清潔・整容の支援
4. 移動・活動と休息の支援
5. 受診・服薬の支援
6. 呼吸の管理
7. 循環の管理
8. 皮膚・創傷の管理
9. 疼痛の管理

第Ⅱ章 さまざまな対象者への在宅看護

1. 要支援高齢者への在宅看護
2. 要介護高齢者への在宅看護
3. 認知症高齢者への在宅看護
4. 慢性疾患をもつ療養者への在宅看護
5. がんの療養者への在宅看護
6. 神経系難病の療養者への在宅看護
7. 疾病や障害をもつ小児への在宅看護
8. 精神疾患をもつ療養者への在宅看護
9. 異文化をもつ療養者への在宅看護

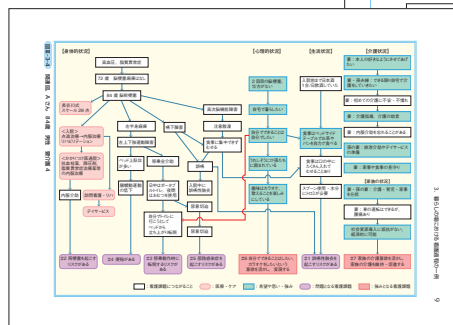
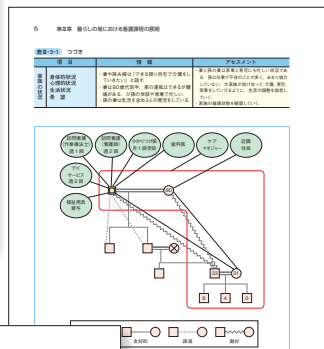
第Ⅲ章 暮らしの場における看護過程の展開

1. 在宅看護におけるアセスメント
2. 暮らしの場における看護過程の考え方
3. 暮らしの場における看護過程の一例

第Ⅳ章 事例でみる暮らしの場における看護の実践

1. 独居高齢者で要支援1のAさんの療養環境の調整
2. デイサービスを活用しながら、日中の意識状態の改善を目指すBさん
3. レビー小体型認知症により、在宅での療養が難しくなったCさんへの支援
4. COPDにより入退院を繰り返すDさんへの在宅移行支援
5. 糖尿病の血糖コントロール不良が心配されるEさんへの支援
6. 難病を患うFさんの意思表示に戸惑う家族への支援
7. 苦痛の訴えが強いがん末期のGさんへの支援
— 終末期から看取り、そして患者家族に寄り添う支援
8. 医療的ケアを必要とするHちゃんの在宅移行および就学への支援
9. 精神科訪問看護とデイケアを活用しながら社会復帰を目指すIさんへの支援

事例と
看護過程の
展開が充実して
います。



※ サンプルページは制作中のものです。

成人看護学 成人看護学概論

社会に生き世代をつなぐ成人の健康を支える

改訂第4版



編集 林 直子 聖路加国際大学

酒井郁子 千葉大学

B5判・352頁

鈴木久美 大阪医科薬科大学

梅田 恵 ファミリー・ホスピス株式会社

2022.3. ISBN978-4-524-23073-0

定価2,750円(本体2,500円+税10%)

！ 改訂のポイント 成人看護の実践に必要な概念・理論・情報を簡潔にまとめたテキスト

- ▶ 変化していく社会・医療の新しい状況を踏まえ、「現代の」成人像をとらえられるよう、「成人をとりまく今日の状況」(第Ⅱ章)の内容を見直しました。
- ▶ 新たに「セクシュアリティの多様性」「災害と健康」を追加しました。
- ▶ 統計数値などの情報を最新のものにアップデートしました。

本書の特長

- ✓ 成人の身体、心理、社会的特徴を、個体としての成長発達の見点と、現代に生きる成人がおかれている文化的、社会的環境の見点からわかりやすく解説しています。
- ✓ 成人を特定の年齢層として捉えるのではなく、乳幼児期・学童期を経て青年期・壮年期・向老期にいたり、やがて老年期に入る人として捉えています。
- ✓ 最新の情報を盛り込み、図表・イラストを多用してビジュアル化を図りました。

執筆

林 直子	聖路加国際大学	佐藤まゆみ	順天堂大学
酒井 郁子	千葉大学	廣岡 佳代	東京医科歯科大学
平石 典子	筑波大学	国府 浩子	熊本大学
山田 緑	共立女子大学	森 菊子	兵庫県立大学
清水 準一	東京医療保健大学	片岡 純	愛知県立大学
吉田絵理子	川崎協同病院	佐藤 直美	浜松医科大学
清水嘉子	日本訪問看護財団	藤田 佐和	高知県立大学
島蘭 進	上智大学	石垣 和子	前石川県立看護大学
鈴木 久美	大阪医科薬科大学	笠谷 美保	千葉労災病院
山田 雅子	聖路加国際大学	富永 真己	摂南大学
井出 成美	千葉大学	梅田 恵	ファミリー・ホスピス株式会社
森 優紀	前東邦大学	桑子 嘉美	富山県立大学
片岡弥恵子	聖路加国際大学	竹内登美子	富山県立大学名誉教授
實崎 美奈	産業医科大学	飯田貴映子	千葉大学
飯岡由紀子	埼玉県立大学	木村 眞子	宮城大学
清水 誓子	福井大学	阿部 恭子	東京医療保健大学
野崎真奈美	順天堂大学		

目次

第Ⅰ章 成人とは

1. 「成人」とは
2. 成人期の特徴

第Ⅱ章 成人をとりまく今日の状況

1. 家族をめぐる状況
2. 仕事をめぐる状況
3. 日常生活スタイルの変化
4. セクシュアリティの多様性
5. 環境問題の深刻化
6. 死生観の変容

第Ⅲ章 成人期にある人の健康

1. 健康とは
2. 成人にとつての病気の体験とは
3. 成人保健と今日の健康動向
4. 保健・医療・福祉政策と今日の健康課題
5. 生活習慣と健康
6. 職業・労働と健康
7. 生活ストレスと健康
8. 性・更年期と健康
9. 災害と健康

第Ⅳ章 成人期にある人を看護するための基本的な考え方

1. 関係を結ぶ
2. 適応を促す
3. 発達を促進する
4. 統合を支援する

第Ⅴ章 健康状態に応じた看護

1. ヘルスプロモーション、ヘルスプロテクション
——健康の保持・増進、疾病の予防に向けた看護
2. 健康状態が急激に変化し急性の状態にある人への看護
3. 生活機能障害のある人への看護
(リハビリテーション看護)
4. 慢性的な経過をたどる健康障害を有する人への看護
5. 人生の最終段階にある人への看護

第Ⅵ章 成人看護を充実させる実践的環境

1. 看護職の倫理綱領と成人看護
2. 専門職間の連携と協働
3. 医療安全
4. 質の高い看護実践のための人材育成

必須の基礎知識、最新の知見をコンパクトにまとめました

急性期・慢性期看護、緩和ケアなどにつながる構成

成人期の特徴

成人の身体・心理・社会的特徴を、個体としての成長発達の見点と、現代に生きる成人がおかれている文化的、社会的環境の見点からわかりやすく解説しています。

1. 身体構造・機能からみた成人の特徴

a. 身体構造

心臓、肺臓、腎臓などの臓器の重量は青年期の20歳前後で最大となり、肺活量、心拍出量などの指標も最高となる。加齢に伴う生理機能の変化は、30歳における生理機能の平均値を100%としたとき、向老期には最大心拍出量や腎臓濾過率は60%まで低下する一方で、神経伝達速度や基礎代謝率はほぼ15%程度の減少となっている。(図1-4)

b. 代謝・栄養

基礎代謝率は、男性は15~17歳ごろ、女性は12~14歳ごろがピークとなり、成人期であると青年期には基礎代謝量も高くなる(図1-5)。厚生労働省が行った「国民健康・栄養調査」によると15~19歳のエネルギー摂取量ももっとも多く、壮年期、向老期にかけて摂取エネルギー量は2000kcalほど減少している。骨の運動量にもなり、骨

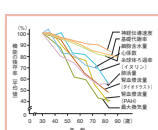


図1-4 加齢に伴う身体機能の変化 (Timmer)

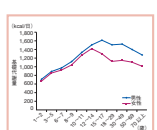


図1-5 基礎代謝率の変化 (厚生労働省「国民健康・栄養調査」)

成人看護学 急性期看護Ⅰ

概論・周手術期看護

改訂第4版



編集 林 直子 聖路加国際大学

佐藤まゆみ 順天堂大学

B5判・468頁 2023.3. ISBN978-4-524-23231-4 定価3,520円(本体3,200円+税10%)

！ 改訂のポイント 周手術期看護を事例から学べる実践的テキスト

- ▶ 第Ⅰ部 急性期看護概論に「急性期看護における臨床判断」の項を追加しました。
- ▶ 第Ⅳ章「手術後期の看護」に「栄養状態のアセスメントと看護」を追加しました。
- ▶ 第Ⅵ章として「内視鏡治療・鏡視下手術の術前・術後の看護」を新設しました。

本書の特長

- ✓ 「急性期看護概論」では、患者の身体的・心理的反応を、初学者にも配慮してわかりやすく解説しました。
- ✓ 「周手術期看護」では、周手術期看護を具体的な13の事例により解説。具体的な事例をもとに、患者の個性を考慮した看護を実践する視点を養います。

執筆

林 直子	聖路加国際大学	高井今日子	町田市民病院
田中 裕二	令和健康科学大学	山田 緑	共立女子大学
水野 道代	筑波大学	樺澤三奈子	新潟県立看護大学
佐藤 正美	東京慈恵会医科大学	神津 三佳	千葉大学医学部附属病院
奥 裕美	聖路加国際大学	網島ひづる	兵庫医科大学
佐藤まゆみ	順天堂大学	小元まき子	順天堂大学
後藤 紀久	岐阜大学医学部附属病院	井関 千裕	兵庫県立西宮病院
手島 朋子	前岐阜大学医学部附属病院	奥 朋子	合同会社ウェルネスアトリウム
藤野 秀美	東邦大学	松本 文奈	聖路加国際大学
佐藤 理佳	聖路加国際大学	塩原由美子	前千葉県立保健医療大学
牧野 晃子	聖路加国際大学	谷 宏子	千葉県がんセンター
田口智恵美	千葉県立保健医療大学	高田 幸江	武蔵野大学
渡邊亜津子	岡山大学病院		

目次

第Ⅰ部 急性期看護概論

1. 急性期看護とは
2. 急性の状態にある患者の身体的・心理的反応
3. 急性の状態にある患者と家族に対する看護

第Ⅱ部 周手術期看護

第Ⅰ章 周手術期看護とは

1. 周手術期にある患者の特徴
2. 周手術期にある患者の家族の特徴
3. 周手術期看護とは

第Ⅱ章 手術前期の看護

1. 手術前期の看護とは
2. 手術前期の看護の実際

第Ⅲ章 手術期の看護

1. 手術期の看護とは
2. 手術期の看護の実際

第Ⅳ章 手術後期の看護

1. 手術後期の看護とは
2. 意識レベルのアセスメントと看護
3. 呼吸状態のアセスメントと看護
4. 循環動態のアセスメントと看護
5. 疼痛のアセスメントと看護
6. 術後感染のアセスメントと看護
7. 栄養状態のアセスメントと看護
8. 消化管機能のアセスメントと看護
9. 術後精神状態(術後せん妄)のアセスメントと看護
10. 早期離床の促進
11. 日常生活の援助と心理的援助

第Ⅴ章 退院に向けた指導・支援

1. 退院に向けた指導・支援とは
2. 退院に向けた指導・支援の実際

第Ⅵ章 内視鏡治療・鏡視下手術の術前・術後の看護

1. 内視鏡治療の術前・術後の看護
2. 鏡視下手術の術前・術後の看護

第Ⅶ章 事例で考える周手術期看護

1. 統制機能(脳神経機能)の再確立—開頭腫瘍摘出術
2. 呼吸機能の再確立—胸腔鏡下肺葉切除術
3. 循環機能の再確立—冠動脈バイパス術
4. 摂取機能の再確立①—食道切除術
5. 摂取機能の再確立②—胃切除術
6. 消化機能の再確立①—肝切除術
7. 消化機能の再確立②—腹腔鏡下胆嚢摘出術
8. 運動機能の再確立—人工股関節全置換術
9. 生殖機能の再確立①—乳房部分切除術
10. 生殖機能の再確立②—子宮摘出術
11. 排泄機能の再確立①—低位前方切除術
12. 排泄機能の再確立②—経尿道的前立腺切除術
13. 排泄機能の再確立③—腎移植

先生のこえ

- ➡ 経時的な関連図が示されているので、学生は看護過程の流れをイメージしながらポイントをおさえた学習が進められる。

成人看護学 急性期看護Ⅱ

クリティカルケア

改訂第4版



編集 佐藤まゆみ 順天堂大学

林 直子 聖路加国際大学

B5判・408頁 2023.3. ISBN978-4-524-23288-8

定価3,300円(本体3,000円+税10%)

！ 改訂のポイント クリティカルケアを事例から学べる実践的テキスト

- ▶ 集中治療室(ICU)や救急外来における急激な状態にある患者の看護をクリティカルケアとしてとらえ直し、「第1部 クリティカルケアとは」「第2部 クリティカルケアの実践」の2部構成で内容を再編しました。
- ▶ 集中治療室、救急外来でのアセスメントの方法や、思考の流れ・判断方法について解説を充実させました。
- ▶ 新たに「急変した入院患者への看護」について章を設け、対応のプロセスや報告の仕方について解説を強化しました。

本書の特長

- ✓ すべての看護師が身につけておくべきクリティカルケアに関する基礎知識を解説しました。
- ✓ 第XII章では緊急性の高い11の病態について事例により解説。事例の展開を通して、救急搬送受け入れの準備、搬送受け入れ時の看護、診察後のICU移送までの看護、ICUでの治療時の看護が、実際の看護の流れに沿って理解できます。

執筆

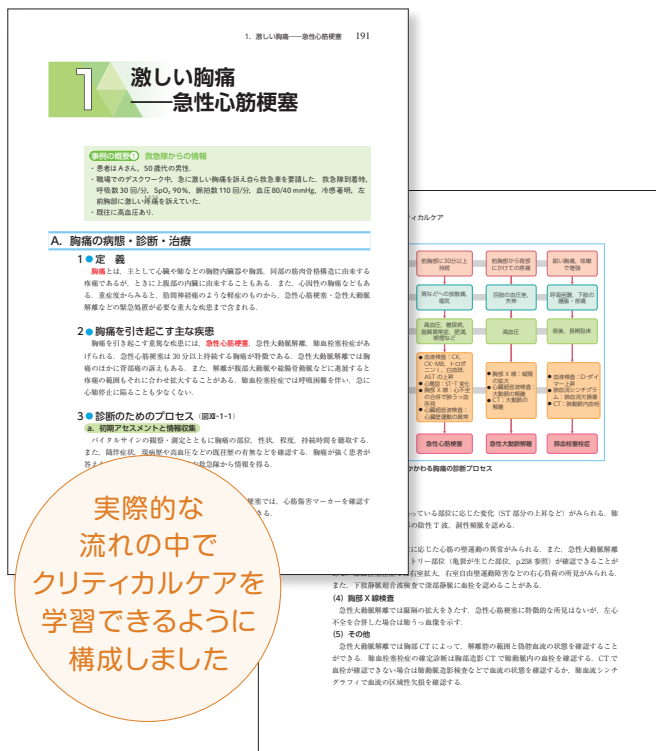
佐藤まゆみ	順天堂大学	比田井理恵	千葉県救急医療センター
中田 諭	聖路加国際大学	菅沢 直美	千葉県救急医療センター
伊藤 真理	川崎医療福祉大学	小安 麻子	千葉県救急医療センター
森山 幹夫	聖マリア学院大学	藤野 秀美	東邦大学
林 直子	聖路加国際大学	齊藤伊都子	順天堂大学医学部附属浦安病院
高梨奈保子	船橋市立医療センター	後藤 順一	河北総合病院
淵本 雅昭	東邦大学医療センター大森病院	苑田 裕樹	令和健康科学大学
吉田 澄恵	東京医療保健大学	増山 純二	令和健康科学大学
井上 昌子	東北大学病院	奥田 晃子	大同病院
澤田 美和	名古屋市立大学	角 由美子	日本赤十字社医療センター名古屋第二病院
丸谷 幸子	名古屋市立大学病院	平野美佐子	千葉県立舞鶴看護専門学校
北村 直子	岐阜県立看護大学	三木佳奈子	千葉県救急医療センター
西塔依久美	順天堂大学	工藤 利香	千葉県救急医療センター
緒方久美子	福岡大学	今関加奈子	千葉県救急医療センター

主要目次

- 第1部 クリティカルケアとは
- 第1章 クリティカルケアとは何か
 - 1. クリティカルケア/クリティカルケア看護の歴史
 - 2. クリティカルケア看護とは
- 第2章 集中治療の現状
 - 1. 集中治療の歴史と動向
 - 2. 集中治療の種類と場の特徴
 - 3. 多職種連携によるチーム医療
- 第3章 救急医療の現状
 - 1. 救急医療の歴史と動向
 - 2. 救急医療体制
 - 3. プレホスピタルケア
 - 4. 救急医療と関連法令
- 第4章 集中治療・救急医療における倫理
 - 1. 集中治療・救急医療における倫理
- 第2部 クリティカルケアの実践
- 第5章 ICU・救急外来で治療を受ける患者と家族の特徴
 - 1. ICU入室患者と家族の特徴
 - 2. 救急外来受診患者と家族の特徴
- 第6章 ICUにおける看護
 - 1. ICU入室患者に対するアセスメント
 - 2. ICU入室患者に対する看護の実践
 - 3. ICU入室患者の家族に対する看護
- 第7章 救急外来における看護
 - 1. 救急患者に対するアセスメント
 - 2. 救急患者に対する看護の実践
 - 3. 救急患者の家族に対する看護
- 第8章 急変した入院患者への看護
 - 1. 急変した入院患者への看護対応
- 第9章 救命救急処置—心肺蘇生と生命維持
 - 1. 救命救急処置—心肺蘇生と生命維持
- 第X章 クリティカルケアにおけるターミナルケア/エンドオブライフケア
 - 1. クリティカルケアにおけるターミナルケア/エンドオブライフケア
- 第XI章 脳死状態に陥った患者と臓器移植
 - 1. 脳死状態に陥った患者と臓器移植
- 第XII章 事例で考えるクリティカルケア
 - 1. 激しい胸痛—急性心筋梗塞
 - 2. 激しい頭痛—くも膜下出血
 - 3. 呼吸困難—気管支喘息
 - 4. 急性腹痛①—急性大動脈解離
 - 5. 急性腹痛②—尿路結石
 - 6. 意識障害—低血糖
 - 7. ショック—アナフィラキシー
 - 8. 体温異常—熱中症
 - 9. 外傷—胸部外傷
 - 10. 熱傷—広範囲熱傷
 - 11. 中毒—睡眠薬中毒

先生のこえ

- ➡ 具体的な事例が既習の知識を実践につなげるようにポイントをしばって展開されており、限られた時間で学習することに配慮されている。



成人看護学 慢性期看護

病気とともに生活する人を支える

改訂第4版



編集 鈴木久美 大阪医科薬科大学

旗持知恵子 大阪公立大学

B5判・512頁

2023.2. ISBN978-4-524-23436-3

定価3,740円(本体3,400円+税10%)

佐藤直美 浜松医科大学

！ 改訂のポイント 慢性疾患を有する人への治療法別・疾患別の援助の方法を1冊で学べるテキスト

- ▶ 近年の療養移行支援や継続看護の必要性の高まりを受け、第1章3節に「療養移行・継続看護の実践」の項目を新設しました。
- ▶ 災害発生時の慢性疾患を有する人への支援が社会的な課題となっていることから、第1章の最後に「災害時における慢性疾患を有する人の看護」の節を新設しました。
- ▶ 概念・理論を理解しやすいよう、第III章1節の「C.自己効力感」「D.健康信念」「E.トランスセオレティカルモデル」に事例を追加しました。
- ▶ 利用者に大変好評な第V章の「アセスメント表」について、項目および表記の統一を図り、いっそう使いやすくなりました。

本書の特長

- 慢性疾患を有する患者の身体的特徴だけでなく、患者と家族がおかれた心理・社会的な問題を理解し、その理解に基づいた看護実践の習得を目指しています。
- アセスメントの要点が明確にわかる表を多く用い、また臨床事例を通してクリティカルシンキングをうながす章を設け、実践的な知識が身につく内容としました。

アセスメントの要点を治療・疾患ごとに表形式でまとめました

慢性疾患患者を身体・心理・社会的側面から理解し、援助がイメージできます

執筆

鈴木 久美	大阪医科薬科大学	片岡 純	愛知県立大学
片岡 優美	藤田医科大学病院	松本 麻里	公益社団法人福岡医療団訪問看護ステーションわかば
今戸美奈子	高槻赤十字病院	高山 京子	順天堂大学
旗持知恵子	大阪公立大学	池亀 俊美	榊原記念病院
木下 幸代	山梨県立大学	眞茅みゆき	北里大学
佐藤 直美	浜松医科大学	利木佐起子	佛教大学
府川 晃子	兵庫歯科大学	山中 政子	天理医療大学
巽 あさみ	人間環境大学	森 一恵	関西国際大学
敷下 八重	佛教大学	清水 玲子	金沢医科大学
鈴木智津子	浜松医科大学医学部附属病院	田中 登美	奈良県立医科大学
小江奈美子	京都大学医学部附属病院	鶴田 理恵	大阪公立大学医学部附属病院
齊藤 奈緒	宮城大学	杉野 祐子	国立国際医療研究センター病院
高橋 正子	兵庫医科大学病院	飯岡由紀子	埼玉県立大学
川地香奈子	東京都済生会中央病院	杉本 知子	北里大学
森本 悦子	甲南女子大学	長崎ひとみ	山梨大学
近藤 美紀	国立がん研究センター東病院	植木 博子	公立福生病院
阿部 恭子	東京医療保健大学		

主要目次

第1章 慢性期看護とは

1. 慢性疾患の特徴
2. 慢性疾患における治療の特徴
3. 慢性疾患を有する人を取り巻く療養環境の特徴
4. 慢性疾患を有する人に対する看護の役割
5. 慢性疾患を有する人にかかわる専門職とチーム医療
6. 災害時における慢性疾患を有する人の看護

第2章 慢性疾患を有する人とその家族の理解

1. 慢性疾患を有する人の身体的特徴
2. 慢性疾患を有する人の心理的特徴
3. 慢性疾患を有する人の生活および社会的特徴
4. 慢性疾患を有する人を支える家族の特徴

第3章 慢性疾患を有する人とその家族への援助・支援の基本

1. 治療・療養行動にかかわる主な概念・理論
2. 治療・療養を促進する支援
3. 社会資源の活用

第4章 慢性疾患の主な治療法と治療を受ける患者の看護

1. インスリン療法を受ける患者の援助
2. 人工透析を受ける患者の援助
3. ペースメーカーを装着している患者の援助
4. ステロイド療法を受ける患者の援助
5. 化学療法を受ける患者の援助
6. 放射線療法を受ける患者の援助
7. 同種造血幹細胞移植を受ける患者の援助
8. 内分泌療法を受ける患者の援助
9. 肝動脈塞栓療法を受ける患者の援助

第5章 慢性疾患を有する人とその家族への看護

- V-1 呼吸器系の障害を有する人とその家族への援助
- V-2 循環器系の障害を有する人とその家族への援助
- V-3 消化器系の障害を有する人とその家族への援助
- V-4 代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助
- V-5 腎・泌尿器系の障害を有する人とその家族への援助
- V-6 血液・免疫系の障害を有する人とその家族への援助
- V-7 脳・神経系の障害を有する人とその家族への援助
- V-8 感覚器系の障害を有する人とその家族への援助

第6章 事例で考える

先生のこえ

- ➡ 各疾患ごとに患者の身体的、心理的、社会的特徴、また患者の家族への援助について示されている点が良い。
- ➡ 治療の目的・方法および治療時の看護について、身体的・心理的・社会的特徴から対象および家族への援助について具体的にイメージできるよう編集されており、学内での学習だけでなく、臨地実習で学生が自主的に活用できる内容に構成されている。



編集 野崎真奈美 順天堂大学
佐藤まゆみ 順天堂大学

林 直子 聖路加国際大学
鈴木 久美 大阪医科薬科大学

B5判・420頁
2022.3. ISBN978-4-524-22954-3
定価3,520円(本体3,200円+税10%)

！ 改訂のポイント 生きた看護技術をビジュアルに解説したテキスト

- ▶ 先生方から多くのご要望をいただいた「動画」を収載しました。QRコードからいつでも視聴できます。
- ▶ 臨床判断能力を養えるよう、看護技術の手順(Skill表)の説明において「(患者状態の)評価・記録を行う際の視点」を追加しました。
- ▶ 第III章に「集中治療」の視点を加え、新規項目として「大動脈バルーンポンピング(IABP)」「体外式模型人工肺(ECMO)/経皮的な心肺補助法(PCPS)」「挿管患者の口腔ケア」を追加しました。

本書の特長

- ✓ 基礎看護技術からステップアップし、成人看護学における看護技術の中で、とくに具体的手順を解説する必要があるものを集めました。
- ✓ 経過別看護の考え方を軸とし、「検査」「周手術期」「救急・ICU」「慢性期」で構成しています。
- ✓ 臨床と教育のギャップを解消し、生きた看護技術を習得することができるよう、看護技術の具体的手順を2列の表形式(Skill表)としました。
 - 通常の看護技術:「手順」と「根拠/ポイント/注意」
 - 検査、手術など、介助を行う技術:「医師の手順」と「看護師の手順」
 - 慢性疾患をもつ患者のセルフケアを促す技術:「患者・家族の行動」と「看護師の指導上のポイント」

主要目次

第I章 検査の介助

1. 生体機能検査 2. 画像診断 3. 内視鏡検査 4. 検体検査

第II章 周手術期の看護技術

1. 術前の看護技術 2. 術中の看護技術 3. 術後の看護技術

第III章 救急・集中治療時の看護技術

1. 一次救命処置(BLS) 2. 二次救命処置(ALS)
3. 救急外来・ICUにおける看護技術

第IV章 慢性疾患を有する患者のセルフマネジメントを促す技術

1. 患者教育が必要なセルフモニタリング技術 2. 患者教育が必要なセルフケア技術

執筆

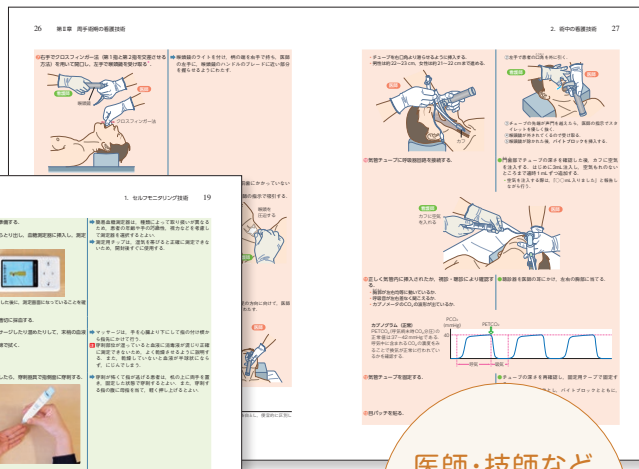
野崎真奈美	順天堂大学	緒方久美子	福岡大学
横山 美樹	東京医療保健大学	三枝香代子	千葉県立保健医療大学
新田 汐里	宮崎大学	北村 直子	岐阜県立看護大学
高橋 綾	埼玉県立大学	東田かすえ	千葉大学医学部附属病院
高梨あさき	順天堂大学	田口智恵美	千葉県立保健医療大学
山田 緑	共立女子大学	工藤 孝子	順天堂大学医学部附属順天堂医院
仁藤 美穂	公益財団法人ライフ・エクステンション研究所付属永寿総合病院	齊藤伊都子	順天堂大学医学部附属浦安病院
南 由起子	サンシティ横浜南	鈴木 久美	大阪医科薬科大学
池口 佳子	文京学院大学	池亀 俊美	神原記念病院
小川真由美	聖路加国際病院	藤原 由子	神戸女子大学
大友 裕子	元聖路加国際病院	松本 麻里	公益社団法人福岡医療訪問看護ステーションわかば
西澤 和子	聖路加国際病院	竹川 幸恵	大阪府立病院機構大阪びさの医療センター
卯野木 健	札幌市立大学	齊藤 奈緒	宮城大学
四本 竜一	東邦大学医療センター大森病院	清水 玲子	金沢医科大学
林 直子	聖路加国際大学	井上 智恵	社会福祉法人恩賜財団済生会病院
芹田 晃道	隠岐広域連合立隠岐病院	田島 純子	長崎大学病院
藤野 秀美	東邦大学	片岡 優実	藤田医科大学病院
逢阪 美里	聖路加国際病院	小西美ゆき	千葉大学
佐藤まゆみ	順天堂大学	窪岡佑子	兵庫医科大学病院



イラスト、写真が豊富です
看護技術の根拠が理解できます



患者さんへのセルフケアの指導のポイントが理解できます



医師・技師などの協働方法が具体的に理解できます

その人にとっての最善をめざして



B5判・260頁 2022.12. ISBN978-4-524-23202-4 定価2,860円(本体2,600円+税10%)

- ✓ エンドオブライフの時期にある対象者を理解するための6つの視点を用いた新しいエンドオブライフケアの教科書。
- ✓ 死生観やその社会的・文化的・宗教的背景、終末期医療・ケアや看取りに関する倫理的課題から、エンドオブライフケアの時期にある人やその家族への支援方法まで、すべてがこの1冊で学べます。
- ✓ 最終章では、臨床で出合うことの多い場面や倫理的な課題を抱えやすい場面を含んだ8つの事例をとりあげ、対象者を6つの視点からとらえ、理解を深めながら“その人にとって最善のケア”を探っていきます。

谷本真理子	東京医療保健大学	大城 京子	快護相談所和び咲び
川瀬 貴之	千葉大学	増島麻里子	千葉大学
佐々木恵雲	藍野大学	藤澤 陽子	千葉大学医学部附属病院
黒田寿美恵	県立広島大学	武見 綾子	川崎市立川崎病院
村瀬樹太郎	東京慈恵会医科大学附属第三病院	宇佐美利佳	岐阜県立看護大学
富岡 晶子	東京医療保健大学	片岡 純	愛知県立大学
奥村美奈子	岐阜県立看護大学	小野 年弘	千葉大学
山崎由利亜	千葉大学	平原佐斗司	東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所
池崎 澄江	千葉大学	松山 直美	京都大学医学部附属病院
石橋もゆき	千葉大学	橋爪 由樹	東京医療保健大学
依田 智未	千葉大学	渡邊 美和	前東京都大学
西田 佳世	聖力タリナ大学	山崎 智子	前東京医科歯科大学
渡辺 悠	東北大学病院	小林 成光	聖路加国際大学
酒井 菜法	臨済宗教師・日蓮宗僧侶	佐々木ひろ	千葉大学
箕岡 真子	箕岡医院	古川 直美	岐阜県立看護大学
櫻井智穂子	東京医療保健大学	金澤麻衣子	東北大学病院
会田 薫子	東京大学	横江由理子	いきいき在宅クリニック
竹川 幸恵	大阪はびきの医療センター	渡邊 朋	千葉大学医学部附属病院
山崎千寿子	東京医療保健大学	佐藤 奈保	千葉大学
西川 満則	国立長寿医療研究センター	湯本 晶代	千葉大学

序章 エンドオブライフケアを学ぶにあたって

第Ⅰ章 人が生きるとは、死ぬとは

- 1 人が生きること、死ぬこと
- 2 発達段階からみた死

第Ⅱ章 死をとりまく社会状況

- 1 日本における終末期医療・ケア
- 2 死を迎える場所とかかわる人たち
- 3 看取りに関する倫理的課題

第Ⅲ章 エンドオブライフケアとは

- 1 エンドオブライフケアの定義および基盤となる概念
- 2 意思決定
- 3 エンドオブライフケアにおけるチームアプローチ

第Ⅳ章 最期までよりよく生きることを支えるエンドオブライフケアの考え方

- 1 最期までよりよく生きることを支えることは
- 2 その人にとっての「望ましい状態」と状態把握の視点
- 3 対象理解の視点

第Ⅴ章 エンドオブライフの時期にある人への援助

- 1 症状マネジメント
- 2 日常生活支援
- 3 意思決定支援

第Ⅵ章 臨死期の看護

- 1 死が近づいた人の身体徴候のとりえ方
- 2 看取り時の看護

第Ⅶ章 エンドオブライフに関わる人への支援—家族、親近者

- 1 家族および親近者の心理・心理的過程
- 2 家族や親近者の力を引き出す支援
- 3 遺族や残された親近者およびケアにあたった医療者への支援

第Ⅷ章 事例で学ぶエンドオブライフケア

- 1 病院で死を迎えるまでの意思決定と調整
- 2 療養場所の移行における調整と連携
- 3 人工呼吸器装着に関する意思決定支援
- 4 不安、悲嘆が強い家族の看護
- 5 介護施設で暮らす認知症患者の医療介入と終の棲家の選択の支援
- 6 エンドオブライフの時期にある子どもの理解と看護
- 7 独居高齢者の在宅での看取りに向けたシステムづくりと看護
- 8 関係構築が難しい脆弱な長期療養患者の意向理解と支援

医療者が最高のエンドオブライフケアを提供するためには、エンドオブライフの時期にある人の**意欲**を最大限に尊重し、家族や親戚などとの考えと患者の専門的知識とを合わせる、これに実地できることを検討することが重要である。

この節では、エンドオブライフの時期にある人の意向を理解する手がかりとして、彼らの視点を示す(第3-3-1)。いずれも、エンドオブライフの時期にある人が人生を終わらせたい人が思い強く自分らしい人生を、最期までよく生きようことを支援する点との視点である。これらの視点を踏まえて、**「家族」**、**「医療者」**、**「患者」**をそれぞれが、現時点で考える「**望ましい状態**」を、その人の心身の状態の変化に即して軌軌に、共に考え続けていく。

<p>多国籍企業・多国籍労働者の存在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外に工場・販売網をもち、海外で生産・販売を行う企業 ・海外の工場をすべて子会社とする ・海外の工場はすべて子会社ではない場合がある ・海外の工場はすべて子会社ではない場合がある ・海外の工場はすべて子会社ではない場合がある ・海外の工場はすべて子会社ではない場合がある 	<p>多国籍企業・多国籍労働者の存在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外に工場・販売網をもち、海外で生産・販売を行う企業 ・海外の工場をすべて子会社とする ・海外の工場はすべて子会社ではない場合がある ・海外の工場はすべて子会社ではない場合がある ・海外の工場はすべて子会社ではない場合がある ・海外の工場はすべて子会社ではない場合がある
<p>労働者の権利</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働者の権利を守るための法律がある ・労働者の権利を守るための法律がある ・労働者の権利を守るための法律がある ・労働者の権利を守るための法律がある ・労働者の権利を守るための法律がある ・労働者の権利を守るための法律がある 	<p>労働者の権利・労働者の権利</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働者の権利を守るための法律がある ・労働者の権利を守るための法律がある ・労働者の権利を守るための法律がある ・労働者の権利を守るための法律がある ・労働者の権利を守るための法律がある ・労働者の権利を守るための法律がある
<p>人権上の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権上の課題がある ・人権上の課題がある ・人権上の課題がある ・人権上の課題がある ・人権上の課題がある ・人権上の課題がある 	<p>人権についての課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権上の課題がある ・人権上の課題がある ・人権上の課題がある ・人権上の課題がある ・人権上の課題がある ・人権上の課題がある

[illegible]

がん看護

様々な発達段階・治療経過にあるがん患者を支える



編集 鈴木久美 大阪医科薬科大学 林 直子 聖路加国際大学 佐藤まゆみ 順天堂大学
B5判・340頁 2021.1. ISBN978-4-524-24812-4 定価2,860円(本体2,600円+税10%)

本書の特長

- ✓ 患者の年齢や社会的役割、臨床経過の違いによってがん患者や家族が感じる苦痛や生活上の困難が異なることから、それらの特徴をふまえた看護について学べるよう編集しています。
- ✓ 事例の章では、多様な発達段階・臨床経過を例に、情報関連図で情報を整理し、看護問題を挙げ、看護の考え方と実践例を示しています。
- ✓ 療養の場の移行支援や、地域で支えるための連携、アドバンス・ケア・プランニングなど近年重視されていることも、事例を通して学ぶことができます。

執筆

鈴木 久美	大阪医科薬科大学	小塚 拓洋	虎の門病院
林 直子	聖路加国際大学	神田 善伸	自治医科大学付属病院
高山 千春	聖路加国際大学	村上 晴泰	静岡県立静岡がんセンター
廣瀬 善信	大阪医科薬科大学	小澤 桂子	NTT 東日本関東病院
西野 善一	金沢医科大学	阿部 恭子	東京医療保健大学
山内 照夫	聖路加国際病院	後藤 志保	がん研有明病院
重岡 靖	淀川キリスト教病院	近藤 美紀	国立がん研究センター東病院
保坂 隆	保坂サイコソロジークリニック	中島 和子	静岡県立静岡がんセンター
辻 哲也	慶應義塾大学	荒尾 晴恵	大阪大学
山下 素弘	四国がんセンター	向井美千代	北播磨総合医療センター
山中美智子	聖路加国際病院	樺澤三奈子	新潟県立看護大学
平家 勇司	元聖路加国際病院	千嶋美登子	北里大学病院
佐藤まゆみ	順天堂大学	高山 京子	順天堂大学
鶴若 麻理	聖路加国際大学	細田 志衣	聖路加国際病院
小山富美子	神戸市看護大学	八巻真紀子	聖路加国際大学
府川 晃子	兵庫医科大学	井沢 知子	京都大学
増島麻里子	千葉大学	岩田多加子	聖路加国際病院
小林 京子	聖路加国際大学	清水奈緒美	前神奈川県立がんセンター
渡邊 知映	昭和大学	濱本 千春	YMCA訪問看護ステーションピース
綿貫 成明	国立看護大学校	高屋敷麻理子	岩手県立大学
高橋奈津子	聖路加国際大学	松本 明子	聖路加国際病院
大城 怜	兵庫医療大学	竹之内直子	京都大学
上別府佳子	東京大学	逢坂 美里	聖路加国際病院
首藤 潔彦	帝京大学ちば総合医療センター	井関 千裕	兵庫県立西宮病院
鍋谷 圭宏	千葉県がんセンター	南口 陽子	武庫川女子大学
藤阪 保仁	大阪医科薬科大学	谷 宏子	千葉県がんセンター

主要目次

- 第Ⅰ章 がん看護とは
- 第Ⅱ章 がんおよびがん医療の理解
 - 1. がんの疫学とがん対策
 - 2. がんの病態と集学的治療
 - 3. がん医療における専門職連携
 - 4. がん医療における倫理
- 第Ⅲ章 がんになった人と家族の理解および看護
 - 1. がんの臨床経過におけるがん患者の特徴と援助
 - 2. 発達段階におけるがん患者の特徴と援助
 - 3. がんサバイバーシップとソーシャルサポート
 - 4. がん患者の家族の特徴と支援
- 第Ⅳ章 がん患者に対する治療
 - 1. 手術療法
 - 2. 薬物療法
 - 3. 放射線療法
 - 4. 造血幹細胞移植
 - 5. 免疫療法
- 第Ⅴ章 がん治療を受ける患者の看護
 - 1. 手術療法を受ける患者の看護
 - 2. 化学療法を受ける患者の看護
 - 3. 内分泌療法を受ける患者の看護
 - 4. 放射線療法を受ける患者の看護
 - 5. 造血幹細胞移植を受ける患者の看護
 - 6. 免疫療法を受ける患者の看護
- 第Ⅵ章 緩和ケア
 - 1. 緩和ケアとは
 - 2. 症状マネジメントとは
 - 3. 各症状のマネジメント
- 第Ⅶ章 がん患者の療養の場における看護
 - 1. 外来における看護
 - 2. 在宅における看護
 - 3. 緩和ケア病棟/ホスピス病棟における看護
 - 4. がん患者の療養の場の移行支援
- 第Ⅷ章 事例で考えるがん看護
 - 1. 小児がん患者への看護—急性白血病の女性
 - 2. AYA世代(若年成人)のがん患者への看護—乳がんの男性
 - 3. 成人(壮年期)のがん患者への看護—乳がんの女性
 - 4. 成人(壮年後期)のがん患者への看護—肺がんの男性
 - 5. 高齢者のがん患者への看護—大腸がんの男性



緩和ケア

尊厳ある生と死, 大切な生活をつなぐ技と心

改訂第2版



編集 梅田 恵 ファミリー・ホスピス株式会社 射場典子 認定NPO法人健康と病いの語りディベックス・ジャパン
B5判・308頁 2018.1. ISBN978-4-524-25512-2 定価2,640円(本体2,400円+税10%)

！ 改訂のポイント 緩和ケアの概念を理解し、看護実践を提供するための基礎知識の習得を目指したテキスト
▶ 読者対象を看護基礎教育レベルと位置づけ、内容を見直し緩和ケアの理論や概念についての記述を充実させました。
▶ 平成30年版国試出題基準に対応し、心不全、慢性呼吸不全への緩和ケアを追加しました。

本書の特長

- ✓ 緩和ケアを、“診断時からすべての病期にわたって行われるケア”として捉え、必須の知識・実践についてわかりやすく解説しました。
- ✓ 歴史的な流れや現状をふまえながら、病院だけでなく在宅での緩和ケアについても学ぶことができます。
- ✓ がん以外の疾患をもつ人、小児や高齢者への緩和ケアについても、その必要性や実践を盛り込みました。

執筆

射場 典子	認定NPO法人健康と病いの語りディベックス・ジャパン	小坂美智代	天使大学
梅田 恵	ファミリー・ホスピス株式会社	川村三希子	札幌市立大学
矢ヶ崎 香	慶應義塾大学	廣岡 佳代	東京医療保健大学
山田 雅子	聖路加国際大学	井沢 知子	京都大学
宇野さつき	新国内科医院	新貝夫弥子	福島県立医科大学附属病院
脇谷美由紀	昭和大学病院	小山富美子	大阪医科大学
平山さおり	KKR札幌医療センター	酒井 禎子	新潟県立看護大学
小笠原利枝	日本ホスピスホールディングス株式会社	本田 晶子	慶應義塾大学
長谷川久巳	虎の門病院	中村喜美子	鈴鹿医療科学大学
坂口 美和	三重大学	村木 明美	済生会大阪総合病院
小野若菜子	聖路加国際大学	本間 織重	昭和大学病院/昭和大学
田村 恵子	京都大学	堀内 園子	グループホームせせらぎ
森 文子	国立がん研究センター中央病院	平野 優子	世田谷区北沢総合支所
中山祐紀子	医療法人社団杏順会越川病院	石井 祥子	国立国際医療研究センター病院
細矢 美紀	国立がん研究センター中央病院	島田 恵	首都大学東京
新幡 智子	慶應義塾大学	宇都宮明美	京都大学/京都大学医学部附属病院
林 糸子	横浜市立大学	柏崎 純子	共立女子大学
		宮下 光令	東北大学

主要目次

- 第1章 緩和ケアとは
 - 1. 病い、苦しみ、生と死
 - 2. 尊厳ある生と死、大切な生活をつなぐケア
 - 3. 緩和ケアの歴史と定義
 - 4. 緩和ケアにおけるチームアプローチ
 - 5. がんと緩和ケア
 - 6. 緩和ケアをとりまく今日の状況
 - 7. さまざまな場における緩和ケア
- 第2章 緩和ケアの基盤となる考え方
 - はじめに—尊厳を支えるケア
 - 1. 日常生活を支えるケア
 - 2. 意思決定を支えるケア
 - 3. 家族ケア
 - 4. 喪失と悲嘆のケア
 - 5. スピリチュアルケア
- 第3章 緩和ケアの実践方法
 - 1. 緩和ケアの実践(看護ケア)の基本的な考え方
 - 2. 痛みのマネジメント
 - 3. 呼吸困難のマネジメント
 - 4. 悪心・嘔吐のマネジメント
 - 5. 腹部膨満感のマネジメント
 - 6. 便秘のマネジメント
 - 7. 倦怠感のマネジメント
 - 8. 浮腫のマネジメント
 - 9. 睡眠障害のマネジメント
 - 10. 不安のマネジメント
 - 11. うつのマネジメント
 - 12. せん妄のマネジメント
- 第4章 看取りのケア
 - 1. 看取りのケアとは
 - 2. 死が近づいた患者へのケア
 - 3. 看取りを迎える家族へのケア
 - 4. 死の迎え方の多様性
- 第5章 がんの事例で学ぶ緩和ケアの実践
 - 1. 事例① 場をつなぐ
 - 2. 事例② セルフケアを促す
 - 3. 事例③ 家族のケア
 - 4. 事例④ スピリチュアルケア
 - 5. 事例⑤ 在宅での看取り
 - 6. 事例⑥ チームによる緩和ケア
 - 7. 事例⑦ 看護師が行うグリーフケア
- 第6章 多様な疾患をもつ人への緩和ケア
 - 1. 認知症を患う人への緩和ケア
 - 2. 難病を患う人への緩和ケア
 - 3. エイズを患う人への緩和ケア
 - 4. 心不全を患う人への緩和ケア
 - 5. 慢性呼吸不全を患う人への緩和ケア
- 第7章 緩和ケアの今後の展望
 - 1. 諸外国における緩和ケアの体制
 - 2. 日本における緩和ケアの展望と課題

緩和ケアの理論や概念をわかりやすく解説

具体的な事例やイラストで理解しやすい

老年看護学概論

改訂第4版



「老いを生きる」を支えることは

編集 正木治恵 千葉大学 真田弘美 石川県立看護大学

B5判・420頁 2023.3. ISBN978-4-524-23378-6 定価3,080円(本体2,800円+税10%)

！ 改訂のポイント 看護師として高齢者を支えるために必要な理論・考え方を全て学べるテキスト

- ▶ 超高齢社会、人生100年時代となった社会の変化に合わせ、新たな老年看護学の考え方を学べるよう構成・内容を大幅に見直しました。
- ▶ 高齢者の健康レベルが高まったことを背景に、「高齢者の労働」の項や「高齢者の健康の維持・回復への支援」の章を新たに設けました。
- ▶ 高齢者の療養・生活する場が多様なことから、医療施設における看護だけでなく、医療施設退院時の支援や、介護保険施設に入居する高齢者、居宅サービスを利用する高齢者への看護の項目を設けました。

本書の特長

- ✓ 老年看護学の基本を「対象理解」に置き、からだ、こころ、暮らし、かわり、生きがいの5つの側面からとらえられるよう記載しています。
- ✓ 老年看護に活用できる理論・アプローチをまとめ、具体的な事例を通してわかりやすく解説しています。
- ✓ 初版(2011年刊行)以来、地域で暮らす高齢者が安全に安心して希望を持って暮らせること、そのような地域づくりを看護職が支えるという視点を大切にしています。

執筆

正木 治恵	千葉大学	谷本 真理子	東京医療保健大学
小野 幸子	日本医療大学	齋藤 多恵子	信州大学
竹屋 泰子	大阪大学	山田 信子	千葉メディカルセンター
井出 訓子	関西医科大学	石橋 みゆき	千葉大学
辻村 真由子	放送大学	山下 裕紀	関西医科大学
田所 良之	滋賀医科大学	黒田 久美子	千葉大学
坂井 志麻	上智大学	高橋 弘美	船橋市立医療センター
野口 美和子	沖縄県立看護大学名誉教授	須藤 麻衣	武蔵野赤十字病院
鳥海 幸恵	川崎市立川崎病院	大久保 ます	順天堂大学医学部附属順天堂
長畑 多代	大阪公立大学		東京江東高齢者医療センター
河井 伸子	大手前大学		済生会横浜市東部病院
松本 啓子	香川大学		日本医科大学千葉北総病院
征矢 野あや	京都橘大学		千葉県川口リハビリテーションセンター
高橋 香代子	相澤病院		大島訪問看護ステーション
島田 広美	順天堂大学		順天堂大学
村角 直子	金沢医科大学		順天堂大学
近藤 絵美	日本赤十字豊田看護大学		青梅慶友病院
井出 成美	千葉大学		淑徳大学
今村 恵美子	前千葉大学		淑徳大学
山崎 由利亜	千葉大学		文子
鳥田 美紀代	東邦大学		四條薬学園大学
佐々木 ちひろ	千葉大学		沖縄県立看護大学名誉教授
高橋 良幸	東邦大学		沖縄県立看護大学
			カリフォルニア州サンファエル
			カイザー病院

主要目次

第Ⅰ章 老年看護学を理解するための基盤

1. 人間の一生と発達
2. 人間発達論における老年期
3. 老いを生きることの意味
4. 加齢と健康
5. 高齢者をとりまく社会状況
6. 高齢者と家族
7. 高齢者の労働
8. 高齢者の暮らしの場

第Ⅱ章 老年看護の理念と目標

1. 老年看護の理念
2. 老年看護の目標
3. 老年看護の倫理

第Ⅲ章 老年看護に活用できる理論・概念

1. 健康の概念
2. セルフケア
3. サクセスフルエイジング
4. ウェルネスアプローチ
5. コンフォート
6. ライフストーリー
7. レジリエンス
8. ストレングス
9. エンパワメント
10. スピリチュアリティ

第Ⅳ章 老年看護の対象理解

1. 対象特性
2. 対象理解のための5つの側面
3. 歳月の積み重ね
4. 対象理解の深まりと広がり

第Ⅴ章 対象把握のためのアセスメント

1. 対象理解のための5つの側面の把握
2. 高齢者の機能評価と指標
3. 高齢者の症状と検査・治療に伴う影響のアセスメント
4. 介護を必要とする高齢者の家族のアセスメント

第Ⅵ章 高齢者の健康の維持・回復への支援

1. 豊かな生活の創出・支援
2. ADL機能の維持・回復への支援
3. セルフケア能力の維持・向上への支援
4. 健康問題の予測と予防への支援

第Ⅶ章 高齢者の療養生活の支援

1. 外来を受診する高齢者の看護
2. 医療施設に入院する高齢者の看護
3. 医療施設から退院する高齢者の看護
4. 高齢者のリハビリテーション看護
5. 介護保険施設に入居している高齢者の看護
6. 居宅サービスを利用している高齢者と家族の暮らしと看護

第Ⅷ章 認知症の高齢者の支援

1. 認知症の高齢者の理解と看護の基本
2. 認知症の高齢者の家族介護者の理解と支援
3. 認知症の高齢者が地域で安全に安心して暮らすための支援
4. 急性期治療を行う病院での認知症高齢者への看護

第Ⅸ章 高齢者のエンドオブライフケア

1. 高齢者のエンドオブライフケアに求められること
2. 意思決定支援とアドバンスケアプランニング
3. 高齢者の尊厳を支える看取り
4. 終末期の家族支援

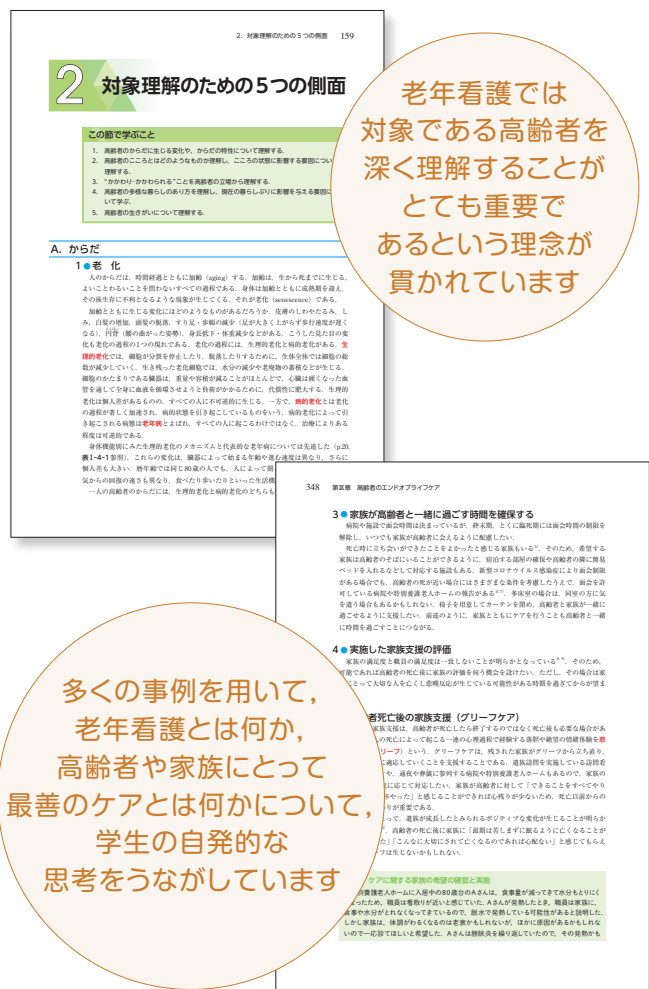
第Ⅹ章 生かしかれる地域づくり

1. 安全に安心して希望をもって暮らせる地域づくり
2. よりよい地域づくりのための多職種協働
3. 高齢者の地域づくりへの参画
4. 災害に備える

第Ⅺ章 老年看護学の課題

1. 米国のCNS・NPからみる今後の日本の看護師像
2. 老年看護学の教育・研究の発展

索引



老年看護学技術

改訂第4版

最後までその人らしく生きることを支援する



編集 真田弘美 石川県立看護大学 正木治恵 千葉大学

B5判・512頁 2023.3. ISBN978-4-524-23317-5 定価3,740円(本体3,400円+税10%)

！ 改訂のポイント “看護の視点”を中心に据えた内容構成が好評のテキスト

- ▶ これからの老年看護においてますます重要になる「自立・自律に向けた支援」「セルフケア支援」に欠かせないウェルネスの視点の解説をいっそう充実させました。
- ▶ 高齢の心不全患者への支援の必要性が高まっていることから、第Ⅲ章に「循環」の項目を、第Ⅴ章に「慢性心不全」の事例を追加しました。

本書の特長

- ✓ 誰もが幸せに老いることのできる社会の実現を目指した老年看護のコンセプトをもとに、手技・手順よりも必要とされる視点到点を置いています。
- ✓ 生活機能別(呼吸、食事、排泄など)に項目立てし、加齢に伴う変化や老年症候群を含めた障害を解剖・病態生理から学び、根拠をもってアセスメント・介入・予防・評価をする方法を解説しています。
- ✓ 代表的な疾患の事例を挙げ、機能障害だけでなく高齢者の潜在的な強みにも焦点をあて、“その人らしい生活”の実現・維持につなげる看護の展開を例示しています。

執筆

真田 弘美	石川県立看護大学	高井ゆかり	群馬県立県民健康科学大学
山本 則子	東京大学	仲上豪二郎	東京大学
卯野木 健	札幌市立大学	西山みどり	有馬温泉病院
貝谷 敏子	札幌市立大学	田高 悦子	北海道大学
田中 靖代	ナーシングホーム気の里	齋藤 君枝	千葉科学大学
東村 志保	湘南医療大学	谷口 好美	金沢大学
松本 勝	石川県立看護大学	平松 知子	金沢医科大学
大江 真琴	金沢大学	山田 正己	帝京科学大学
加藤真由美	金沢大学	正源寺美穂	金沢大学
勝野とわ子	岩手保健医療大学	糸井 和佳	帝京科学大学
須釜 淳子	藤田医科大学	吉田 俊子	聖路加国際大学
大桑麻由美	金沢大学	山田 峰子	群馬県立県民健康科学大学
川島 和代	石川県立看護大学	紺家千津子	石川県立看護大学
清水 詩子	新潟大学	赤瀬 智子	横浜市立大学
松本佐知子	日本赤十字看護大学	峰松 健夫	石川県立看護大学
田中 久美	筑波メディカルセンター病院	北村 言	東京大学
四谷 淳子	福井大学		

主要目次

第Ⅰ章 現代の高齢者とその理解

1. 高齢者の理解
2. 高齢者の看護

第Ⅱ章 老年看護の基本技術——ヘルスアセスメント

1. ヘルスアセスメントとは
2. ヘルスアセスメントの実践

第Ⅲ章 高齢者の生活と看護——加齢変化とフィジカルアセスメントの技術

1. 呼吸
2. 循環
3. 食事
4. 排泄
5. 動作と移動
6. 睡眠
7. 体温
8. 清潔
9. コミュニケーション
10. 性

第Ⅳ章 高齢者に特徴的な症状と看護——老年症候群

1. 起立・歩行障害
2. 感覚機能障害
3. 摂食・嚥下障害
4. 脱水
5. 低栄養
6. 皮膚痒感
7. 痛み
8. 褥瘡
9. 尿失禁
10. 便秘・下痢
11. 不眠
12. うつ
13. 寝たきり
14. せん妄
15. 転倒
16. 骨折
17. 感染症

第Ⅴ章 高齢者に特徴的な疾患と看護——事例による展開

1. 急性期の看護(胃がん)
2. リハビリテーション看護(大腿骨頸部骨折)
3. 慢性期の看護(慢性閉塞性肺疾患)
4. 慢性期の看護(慢性心不全)
5. 認知機能障害の看護(アルツハイマー病)
6. 緩和ケア(大腸がん)
7. パーキンソン病の看護
8. 薬物療法を受ける高齢者の看護

第Ⅵ章 老年看護技術の新たな動向と課題

1. 感染症をめぐる新たな動向と課題
2. 老年看護の将来に向けた看護技術の動向

具体的な事例をもとに、“生きた看護”を学習することができます

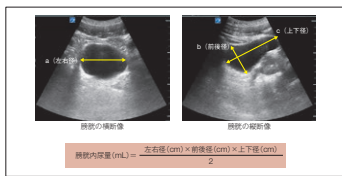


図4-6 エコーを用いた膀胱容量の計測

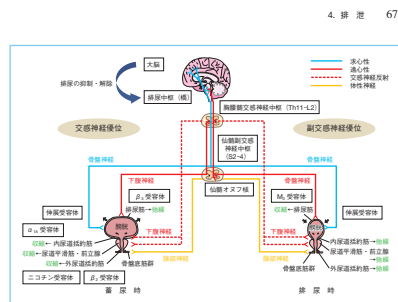


図4-2 膀胱と直腸の神経支配

2 ● 高齢者の下部尿路の特徴

① 膀胱機能

老年期には、平滑筋細胞の間の結合組織である膀胱筋が増加し、膀胱筋の弛緩に伴う弾性の低下や委縮によって、膀胱容量が減少する。高齢者の膀胱容量は250～400 mLといわれる。また、膀胱収縮力の低下により、加齢に伴う尿量の増加や最大尿量率の低下が起る(膀胱筋低活動、detrusor underactivity)。

② 尿道機能

男性の場合は、加齢に伴い尿道が短縮し、最大尿道閉鎖圧が減少する。女性の場合は、加齢により膀胱筋と血管成分が減少し、結合組織成分が増加する。とくに出産経験者において膀胱筋細胞の密度がより低下し、閉鎖後は尿道閉鎖圧が低下する。

③ 膀胱および尿道機能

加齢に伴って膀胱尿道上皮における神経伝達物質の放出が増加し、膀胱の知覚過敏や排尿活動が生じる。これにより、排尿筋過活動(detrusor overactivity)や過活動膀胱(overactive bladder: OAB)が引き起こされる。

* 膀胱容量は、膀胱に尿を貯えて膀胱容量が50 mL以上の場合は、膀胱収縮活動の可能性がある。
* 最大尿量率は、膀胱に尿を貯えて膀胱容量が最大で、膀胱の収縮力(収縮力と膀胱容量の積)が最大となる状態である。15 mL/秒以下の場合は、膀胱収縮活動が低下していると考えられる。
* 最大尿道閉鎖圧は、閉鎖した尿道における尿道内圧と膀胱内圧の差で、尿を止めようとする力である。専門医による尿流動態検査で測定される。

小児看護学 I 小児看護学概論・小児看護技術

改訂第4版



子どもと家族を理解し力をひきだす

編集 二宮啓子 神戸市看護大学 今野美紀 札幌医科大学

B5判・536頁 2022.1. ISBN978-4-524-22756-3 定価3,960円(本体3,600円+税10%)

！ 改訂のポイント 子どもの権利を尊重した看護実践能力を身につけるための新しいテキスト

- ▶ 小児看護や小児医療の概要、成長・発達の基本知識などの概論と、症状別の看護、小児看護技術を1冊にまとめました。
- ▶ 小児保健統計、学校保健、医療安全、健康課題について項目を新設し充実させました。
- ▶ 家族の内容を見直し、現代の多様な家族像を反映しました。

本書の特長

- ✓ 小児を家族のなかの存在と位置づけ、小児と家族を中心とする看護を基本理念として、子どもの権利を尊重した援助が考えられるような内容としています。
- ✓ 小児をとり巻く社会や状況について最新の内容を盛り込んでいます。
- ✓ 現場で必要となる技術を精選し、その技術を安全で安楽に実施する方法や、そのために必要な解剖・生理、成長・発達に関する知識を解説しています。

成長・発達の知識を
わかりやすく解説



“子どもと家族の
力をひきだす”
技術のポイントや
根拠も合わせて
確認できます

執筆

二宮 啓子	神戸市看護大学	濱田 環	人間総合科学大学
平田 美佳	埼玉医科大学	田畑 久江	札幌医科大学
今野 美紀	札幌医科大学	松森 直美	県立広島大学
佐藤 洋子	北海道文教大学	吉川由希子	金沢医科大学
三国 久美	北海道医療大学	岡崎 裕子	大阪信愛学院大学
福井 一之	前札幌大学	橋本ゆかり	鈴鹿医療科学大学
丸山 有希	神戸女子大学	杉本 陽子	岐阜協立大学
廣瀬 幸美	三育学院大学	橋爪 永子	前鈴鹿医療科学大学
松浦 和代	札幌市立大学	宮谷 恵	聖隷クリストファー大学
西野 郁子	千葉県立保健医療大学	半田 浩美	神戸市看護大学
堀 妙子	京都橘大学	西田 志穂	共立女子大学
服部 淳子	愛知県立大学	佐川 雅世	北海道立子ども総合医療・療育センター
間所 利恵	日本赤十字社医療センター	米山 雅子	湘南鎌倉医療大学
沢口 恵	東京通信大学	丸山 浩枝	神戸市立医療センター中央市民病院
澤田いずみ	札幌医科大学	石川 紀子	和洋女子大学
榎木野裕美	大阪信愛学院大学	長田 泉	大東文化大学
内 正子	神戸女子大学	野中 淳子	湘南鎌倉医療大学
浅利 剛史	札幌医科大学	中田 諭	聖路加国際大学
横山 佳世	北海道文教大学		

主要目次

第1部 小児看護学概論

第1章 小児看護とその対象を理解する

1. 小児看護とは	2. 子ども	3. 家族
-----------	--------	-------

第II章 子どもの健康な生活を支える法・制度

1. 子どもに関する保健統計	4. 子どもの教育と制度
2. 子どもの保健・福祉に関する政策と法・制度	5. 学校保健
3. 子どもの健康増進のための社会資源の活用	

第III章 子どもの成長・発達の特徴と支援

1. 子どもの成長・発達の基礎知識	4. 幼児期の特徴と支援
2. 新生児期の特徴と支援	5. 学童期の特徴と支援
3. 乳児期の特徴と支援	6. 思春期の特徴と支援

第IV章 小児医療と小児看護の基本

1. 小児医療の変遷と現状	4. 小児医療における生命倫理
2. 小児看護の変遷と現状	5. 小児医療における子どもの遊び・学習
3. 小児医療における子どもへの倫理的配慮	6. 小児医療における医療安全

第V章 健康問題を抱える子どもと家族への支援

1. 身体障害のある子どもと家族への支援	4. 児童虐待を受けた子どもと家族への支援
2. 発達障害のある子どもと家族への支援	5. 災害を受けた子どもと家族への支援
3. 心の問題を抱える子どもと家族への支援	

第VI章 子どもに特徴的な症状と看護

1. いつもと違う	3. 発熱	4. 嘔吐	7. 発疹	9. けいれん
2. 痛み	4. 脱水	6. 下痢	8. 呼吸困難	

第2部 小児看護技術

第VII章 コミュニケーション技術・アセスメント技術

1. コミュニケーション	3. 全身状態の把握	5. 身体計測
2. 健康歴の聴取	4. バイタルサイン	6. プレバレーション

第VIII章 検査・処置技術

1. 採血	3. 咽頭・鼻腔培養	5. 与薬	7. 酸素療法
2. 採尿・導尿	4. 骨髄穿刺・腰椎穿刺	6. 吸引	8. 抑制

第IX章 日常生活援助技術

1. 食事の援助技術①	5. 呼吸の援助技術—先天的な障害や病気により特別なニーズのある子ども
2. 食事の援助技術②—経管栄養	6. 移動の援助技術
3. 清潔・衣生活の援助技術	
4. 排泄の援助技術	

第X章 救急救命処置技術

1. 一次救命処置	2. 二次救命処置
-----------	-----------

関連書籍のご紹介

病態・治療論 [14] 小児疾患

ISBN978-4-524-23755-5

定価2,860円(本体2,600円+税10%)

小児看護学Ⅱ

小児看護支援論

改訂第4版

子どもと家族の主体性を支える



編集 今野美紀 札幌医科大学 二宮啓子 神戸市看護大学

B5判・480頁 2022.1. ISBN978-4-524-22757-0 定価3,740円(本体3,400円+税10%)

！ 改訂のポイント 事例を通して小児看護を学べる実践的テキスト

- ▶ 小児看護の代表的な場面を、状況別、疾患別に丁寧に解説しました。
- ▶ 第1章として、小児の看護過程について概説する章を設けました。

本書の特長

- ✓ 状況別の看護では「外来」「検査」「手術」など13場面の看護を、疾患別の看護では小児に代表的な30疾患への看護を取り上げています。
- ✓ 疾患別の看護では、基本的な病態・治療の知識、看護の考え方を示したうえで、事例を挙げ、看護過程を展開します。
- ✓ また、疾患別の看護では、治療・療養の経過と子ども・家族の課題をまとめた経過図や、事例の情報をまとめた情報関連図を用いて全体像をとらえます。

執筆

今野 美紀	札幌医科大学	白木 裕子	茨城キリスト教大学
松岡 真里	三重大	三上 孝洋	札幌医科大学附属病院
松森 直美	県立広島大学	浅利 剛史	札幌医科大学
濱園 環	人間総合科学大学	篠木 絵理	東京医療保健大学
金泉志保美	群馬大学	木下 笑香	広島市立広島市民病院
半田 浩美	神戸市看護大学	田畑 久江	札幌医科大学
市原 真穂	千葉科学大学	山本 陽子	神戸市看護大学
白石 裕子	東京工科大学	丸山 浩枝	神戸市医療センター中央市民病院
萩岡あかね	兵庫県立尼崎総合医療センター	野村 佳代	防衛医科大学校
谷本 公重	香川大学	伊織 光恵	天使大学
岩瀬いずみ	千葉県こども病院	倉田 慶子	順天堂大学
二宮 啓子	神戸市看護大学	植木野裕美	大阪信愛学院大学
古谷佳由理	医療創生大学	清水 千香	神戸市看護大学
樋口伊佐子	大阪母子医療センター	志賀加奈子	日本赤十字北海道看護大学
廣瀬 幸美	三育学院大学	野田 孝子	砂川市立病院附属看護専門学校
横山 佳世	北海道文教大学	澤田いずみ	札幌医科大学
岡永真由美	岐阜県立看護大学	薬師神裕子	愛媛大学
森 浩美	旭川医科大学	吉本 康子	社会医療法人北楡会 札幌北楡病院

主要目次

第1章 病気・障害のある子どもと家族への看護

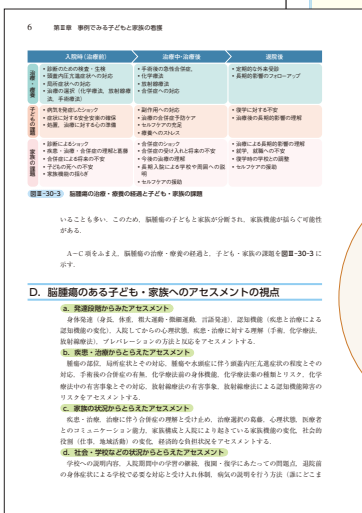
1. 病気・障害のある子どもと家族の特徴
2. 病気・障害のある子どもと家族への看護過程

第2章 状況別にみる子どもと家族の看護

1. 外来における子どもと家族の看護
2. 検査・処置を受ける子どもと家族の看護
3. 入院における子どもと家族の看護
4. 手術を受ける子どもと家族の看護
5. 薬物療法を受ける子どもと家族の看護
6. リハビリテーションにおける子どもと家族の看護
7. 救急外来における子どもと家族の看護
8. 集中治療を受ける子どもと家族の看護
9. 活動制限が必要な子どもと家族への看護
10. 隔離が必要な子どもと家族への看護
11. 在宅療養する子どもと家族の看護
12. 成人期に移行する慢性疾患をもつ子どもと家族への看護
13. 終末期にある子どもと家族の看護

第3章 事例でみる子どもと家族の看護

1. 直腸肛門奇形(鎖肛)のある子どもと家族の看護
2. 食道閉鎖症のある子どもと家族の看護
3. 先天性心疾患のある子どもと家族の看護
4. 呼吸窮迫症候群のある子どもと家族の看護
5. 腸重積症のある子どもと家族の看護
6. 肺炎のある子どもと家族の看護
7. 髄膜炎のある子どもと家族の看護
8. 川崎病のある子どもと家族の看護
9. 発育性股関節形成不全(股関節脱臼)のある子どもと家族の看護
10. 熱傷を負った子どもと家族の看護
11. 急性胃腸炎にかかっている子どもと家族の看護
12. 膀胱尿管逆流症のある子どもと家族の看護
13. 口唇口蓋裂のある子どもと家族の看護
14. 食物アレルギーのある子どもと家族の看護
15. 気管支喘息のある子どもと家族の看護
16. ネフローゼ症候群のある子どもと家族の看護
17. 急性リンパ性白血病のある子どもと家族の看護
18. 二分脊椎(脊髄膨出)のある子どもと家族の看護
19. 低出生体重の子どもと家族の看護
20. 脳性麻痺のある子どもと家族の看護
21. 虐待を受けた子どもと家族の看護
22. 扁桃(咽頭扁桃、口蓋扁桃)肥大のある子どもと家族の看護
23. 特発性血小板減少性紫斑病のある子どもと家族の看護
24. アトピー性皮膚炎のある子どもと家族の看護
25. 若年性特発性関節炎のある子どもと家族の看護
26. 発達障害(自閉スペクトラム症)のある子どもと家族の看護
27. てんかんの子どもと家族の看護
28. 骨折のある子どもと家族の看護
29. 1型糖尿病のある子どもと家族の看護
30. 脳腫瘍のある子どもと家族の看護



具体的な事例を通して子どもの権利を尊重した看護実践能力が身につきます

関連書籍のご紹介

病態・治療論[14]小児疾患

ISBN978-4-524-23755-5

定価2,860円(本体2,600円+税10%)

母性看護学 I

概論・ライフサイクル



生涯を通じた性と生殖の健康を支える

改訂第3版

編集 齋藤いずみ 神戸大学

長谷川ともみ 富山大学

三隅順子 東京医科歯科大学

B5判・326頁 2022.3. ISBN978-4-524-22979-6 定価3,080円(本体2,800円+税10%)

！ 改訂のポイント 生涯を通じた性と生殖の健康を支えるための看護の基盤をつくるテキスト

- ▶「母性看護学の基盤」と「生涯を通じた性と生殖の健康を支える看護」の2部制とし、ますます使いやすくなりました。
- ▶12名の新規執筆者を迎え、母性看護技術、母性看護の実践と研究、性差の現状の統計からの分析など新規の内容が加わりました。
- ▶女性の健康問題とその看護として、不妊症・不育症の解説がさらに充実し、女性のがん、子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣嚢腫、さらには人工妊娠中絶、DV、性暴力、児童虐待、災害など新規に解説しています。

本書の特長

- ✓「生涯を通じた性と生殖の健康を支える看護」を行うために必要な幅広い基礎知識が身につきます。
- ✓母子保健統計、社会資源、倫理、国際化から説明され、また少子高齢化、女性の多様な生き方、不妊、DV、虐待など現代社会の課題にもふれ、母性看護を総合的にとらえる視点を育みます。
- ✓女性のライフサイクルのなかで発生しやすい性と生殖の健康問題を取りあげ、事例に盛り込み、看護過程を展開します。

執筆

齋藤いずみ	神戸大学	廣山奈津子	東京医科歯科大学
長谷川ともみ	富山大学	清水 清美	城西国際大学
三隅 順子	東京医科歯科大学	齋藤 真希	和歌山県立医科大学
家吉 望み	東京有明医療大学	岩崎 三佳	神戸大学
齊藤佳余子	富山大学	大滝 千文	京都大学
大田えりか	聖路加国際大学	中根 直子	日本赤十字社医療センター
日高 庸晴	宝塚大学	本岡 夏子	神戸大学
二川 香里	富山大学	二宮 早苗	大阪医科大学

主要目次

第1部 母性看護学の基盤

第1章 母性看護学の概念

1. 母性看護学とは
2. 家族とは
3. 母性看護学の基盤となる理論と概念
4. 根拠に基づく母性看護の実践
5. 母性看護にかかわる主な職種と連携

第II章 性をとりまく社会と現状

1. 社会的・心理的特性からみた性
2. 統計からみる性をとりまく社会の現状

第III章 母子保健統計と母子保健施策

1. 母子保健統計の理解
2. 母子にかかわる法律と母子保健施策
3. 周産期医療体制

第IV章 生殖に関する形態機能とライフサイクル

1. 性周期と生命のはじまり
2. 遺伝
3. 性分化のメカニズム
4. 生殖器の形態と機能

第V章 性と生殖の健康を支える看護技術

1. 情報収集・ヘルスアセスメントの技術
2. 主体的なセルフケアを引き出す技術
3. 母性看護における看護過程

第VI章 性と生殖をめぐる倫理的課題

1. 性と生殖をめぐる倫理的課題とは
2. 専門職として高い倫理性を育成する

第VII章 国際化の中での母性看護の役割

1. 異なる文化的背景をもつ女性・妊娠・出産への看護
2. 母子保健における国際協力

第2部 生涯を通じた性と生殖の健康を支える看護

第VIII章 女性のライフサイクルと健康支援

1. 女性のライフサイクルの全体像
2. 思春期
3. 成熟期
4. 更年期
5. 老年期

第IX章 事例で学ぶウェルネス・アプローチでの看護の実践

1. 女性のライフサイクルの事例

関連書籍のご紹介

病態・治療論[13] 産科婦人科疾患

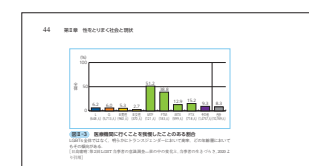
ISBN978-4-524-23754-8

定価3,080円(本体2,800円+税10%)

根拠がわかる母性看護過程

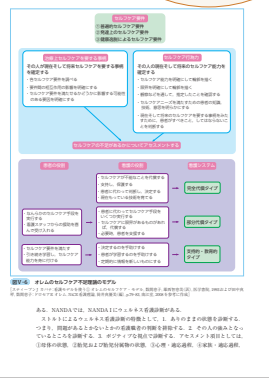
事例で学ぶウェルネス志向型ケア計画

P42に詳細情報がございます。詳しくはそちらをご確認ください。



性
の
多
様
性
が
充
実

対象者の強みを
引き出す
ウェルネスな
思考を重視



1 女性のライフサイクルの事例

1.6 アセスメント

ライフサイクル
各期に多い課題に
対する看護過程を
掲載し、実践的

改訂第3版

精神看護学Ⅰ

こころの健康と地域包括ケア

現代に生きる人々のこころの健康を支える



改訂第3版

編集 萱間真美 国立看護大学校 稲垣 中 青山学院大学

B5判・254頁 2022.1. ISBN978-4-524-22781-5 定価2,640円(本体2,400円+税10%)

！ 改訂のポイント 精神看護学を学ぶ上で基盤となる知識をまとめたテキスト

- ▶ 先生方から多くのご要望をいただいた「精神保健」(第Ⅲ章3), 「心の発達」(第Ⅲ章1, 2)の記述を強化しました。
- ▶ 「地域」の視点や「多職種連携」の記述を充実させました(第Ⅰ章4)

本書の特長

- ✓ 精神看護学Ⅰは、精神看護の基礎を学ぶ内容となっています。
- ✓ 現代に生きる人々を支える看護職として、人々の精神の健康に影響を及ぼす現代の社会状況や社会病理について知り、精神看護の目標や看護職の役割を学びます。
- ✓ 一般病棟における精神看護の対象者への看護実践について、「バイオ(生物学的)・サイコ(心理学的)・ソーシャル(社会的)」モデルを活用して事例展開しています。

執筆

稲垣 中	青山学院大学	吉浜 文洋	元佛教大学
萱間 真美	国立看護大学校	牛島 定信	市ヶ谷ひもろぎクリニック/東京慈恵会医科大学
西 大輔	東京大学	村方多鶴子	福岡県立大学
吉田 光爾	東洋大学	長谷川雅美	富山福祉短期大学
澤野 文彦	公益財団法人復康会沼津中央病院	馬場 香里	東京都医学総合研究所
渡邊 忠義	社会医療法人あさかホスピタル	三森 寧子	千葉大学
津川 律子	日本大学	小高 恵実	上智大学
吉尾 隆	公益財団法人住吉協会会住吉病院/昭和大学附属烏山病院	小山 達也	聖路加国際大学
寒河江豊昭	山形県立米沢栄養大学	榊 美樹	聖路加国際大学
相川 章子	聖学院大学	青木 裕見	聖路加国際大学
鷹尾 和頭	前社会福祉法人 つばめ福祉会	山本 朝美	公益財団法人 浅香山病院
麻場 英聖	公益財団法人復康会沼津中央病院	瀬戸屋 希	聖路加国際大学
増子 徳幸	一般社団法人てとて リンク	白井 教子	北里大学病院
	よこはま訪問看護ステーション	高橋 恵子	埼玉県立大学
福嶋 好重	横浜市立市民病院	福宮 智子	昭和大学病院/昭和大学
野田 文隆	大正大学名誉教授	綿谷 恵子	筑波大学附属病院
吉川 隆博	東海大学	瀬尾 智美	千葉大学医学部附属病院
宮本 有紀	東京大学	二宮 未稀	千葉大学医学部附属病院

主要目次

第Ⅰ章 精神看護はどんな活動か

1. こころの健康と必要な支援
2. 現代社会とこころの健康
3. 看護師は何をするのか—精神看護の目標と役割
4. 地域包括ケアと多職種連携
5. 社会とのかかわりを理解する
6. 精神医療の歴史的変遷
7. 人権を守るために—精神看護における基本的人権と倫理的配慮

第Ⅱ章 精神保健医療福祉と制度

1. 精神保健医療福祉に関する法と制度
 - 1-1. 精神科医療にかかわる法律
 - 1-2. 精神障害者の福祉にかかわる法律
 - 1-3. 精神保健にかかわる法律
2. 精神医療福祉の現状と課題
3. 精神の健康に関する普及啓発活動

第Ⅲ章 こころの発達と精神保健

1. こころのなりたち
2. 対象関係論からみたこころの発達
3. 発達段階別にみる発達課題と精神の健康
 - 3-1. 発達理論と発達課題
 - 3-2. 周産期の精神の健康
 - 3-3. 乳幼児期から学童期の精神の健康
 - 3-4. 思春期から青年期の精神の健康
 - 3-5. 成人期の精神の健康
 - 3-6. 老年期の精神の健康

第Ⅳ章 一般病棟における精神看護

1. 事例から学ぶ一般病棟での精神看護
 - 1-1. 身体症状症、病氣不安症
 - 1-2. 睡眠障害・不眠
 - 1-3. 不安
 - 1-4. 抑うつ
 - 1-5. 怒り
 - 1-6. 拒否・拒絶
 - 1-7. 幻覚妄想
 - 1-8. せん妄
 - 1-9. 拘禁反応・症状
 - 1-10. 看護師のメンタルヘルス
2. リエゾン精神看護とは

関連書籍のご紹介

病態・治療論[12] 精神疾患 改訂第2版 近刊

2024.1.発売予定

本体予価2,000円+税10%

精神看護の
基礎を
わかりやすく
学べます

精神看護学Ⅱ

地域・臨床で活かすケア

対象者の力を引き出し支える



改訂第3版

編集 萱間真美 国立看護大学校 稲垣 中 青山学院大学

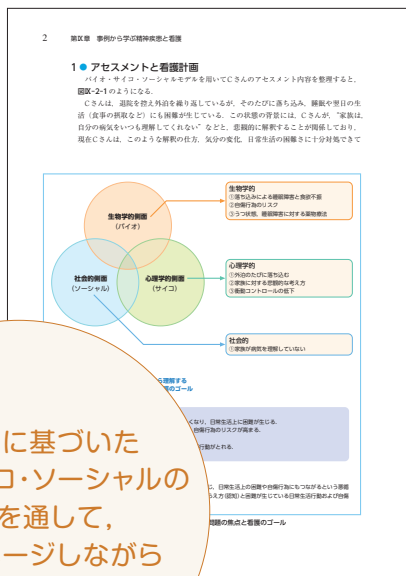
B5判・382頁 2022.1. ISBN978-4-524-22782-2 定価3,080円(本体2,800円+税10%)

！ 改訂のポイント 豊富な具体例とともに精神看護学の実習で活用できる内容をまとめたテキスト

- ▶「地域」の視点の強化として、「精神科訪問看護」(第Ⅷ章4-4)を充実させ、地域における精神看護実践の事例(第Ⅸ章8, 9)を追加しました。
- ▶対象者のアセスメントに用いられる理論・概念(第Ⅵ章5)に「レジリエンス」を追加しました。

本書の特長

- ✓ 精神看護学Ⅱは、精神看護の実践を学ぶ内容となっています。
- ✓ 「バイオ(生物学的)・サイコ(心理学的)・ソーシャル(社会的)」の視点を軸に、精神看護の対象者にトータルにアプローチしています。
- ✓ 精神疾患患者への看護実践について、「バイオ・サイコ・ソーシャル」モデルを活用して事例展開しています。



臨床事例に基づいた
バイオ・サイコ・ソーシャルの
関連図を通して、
概念をイメージしながら
理解できます

関連書籍のご紹介

病態・治療論[12] 精神疾患 改訂第2版 近刊

2024.1.発売予定

本体予価2,000円+税10%

執筆

稲垣 中	青山学院大学	菊地 俊曉	慶應義塾大学
滝上 紘之	慶應義塾大学	宮本 有紀	東京大学
山本 暢朋	国立病院機構 榊原病院	野田 賀大	慶應義塾大学
久保健一郎	東京慈恵会医科大学	木村 沙織	NTT東日本関東病院
加藤 英生	慶應義塾大学	大竹 真裕美	社会医療法人一陽会 一陽会病院
尾久 守侑	慶應義塾大学/国立病院機構 下総精神医療センター	田村 法子	慶應義塾大学
野崎 昭子	慶應義塾大学/国立病院機構 下総精神医療センター	藤澤 大介	慶應義塾大学病院/慶應義塾大学
中川 敦夫	慶應義塾大学/国立病院機構 下総精神医療センター	岡田 佳詠	国際医療福祉大学
天野 瑞紀	聖マリアンナ医科大学	根本 友見	国際医療福祉大学
野上 和香	慶應義塾大学	船越 明子	神戸市看護大学
西 大輔	慶應義塾大学	藤井 千代	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
阿部 晃子	慶應義塾大学	林 亜希子	訪問看護ステーションメンタル名古屋
片山奈理子	慶應義塾大学	半澤 節子	自治医科大学
宗 未来	東京歯科大学市川総合病院	遠藤 直子	国立看護大学校
大橋 明子	前聖路加国際大学	木戸 芳史	浜松医科大学
石井 歩	医療法人社団助会吉祥寺病院	渡邉 忠義	社会医療法人あさかホスピタル
福島 鏡	聖路加国際大学	永井真理子	東京大学医学部附属病院
後藤 優子	医療法人社団碧木会長谷川病院	米倉 一磨	NPO法人 相対に新しい精神科医療 保健福祉システムをつくる会 相馬 広域こころのケアセンターなごみ
岡本 典子	医療法人社団リッ訪問看護 ステーション スマイルリッ	角田 秋	東京有明医療大学
大熊 恵子	宮城大学	河野 伸子	横須賀共済病院
秋山 美紀	埼玉県立大学	寺岡征太郎	帝京大学
長田 洋和	京都ノートルダム女子大学	笹井 美香	(株)円グループ訪問看護ステーション鈴
瀬戸屋 希	聖路加国際大学		

主要目次

第Ⅴ章 精神を病む人はどんな状態を示すのか

1. 精神症状とはなんだろう
2. 現症・状態像を理解しよう

第Ⅵ章 対象を理解するための考え方

1. 生物学的側面から理解する一脳の構造・機能
2. 生物学的側面からアプローチする検査
3. 生物学的側面から理解する一精神疾患と診断基準
- 3-1. 精神疾患と診断基準
- 3-2. 主な精神疾患
4. 精神看護におけるアセスメントの特徴
5. アセスメントに用いられる主な理論

第Ⅶ章 心理・社会的側面の検査

1. 心理学的側面からアプローチする検査
2. 社会機能・家族機能を測る尺度

第Ⅷ章 治療・ケア・支援の方法

1. 生物学的側面からアプローチする治療・ケア・支援
2. 心理学的側面からアプローチする治療・ケア・支援
3. 精神看護におけるさまざまな技法
4. 社会的側面からアプローチする治療・ケア・支援
- 4-1. 当事者のリカバリーに向けた社会復帰・社会参加の基本と働きかけ
- 4-2. 地域での自立・統合への支援
- 4-3. 地域における精神障害者のニーズと行政等との協働
- 4-4. 精神科訪問看護
- 4-5. 多職種によるアウトリーチ(訪問支援)
5. 安全管理(セーフティマネジメント)

第Ⅸ章 事例から学ぶ精神疾患と看護

1. 統合失調症
- 1-1. 急性期の統合失調症
- 1-2. 在宅における慢性期の統合失調症
2. 気分障害
- 2-1. うつ病
- 2-2. 双極性障害
3. 強迫症/強迫性障害
4. パニック症/パニック障害
7. パーソナリティ障害
8. ひきこもり
5. アルコール使用障害(アルコール依存)
6. 摂食障害
9. 児童虐待

災害看護

看護の専門知識を統合して実践につなげる

改訂第4版



編集 酒井 明子 福井大学名誉教授 増野 園恵 兵庫県立大学教授

B5判・408頁 2023.2. ISBN978-4-524-23165-2 定価2,970円(本体2,700円+税10%)

！ 改訂のポイント 災害看護の基礎を学ぶ「総論」と看護専門領域別に学ぶ「各論」の2部構成が好評のテキスト

- ▶ 近年の災害状況も踏まえ、災害対策・法制度、災害看護の考え方など全面的にアップデートしました。
- ▶ 災害時の在宅療養者への支援の必要性が高まっていることから、第VIII章に「在宅看護と災害」の節を新設しました。

本書の特長

- ✓ 第1部 総論では、災害の種類・疾病構造や災害サイクル、また災害サイクル別の実践的看護が体系的に理解できます。
- ✓ 第2部 各論は、教育で活用しやすいよう領域別に解説しています。
- ✓ 応用的な考えを育むよう、オリジナルの演習問題も掲載しています。

実践を意識しながら学習を進めることができます

1. 災害サイクルの各期における看護活動

2. 災害看護の実際を写真とともに伝えるコラム「現場発」

執筆

山本 捷子 元福岡女学院看護大学
酒井 明子 福井大学名誉教授
野口真智子 元宮崎県小林保健所
奥寺 敬 富山大学附属病院
橋本真由美 福島県立医科大学
高田 明也 南相馬市立総合病院附属小高診療所
千葉 真也 大郷町役場
上田 耕蔵 神戸協同病院
清水 蒼子 福井大学
湯井恵美子 一般社団法人福祉防災コミュニティ協会
増野 園恵 兵庫県立大学地域ケア開発研究所
小原真理子 清泉女学院大学
丸谷 浩明 東北大学災害科学国際研究所
木村 拓郎 一般社団法人被災復興支援機構
酒井 彰久 福井大学
高以良 仁 国立病院機構災害医療センター
今井 家子 今井災害看護研究所
後藤由美子 国立病院機構災害医療センター
村井 雅清 被災地NGO協働センター
鈴木智恵子 佐賀大学
前田 潤 室蘭工業大学
小野村順子 元つくば市役所
竹原 歩 元つくば市役所
山崎 達枝 長岡崇徳大学
三浦 京子 元国立病院機構災害医療センター
西村美喜子 医療法人社団坂梨会阿蘇温泉病院
窪田 直美 公立丹南病院
南利 孝文 西原村役場

江上 純子 熊本市教育委員会
中川 美樹 熊本市立熊本市市民病院
本間 正人 鳥取大学
永井 幸寿 アンサー法律事務所
千島佳也子 国立病院機構本部OMAT事務局
小笠原智子 日本医科大学付属病院
福田 淑江 日本看護連盟
江津 繁 国立病院機構埼玉病院
野原 正美 福井大学
及川 節子 イムス明理会山台総合病院
宮崎美砂子 千葉大学
佐藤 咲恵 陸前高田市
三澤 寿美 元東北福祉大学
松岡 幸代 甲南女子大学
茅野 幸給 元兵庫県立大学
高橋 由美 山形青葉学院短期大学
菅間 真美 国立看護大学校
尾山とし子 日本赤十字北海道看護大学
川田 美和 兵庫県立大学
磯見 智恵 福井大学
繁田 里美 福井大学
佐久間由美 聖隷三方原病院
大野かおり 兵庫県立大学
宇田 優子 新潟医療福祉大学
三橋 睦子 久留米大学
大迫ひとみ 兵庫県立尼崎総合医療センター
中村 文子 福井県
中村 明世 奈良県立医科大学付属病院

主要目次

- #### 第I部 総論
- ##### 第I章 災害および災害看護に関する基礎的知識
1. 災害・災害看護の歴史
 2. 災害・災害看護の定義
 3. 災害の種類、疾病構造、災害サイクル、災害関連死
 4. 要配慮者
 5. 災害における連携
- ##### 第II章 災害発生時の社会の対応やしきみ
1. 災害に関する制度—災害対策基本法・災害救助法・防災計画など
 2. 災害情報と伝達のしくみ
 3. 災害関係各機関の支援体制
 4. 災害時のボランティア活動
- ##### 第III章 災害時の被災者および援助者の心理
1. 被災者および援助者が抱えるストレスとその過程
 2. 被災者および援助者のこころのケア
- ##### 第IV章 災害各期における看護活動
1. 災害サイクル各期における看護活動
 2. 避難所・応急仮設住宅・災害公営住宅における看護
- ##### 第V章 災害時に必要な技術
1. トリアージ
 2. 治療・搬送
- ##### 第VI章 病院における災害看護
1. 病院における災害への備え、災害訓練
 2. 病院における災害時の初動体制
- ##### 第VII章 災害看護における倫理・教育・理論
1. 災害看護における倫理原則
 2. 災害看護における教育
 3. 災害看護における理論
- #### 第2部 各論
- ##### 第VIII章 対象別にみた災害看護の実践
1. 地域看護と災害
 2. 母性看護と災害
 3. 小児看護と災害
 4. 高齢者看護と災害
 5. 精神看護と災害
 6. 慢性看護と災害
 7. 在宅看護と災害
 8. 感染看護と災害

先生のこえ

- ➡ 災害が生命や生活に及ぼす影響、災害時に必要な技術について、写真や図をまじえてわかりやすく解説されている。
- ➡ 事例やコラムなどで看護師の具体的な実践活動が紹介されているので、学習意欲や関心を高めることができる。

看護管理学

改訂第3版

自律し協働する専門職の看護マネジメントスキル



編集 手島 恵 千葉大学 藤本幸三 京都橘大学

B5判・304頁 2023.3. ISBN978-4-524-20421-2 定価2,750円(本体2,500円+税10%)

！ 改訂のポイント 看護管理の考え方やスキルを各領域のエキスパートが記したテキスト

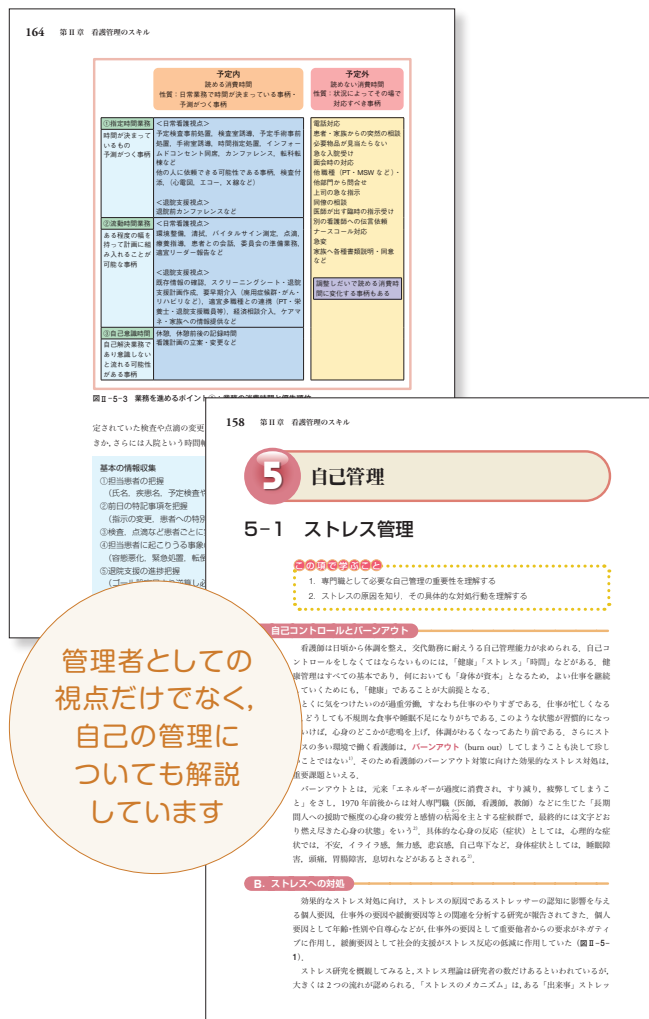
医療法や診療報酬、高額療養費制度などの法・制度の改正・改定や、情報の取り扱い、ハラスメントなどの働き方に関する動向など、最新の情報を反映しました。

本書の特長

- 看護管理者をめざす人だけでなくすべての看護学生を対象として、自律した専門職として、効果的・効率的に資源を活用してケアを行うための基盤を築くことができます。
- 主要項目では事例や具体的な演習課題を数多く設定し、実践に即した構成としました。

執筆

藤本 幸三	京都橘大学	美代 賢吾	国立国際医療研究センター
手島 恵	千葉大学	栗原 美穂	国立がん研究センター東病院
住吉 蝶子	元東京慈恵会総合医学 教育研究センター	北島 謙吾	元京都府立医科大学
渡辺八重子	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	井上ルミ子	Care styles consulting
小寺 栄子	西武文理大学	山田 雅子	聖路加国際大学
坂本 すが	東京医療保健大学	酒井 郁子	千葉大学
洪 愛子	神戸女子大学	操 華子	静岡県立大学
上杉 睦美	元公益社団法人日本看護協会	志田 京子	大阪公立大学
勝山貴美子	横浜市立大学	酒井美絵子	武蔵野大学
撫養真紀子	兵庫県立大学	田中 幸子	東京慈恵会医科大学
黒田美喜子	セントケア・ホールディングス セントケア市川大和田	吉田 千文	常磐大学
		川本利恵子	湘南医療大学
		Carol Keehan	Catholic Health Association of the United States



主要目次

第1章 看護管理の基礎

- 看護管理を学ぶとは
- 看護サービス管理
 - 看護サービスの管理
 - マネジメント
- 看護組織と管理
 - 組織論
 - 意思決定
 - リーダーシップ・メンバーシップ
- 看護管理プロセス

第2章 看護管理のスキル

- 資源の獲得と配分
 - 看護収支管理
 - 医療経費と看護
- 人的資源管理
 - 人的資源とは
 - 組織文化と人的資源のかかわり
 - ワーク・ライフ・バランス
- 情報の管理
 - 情報の取り扱い
 - 情報の管理
- 管理行動
 - 自己管理
 - 時間管理
- 連携と協働
 - 医療連携
 - 他職種との連携
- アウトカムマネジメント
 - 看護の質マネジメント
 - 働きやすい職場環境づくり

第3章 看護サービス管理の周辺

- 医療政策と看護管理
 - 医療制度
 - 医療政策の変遷
- 現代法制度と看護管理—医療提供関連法規
- 看護管理と倫理
 - 看護管理と倫理
 - 看護職能団体

第4章 看護管理の展望

- これからの時代の看護管理

医療安全

多職種でつくる患者安全をめざして



編集 山内豊明 放送大学 荒井有美 北里大学病院

B5判・220頁 2015.3. ISBN978-4-524-26817-7 定価2,750円(本体2,500円+税10%)

本書の特長

- 医療安全を初めて学ぶ学生のために、基本的な知識が身に付くように、わかりやすく解説しました。
- チーム医療の中で医療安全を学ぶことができるよう、多職種の執筆陣の参画を得て、構成しました。
- 「多職種でとりくむ患者安全」「事例ベースの学習」を軸としています。
- 代表的な多職種連携でおこりやすいエラーを事例で紹介しています。(75ページ～)
- 看護の場面別におこりやすいエラー 37事例を紹介しています。

執筆

山内 豊明	放送大学	後 信	九州大学病院
相馬 孝博	千葉大学医学部附属病院	荒井 有美	北里大学病院
河野龍太郎	自治医科大学名誉教授	長嶋 光樹	和歌山県立医科大学
種田憲一郎	国立保健医療科学院	佐々木久美子	医療法人社団直和会・社会医療法人社団正志会
春田 良雄	公立陶生病院	綿引 哲夫	東海大学
山元 恵子	公益社団法人東京都看護協会	力石 陽子	日本赤十字社
畠山 和人	一宮研伸大学	加村 毅	信楽園病院
小池 朋孝	北里大学病院	東條 圭一	北里大学病院
森安 恵実	北里大学病院	寺井美峰子	医学研究所北野病院
長尾 能雅	名古屋大学医学部附属病院	宮田はるみ	名古屋大学医学部附属病院
住谷 剛博	トヨタ記念病院		

主要目次

第Ⅰ章 医療安全を学ぶ意義

1. 医療安全を学ぶにあたって

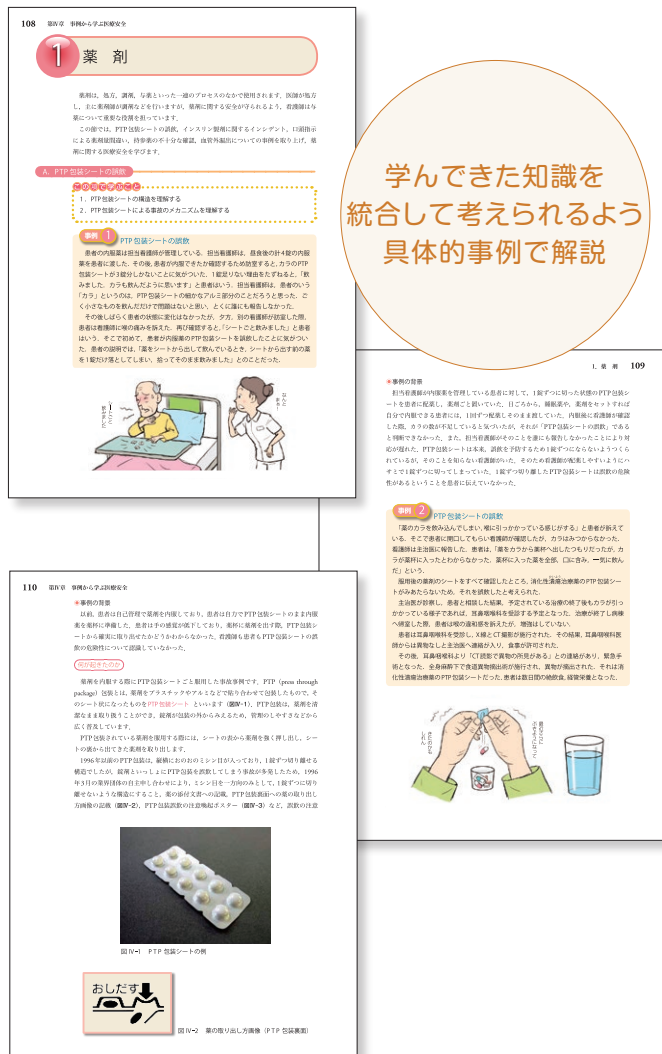
第Ⅱ章 医療安全の基本

第Ⅲ章 個人・チーム・組織としての医療安全

1. 個人としての医療安全への取り組み
2. 多職種連携およびチームによる医療安全への取り組み
3. チームのなかの医療安全 ①呼吸療法サポートチーム(RST)
4. チームのなかの医療安全 ②栄養サポートチーム(NST)
5. チームのなかの医療安全 ③感染対策チーム(ICT)
6. チームのなかの医療安全 ④ラビッドレスポンスチーム(RRT)
7. 医療機関における医療安全への取り組み
8. 地域における医療安全への取り組み
9. 全国的な医療安全への取り組み 医療事故情報収集等事業

第Ⅳ章 事例から学ぶ医療安全

1. 薬剤
2. 輸血
3. 治療・処置
4. 医療機器・医療材料の使用・管理
5. ドレーン・チューブ類の使用・管理
6. 検査
7. 療養上の世話
8. 誤認



感染看護学

患者の健康と権利を守り安全に看護を実践する



編集 操 華子 静岡県立大学 川上和美 順天堂大学

B5判・276頁 2022.1. ISBN978-4-524-22978-9 定価2,860円(本体2,600円+税10%)

本書の特長

- すべての看護実践の基盤となる「感染予防」の視点で、看護実践の考え方を学ぶテキストです。感染予防策をなぜ、どのように、いつ講じるのかなど、状況に応じて根拠を踏まえながら考える力を養うことを意識して編集しています。
- 第Ⅰ～Ⅴ章では、基礎看護学や専門基礎科目(微生物学、感染症学、免疫学)の既習知識をおさらいします。
- 第Ⅵ章では、新型コロナウイルス感染症においてフォーカスされた、感染症に伴って生じる倫理的課題について考えます。
- 第Ⅶ章では、さまざまな病棟・領域・状況における特徴的な感染予防上の問題・課題を整理したうえで、具体的な事例をふまえた感染看護の実際を展開しています。
- 第Ⅷ～Ⅸ章で、ベッドサイドでの「個」に対する感染看護にとどまらず、病棟や施設単位での感染管理についても学ぶことができます。

執筆

操 華子 静岡県立大学
前田ひとみ 熊本大学
Judith F. English Certified in Infection Control emeritus
石松 伸一 聖路加国際病院
府川真理子 小田原循環器病院
菅原真優美 新潟青陵大学
青山 恵美 愛知医科大学
齋藤 潤栄 鹿児島共済会南風病院
杉村きよ美 静岡済生会総合病院
今西 亮 丸子中央病院
川上 和美 順天堂大学

菊地 義弘 宮城県立がんセンター
小野 和代 東京医科歯科大学総合診療機構
石田恵充佳 武蔵野赤十字病院
石幡 理絵 愛育病院
田中 範佳 静岡県立大学
久保田早苗 順天堂大学医学部附属順天堂医院
光延 智美 静岡県立こども病院
糠信 憲明 広島国際大学
横山 久美 順天堂大学
西條 美恵 石巻赤十字病院
鍋谷 佳子 大阪大学

主要目次

- 序章 感染看護学を学ぶにあたって
- 第Ⅰ章 感染症をめぐる歴史と現状
1. 感染症と人類の歩み
 2. 現代社会における感染症をめぐる課題
- 第Ⅱ章 感染の基礎知識と感染症
1. 感染とは
 2. 現代における主な感染症
- 第Ⅲ章 感染症と法制度
1. 感染症に関する法の変遷と感染症法
 2. 日本における感染症にかかわる医療体制
 3. 公衆衛生と感染症
- 第Ⅳ章 感染予防策の実施における考え方
1. 感染予防のための基本的な考え方
 2. 感染予防のための基本技術
- 第Ⅴ章 感染予防における多職種連携
1. 施設内での多職種連携
 2. 地域との連携
- 第Ⅵ章 感染看護と倫理
1. 倫理と人権
 2. 感染症に伴う倫理的課題
- 第Ⅶ章 さまざまな状況における感染看護の実際
1. 一般病棟における感染看護の実際
 - 1-1 一般入院患者
 - 1-2 易感染状態の患者、
 - 1-3 隔離予防策実施中の患者
 2. 外来における感染看護の実際
 3. 救急外来における感染看護の実際
 4. 集中治療領域における感染看護の実際
 5. 周産期領域・NICUにおける感染看護の実際
 6. 手術室における感染看護の実際
 7. 人工透析室における感染看護の実際
 8. リハビリテーション室における感染看護の実際
 9. 小児科病棟における感染看護の実際
 10. 精神科病棟における感染看護の実際
 11. 在宅(訪問看護)における感染看護の実際
 12. 高齢者介護施設における感染看護の実際
 13. 災害時の感染看護の実際
 14. 感染症患者が亡くなったとき
- 第Ⅷ章 感染管理と看護
1. 感染管理プログラム(感染管理活動)とは
 2. 感染管理はどのように行われるか
- 第Ⅸ章 感染管理プログラム展開の実際
1. 院内の感染管理体制の構築・維持のための活動(サーベイランス)
 2. エビデンスに基づく実践(EBP)
 3. アウトブレイク時の感染管理

関連書籍のご紹介

基礎から学ぶ医療関連感染対策(改訂第3版)

P47に詳細情報がごさいます。詳しくはそちらをご確認ください。

家族看護学

臨床場面と事例から考える

改訂第3版



編集 山崎あけみ 大阪大学 原 礼子 清泉女学院大学

B5判・316頁 2022.3. ISBN978-4-524-22929-1 定価2,750円(本体2,500円+税10%)

！ 改訂のポイント 「家族」を分析の単位として理解できるよう、理論や技法を事例を用いて解説したテキスト

- ▶ 今版よりオールカラー化し、視覚的にもよりわかりやすく見やすい紙面となりました。
- ▶ 初学者がより理解しやすいよう、家族看護実践のための理論や考え方(第Ⅰ章～第Ⅲ章)の構成・内容を見直しました。
- ▶ 家族看護過程の展開(第Ⅴ章)は、事例数を10に増やして充実させました。

本書の特長

- ✓ 「家族」を分析の単位として理解し看護実践できるよう、具体的な臨床場面を多数例示しながら、家族看護に関するさまざまな理論や概念をわかりやすく解説しています。
- ✓ 「家族の全体像」「目標とする健康な家族像に向けての看護方針」を整理・理解しやすいよう、ジェノグラム・エコマップを多数掲載しています。
- ✓ 豊富なコラムをとおり、多様な家族をさまざまな側面から見つめる視点を養います。

事例による家族看護実践の展開をとおり、理論や概念をどのように活用してどのように介入するのかを学ぶことができます。

執筆

新垣ナジルタミエ	長野県伊那市役所	原 礼子	慶應義塾大学名誉教授
安藤 藍	千葉大学	針金佳代子	札幌保健医療大学
池田 真理	東京大学	引地 充	希望ヶ丘ホスピタル
石川ふみよ	上智大学	武用 百子	大阪大学
伊藤 正俊	NPO法人から・ころセンター	本間 裕子	武庫川女子大学
緒倉 珠巳	ステップファミリー・アソシエーション・オブ・ジャパン	真継 和子	大阪医科薬科大学
川原 妙	大阪大学	松村ちづか	前武蔵野大学
菊池 良太	大阪大学	松本 和史	東京医療保健大学
北 素子	東京慈恵会医科大学	松本 啓子	香川大学
後藤 佳苗	一般社団法人あたご研究所	三隅 順子	秀明大学
近藤 真理	With ゆう 流産・死産・新生児死等子どもを亡くした家族会	矢田 浩明	NPO法人コレクティブハウジング社
澤田いずみ	札幌医科大学	山崎あけみ	大阪大学
田代麻里江	日本福音自由教会クライストコミュニティ	山本 則子	東京大学
田中 紀紀	NPO法人青少年自立援助センター	吉江 悟	Neighborhood Care
津村 明美	横浜子どもホスピスプロジェクト	吉田 滋子	東京大学
中村 伸一	中村心理療法研究室	Laurel L. Northouse	ミシガン大学
		Lixin Song	ノースカロライナ大学
		Marsha Aizumi	Our Family Coalition

主要目次

- 序章 家族看護をはじめて学ぶ
- 第Ⅰ章 家族看護学における対象理解
1. 発達する家族
 2. システムとしての家族
 3. 家族を理解するポイント
 4. 家族像の形成
- 第Ⅱ章 家族看護過程に用いる考え方(理論、モデル、概念)
1. 健康な家族についての考え方
 2. 家族の力を引き出すのに役立つ考え方
 3. 代表的な家族アセスメントモデル
- 第Ⅲ章 家族看護過程：家族の健康を引き出す看護過程
1. 家族看護過程とは
 2. 家族看護過程の展開
- 第Ⅳ章 家族を取り巻く社会的・文化的背景
1. 日本人と家族
 2. 現代日本の家族
 3. 在宅療養者と家族
- 第Ⅴ章 事例で学ぶ家族看護過程の実践
1. 配偶者からの暴力被害者と家族の看護：DVのスクリーニングと被害者の支援
 2. 医療的ケア児を在宅に迎える家族への看護：社会資源を取り入れた家族資源の再構築を目指す
 3. 小児生体肝移植における患者と家族への看護：家族の凝集性を回復する
 4. 教育期にあるうつ病患者と家族の看護：家族システムの再構築を支える
 5. 教育期にある脳腫瘍患者と家族の看護：家族の生活の構造に変容を促す
 6. がん治療のため入院している在留外国人と家族の看護：文化の違いを理解して信頼関係を構築し、支える
 7. 高次脳機能障害と共に生きる患者・家族の看護：外来において家族の適応を促す
 8. 意思決定過程にあるがん患者と家族の看護：意思決定の葛藤を支える
 9. 認知症高齢者を介護する家族の看護：家族内二つの競合調整と生活リズムの安定化を促す
 10. 完結期にある虚弱高齢者と家族の看護：在宅での看取りにおける意思の揺れを支える
- 第Ⅵ章 家族看護実践に役立つ研究
1. 家族看護における研究の特徴・課題
 2. 研究計画の方法
 3. 家族看護における研究の実例

先生のこえ

- ➡ 家族の関係を表した図、家族と地域社会の関係を表した図などが随所に掲載されていて、学生の「家族看護」についての理解に役立っている。
- ➡ さまざまな理論が具体的な事例を通して解説されている。理論と実践のつながりが学生にもわかりやすい構成となっている。

看護教育学

看護を学ぶ自分と向き合う

改訂第3版

近刊



編集 グレグ美鈴 名城大学

池西悦子 大阪医科薬科大学

B5判・324頁 2024年2月発売予定 本体予価2,700円＋税10%

！ 改訂のポイント 看護教育全般をわかりやすくコンパクトにまとめたテキスト

- ▶ 「ダイバーシティとインクルージョン」の節を新設。学習者の視点から多様性や包摂について理解が深められます。
- ▶ 時勢をふまえ、看護教育における「ICTを活用した学習」について解説した節を新設。
- ▶ 全面カラー化により、より見やすい紙面になりました。

本書の特長

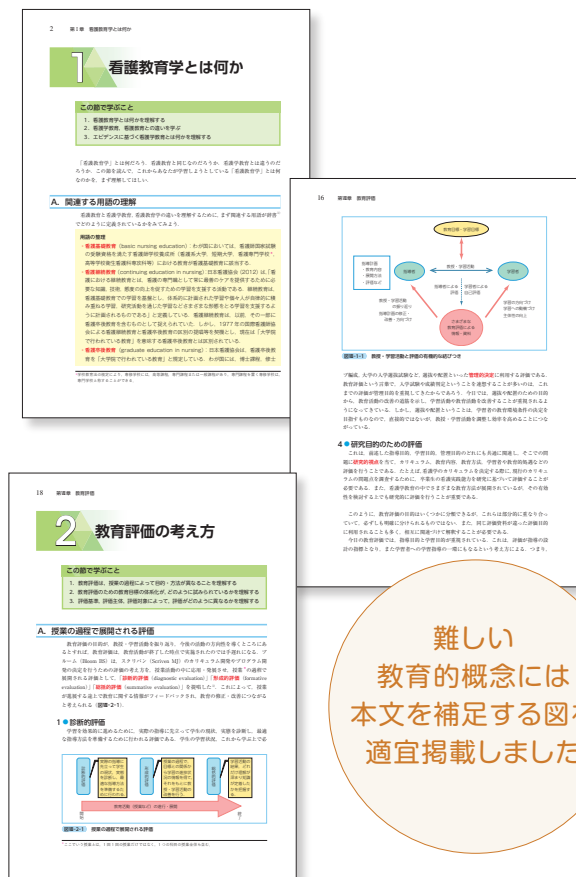
- ✓ “看護を学ぶ自分と向き合い、看護師として、また一社会人として、自ら生涯にわたって成長できる素地を培う”という方針で編集。第Ⅳ章「看護学教育の基盤」にはそのエッセンスが詰まっています。
- ✓ 看護師になるにあたり、看護職の専門職性や、看護職がどのような制度・教育の基に成り立っているか理解できるよう構成。
- ✓ 看護学生や看護師が学習する者として「教育」について知っておくという観点から、カリキュラムや学習理論・学習方法、教育評価等についても解説しています。

執筆

グレグ美鈴	名城大学	安酸 史子	日本赤十字北海道看護大学
奥井 幸子	岡山県立大学名誉教授	塚本 友栄	自治医科大学
橋本麻由里	岐阜県立看護大学	佐々木幾美	日本赤十字看護大学
田村 由美	日本赤十字広島看護大学	朝倉 由紀	ペンローズ＝聖フランシス・ヘルス・サービス／パーカー・アドベンティスト病院
高橋みや子	元宮城大学		
田中 響	鳥取看護大学	Joan Kathy Magilvy	コロラド大学名誉教授
近田 敬子	鳥取看護大学名誉学長	Vicki Erickson	コロラド大学名誉教授
林 千冬	神戸市看護大学	竹熊カツマタ麻子	静岡県立大学
牧本 清子	大阪大学名誉教授	角田みなみ	聖アンソニー看護大学
中岡亜希子	神戸女子大学	松谷美和子	聖路加国際大学名誉教授
池西 悦子	大阪医科薬科大学		
北川 明	順天堂大学		
和賀 徳子	元東京医療学院大学		
北得美佐子	東京医療保健大学		

主要目次

- 第Ⅰ章 看護教育学とは何か
 - 1. 看護教育学とは何か
- 第Ⅱ章 専門職としての看護
 - 1. 専門職とは何か
 - 2. 実践の学問としての看護学
- 第Ⅲ章 看護教育制度
 - 1. 看護制度・看護教育制度の歴史の変遷
 - 2. 看護教育制度の現状
 - 3. 多職種連携教育（IPE）
 - 3. 准看護師制度問題
- 第Ⅳ章 看護学教育の基盤
 - 1. アイデンティティ
 - 2. クリティカルシンキング
 - 3. リフレクション
 - 4. キャリアマネジメント
 - 5. 自己主導型学習
 - 6. ダイバーシティとインクルージョン
- 第Ⅴ章 カリキュラム
 - 1. カリキュラム開発
 - 2. カリキュラムデザイン
 - 3. カリキュラム評価
- 第Ⅵ章 学習理論と学習方法
 - 1. 学習理論
 - 2. 学習方法
 - 3. ICTを活用した学習
- 第Ⅶ章 臨地実習における教育と学習
 - 1. 教育的ケアリングモデル・経験型実習教育
 - 2. 看護学生が直面しやすい問題：臨地実習を通して
- 第Ⅷ章 教育評価
 - 1. 教育評価とは何か
 - 2. 教育評価の考え方
 - 3. 看護学教育での評価の実際
- 第Ⅸ章 欧米における看護学教育
 - 1. 米国における看護学教育
 - 2. 英国における看護学教育



難しい
教育的概念には
本文を補足する図を
適宜掲載しました

※サンプルページは制作中のものです。

看護関係法規

看護職の責任と法的根拠を学ぶ

改訂第2版

近刊



編集 田中幸子 東京慈恵会医科大学 野村陽子 名寄市立大学

B5判・338頁 2024年1月発売予定 本体予価2,500円＋税10%

！ 改訂のポイント 看護業務に関わりの深い法・制度を網羅し，“看護の視点”から解説したテキスト

- ▶ 法・制度の改正・改定など、最新の情報に基づいてアップデートを行いました。
- ▶ 「医療的ケア児支援法」「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」「認知症基本法」「LGBT理解増進法」など、ここ数年で新たに施行された法・制度について項目を新設しました。

本書の特長

- ✓ 看護師免許をもつ看護系大学の教員が中心に編集・執筆し，“看護師に必要な関係法規”を看護の視点から解説しています。
- ✓ 法や制度の成立過程やその意義、看護職や看護実践にどのように関わっているかを解説した、これまでにない「看護関係法規」の教科書です。

執筆

朝居 朋子	藤田医科大学	鮫川 誠司	国際医療福祉大学/神谷町セントラル法律事務所
池田 真理	東京大学		
加藤 典子	大分県立看護科学大学	田中 幸子	東京慈恵会医科大学
亀井美和子	帝京平成大学	野村 陽子	名寄市立大学
酒井美絵子	武蔵野大学	宮坂果麻理	朝日大学

主要目次

第Ⅰ章 看護関係法規を学ぶにあたって

- 1 なぜ看護に関する法規を学ぶのか
- 2 法および関連する規範の概念
- 3 社会の基盤にある法・制度

第Ⅱ章 医療提供体制の基本となる法・制度を理解する

- 1 医療提供体制に関する法・制度を理解する
- 2 医療従事者の身分・業務に関する法・制度を理解する
- 3 社会保険制度に関する法・制度を理解する
- 4 臓器移植法および人の死に関する法・制度を理解する

第Ⅲ章 薬剤に関する法・制度を理解する

- 1 医薬品の取り扱いに関する法・制度を理解する
- 2 薬害被害者の救済に関する法・制度を理解する

第Ⅳ章 地域で看護を提供する際に必要な法・制度を理解する

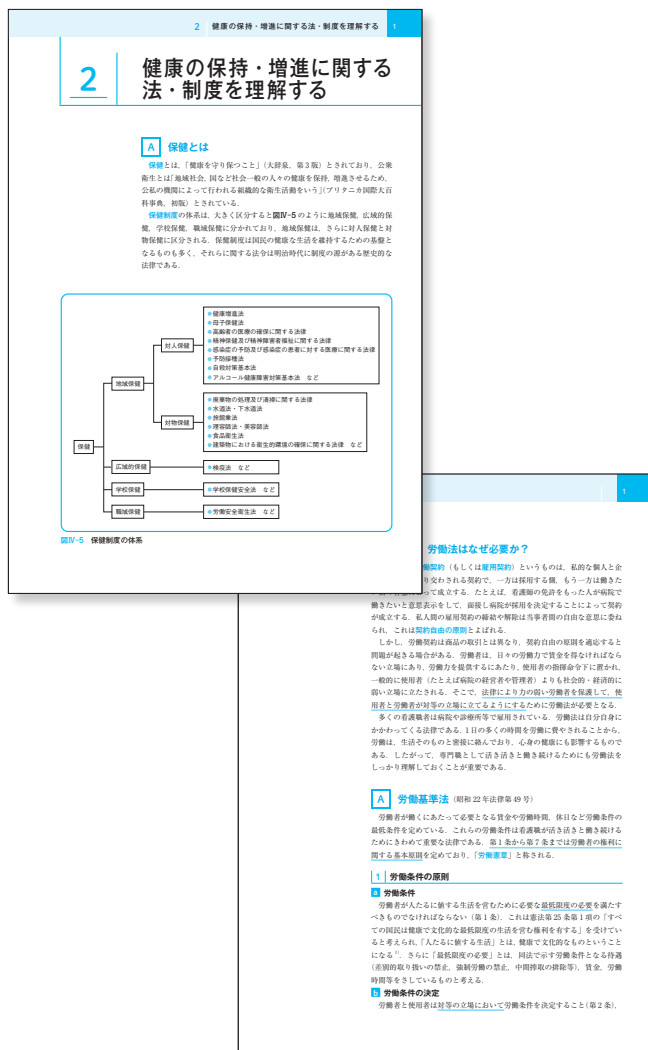
- 1 訪問看護に関する法・制度を理解する
- 2 健康の保持・増進に関する法・制度を理解する
- 3 疾病対策に関する法・制度を理解する
- 4 社会保障・社会福祉制度を理解する
- 5 災害時の医療に関する法・制度を理解する

第Ⅴ章 労働者として労働に関する法・制度を理解する

第Ⅵ章 看護の臨床業務と法・制度の関わりを知る

- 1 看護業務に関係する法規を理解する
- 2 臨床で重要となる法判断・裁判例を通して考える

第Ⅶ章 看護政策と立法



※ サンプルページは制作中のものです。

看護と研究 根拠に基づいた実践

Evidence-based Practice(EBP)

新刊



編集 西垣昌和 国際医療福祉大学

B5判・176頁 2023.8. ISBN978-4-524-24864-3 定価2,750円(本体2,500円+税10%)

本書の特長

- ✓ 根拠に基づいた看護実践(EBP)のために必要な考え方と思考スキルを身に付けることができる、まったく新しい教科書。
- ✓ 第II章でEBPのステップを丁寧に解説し、第III章では実際の研究論文を題材に臨床疑問から文献探索、研究結果の解釈・吟味、臨床実践への適用までの流れを例示しています。
- ✓ 第IV章には、EBPに必要とされる情報リテラシーや、論文を読み解くために必要となる基礎的な統計知識、研究デザインの解説を収載。

執筆

西垣 昌和 国際医療福祉大学
山川みやえ 大阪大学
矢山 壮 関西医科大学
徳永 友里 杏林大学

三條真紀子 国際医療福祉大学
白石 三恵 大阪大学
落合 亮太 横浜市立大学

主要目次

第I章 根拠に基づいた実践(EBP)の概要を知る

1. 根拠に基づいた実践(EBP)とは

第II章 根拠に基づいた実践(EBP)の5つのステップを学ぶ

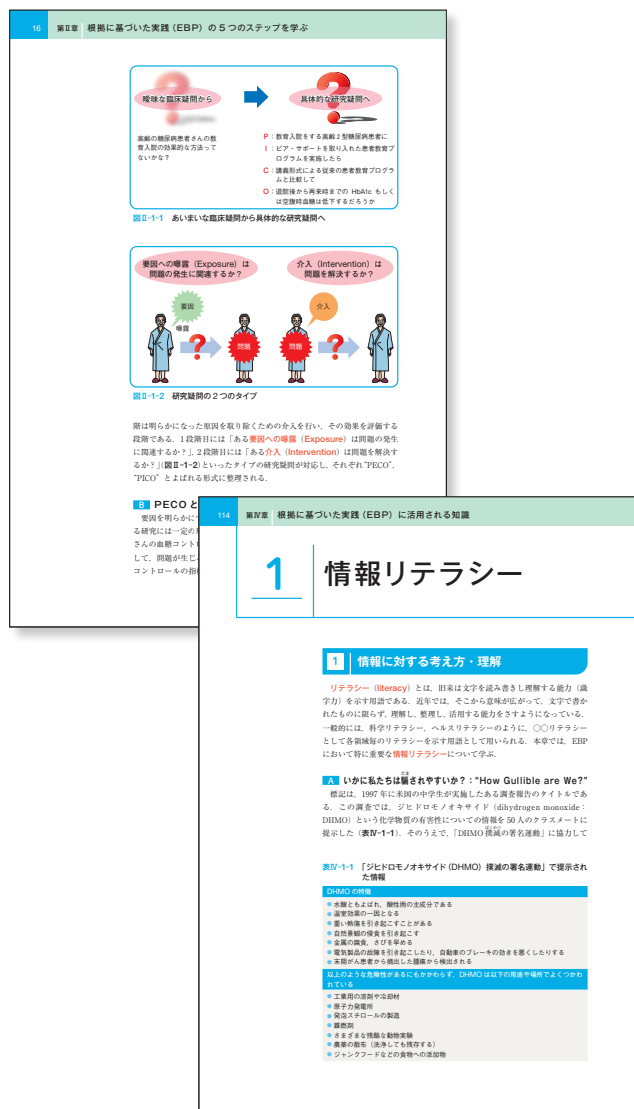
1. 課題・疑問を形式化する
2. エビデンスを入手する
3. 文献を吟味する
4. 研究結果を適用し実施する
5. 実施結果(アウトカム)を評価する
6. 研究をする:エビデンスを「つくる」

第III章 さまざまな研究方法の文献(論文)を読む

1. 横断研究
2. ケースコントロール研究
3. 後ろ向きコホート研究
4. 前後比較研究
5. ランダム化比較試験(RCT)
6. システマティックレビュー
7. ケーススタディ
8. 内容分析
9. グラウンデッド・セオリー・アプローチ
10. 現象学的研究

第IV章 根拠に基づいた実践(EBP)に活用される知識

1. 情報リテラシー
2. 基本的な統計の知識
3. 研究デザイン・研究方法の紹介



NiCE病態・治療論 シリーズ

■シリーズの紹介

- 「NiCE病態・治療論」シリーズは、**専門基礎分野**において疾病の**病態・診断・治療を学ぶ**ための教科書です(全14巻、ラインナップは次頁参照)。
- 医師と看護師が共同で編集**することで、**看護学生に必要な知識**という視点で編集されています(※第11巻除く)。
- 各巻は「第Ⅰ章 機能と障害」「第Ⅱ章 診断・治療」「第Ⅲ章 疾患各論」を基本構成としています。
- 看護師国家試験出題基準**に記載の疾病や検査・治療方法について**網羅**しています。

■シリーズの特徴

- 単に病態・治療の知識を学ぶだけの教科書ではなく、その後に学ぶ看護学や実習につながる学びとなるよう、次の3点を重視して構成しています。
- ①**症状の生じる仕組みが構造・機能の障害から理解できる**
- ②**診断の進め方・考え方がわかる**
- ③**臨床の看護に結びつく病態・治療の知識が得られる**

Pick up Point

臨床の看護に結びつく 病態・治療の知識が得られる

[7] 腎・泌尿器疾患より

A 病態

疫学

近年の腎がんの罹患率は、がんの危険因子としては、遺伝因子としては、中枢神経系血管腫を合併するフォン・ヒッペルリンドウ(von Hippel-Lindau: VHL)病が有名であり、血縁者の40%で腎がんが発症すると考えられている¹⁰⁾。

症状

以前は、肉眼的血尿、疼痛、腹部腫瘍(腎腫瘍)が多かったが、近年は健康診断の普及や他の理由により、早期に発見される機会が多

B 診断

どのような症状から疑われるか

前述のとおり、古典的3主徴が知られるが、発見されることが多い。

診断の進め方・確定診断の方法

腎がんの場合、特異的な血液検査はない。像検査を行い診断する。

その疾患の起こりやすさがわかるよう、疫学を記載しています。

治療経過や予後は、看護計画や患者への説明のための重要な情報です。

治療効果・予後

約2年の治療期間を要し、その内約6~8ヵ月は入院治療となる。急性白血病症例の予後に影響を与える因子を表Ⅲ-2-3に示す。最も予後に影響を与えるのは染色体異常の種類となる。M3以外の若年成人AML症例全体の5年無再発生存率は、約40%である。M3では、70~80%以上と良好である。一方、若年成人ALLでは造血幹細胞移植を実施された症例を含め、約30%である。Ph染色体陽性ALLでは、チロシンキナーゼ阻害薬を治療に組み合わせることで、近年、予後の改善が得られてきている。

患者への教育・注意点

1) 骨髄抑制

従来からの抗がん薬(シタラビンやアントラサイクリン系薬剤等)やチロシンキナーゼ阻害薬等の新規治療薬の重要な有害事象として骨髄抑制が挙げられる。骨髄抑制とは治療に伴い、骨髄中の正常造血幹細胞が抑制されて治療を行うごとに一定期間貧血や白血球減少、血小板減少が出現する現象である。治療開始から10~14日後に出現してくることが多い。

貧血に関しては適宜赤血球輸注と重篤な合併症につながる期間中でも維持するようにし、血球減少に注意してもらう。

[6] 血液・造血器疾患より

どのような症状からその疾患が疑われるのか、患者をアセスメントする際の視点が得られます。

医学的な観点から、患者への教育や退院支援、生活上の配慮について述べられています。

臨床で役立つ知識

放射線性肺炎の早期発見のためのアセスメント

胸部の放射線治療を行ううえで、放射線性肺炎発症の可能性は、常に念頭に置く必要がある。治療中や治療後の患者ケアを行う際には、咳嗽や呼吸困難感などの自覚症状、経皮的動脈血酸素分圧(SpO₂)の低下、肺の捻髪音の聴取などがないかチェックし、早期に発見する努力が必要である。

囲み記事は「臨床で役立つ知識」のほか、知識を掘り下げる「もう少しくわしく」、その他のさまざまな情報をまとめた「コラム」の3つのパターンに分けて掲載しています。

もう少しくわしく

TNM分類

TNM分類は、がんの進展度を分類したものであり、原発腫瘍の進展度(T因子)、所属リンパ節転移の有無(N因子)、遠隔転移の有無(M因子)の3つの組み合わせにより臨床前期(ステージ)が決定される。病期は治療方針の決定において最も重要であり、予後とも相関している。TMNの各因子は、それぞれ大きさや広がり具合から定義されており、また、がんの種類によってそれぞれ異なる。

[2] 呼吸器疾患より

【1】病態・治療総論

編集 石松 伸一(聖路加国際病院)
林 直子(聖路加国際大学)
鈴木 久美(大阪医科大学)

B5判・310頁 2019.9. ISBN978-4-524-23741-8
定価2,640円(本体2,400円+税10%)

【2】呼吸器疾患

改訂第2版
近刊

編集 石原 英樹(八尾徳洲会総合病院)
竹川 幸恵(大阪はびきの医療センター)

B5判・238頁 2024.3.発売予定
本体予価2,000円+税10%

【3】循環器疾患

編集 八尾 厚史(東京大学)
落合 亮太(横浜市立大学)

B5判・320頁 2019.9. ISBN978-4-524-23743-2
定価2,640円(本体2,400円+税10%)

【4】消化器疾患

編集 津田 泰宏(大阪医科大学／大阪医科大学附属医院)
鈴木 久美(大阪医科大学)

B5判・328頁 2019.2. ISBN978-4-524-23744-9
定価2,640円(本体2,400円+税10%)

【5】内分泌・代謝疾患

編集 能登 洋(聖路加国際病院)
林 直子(聖路加国際大学教授)

B5判・242頁 2019.3. ISBN978-4-524-23745-6
定価2,200円(本体2,000円+税10%)

【6】血液・造血器疾患

編集 安藤 潔(東海大学医学部付属病院)
横田 弘子(東海大学医学部付属病院)

B5判・206頁 2019.5. ISBN978-4-524-23746-3
定価2,200円(本体2,000円+税10%)

【7】腎・泌尿器疾患

改訂第2版
近刊

編集 竹田 徹朗(獨協医科大学埼玉医療センター)
鈴木 和浩(群馬大学)
岡 美智代(群馬大学)

B5判・246頁 2024.3.発売予定
本体予価2,000円+税10%

【8】脳・神経疾患

編集 川上 徳昭(川上脳神経外科クリニック)
綿貫 成明(国立看護大学校)

B5判・308頁 2020.3. ISBN978-4-524-23748-7
定価2,640円(本体2,400円+税10%)

【9】運動器疾患

編集 土井田 稔(岩手医科大学)
秋山 智弥(岩手医科大学)

B5判・248頁 2019.9. ISBN978-4-524-23749-4
定価2,200円(本体2,000円+税10%)

【10】感染症／アレルギー／膠原病

編集 竹末 芳生(兵庫医科大学) 佐野 統(兵庫医科大学名誉教授)
一木 薫(兵庫医科大学病院) 東 直人(兵庫医科大学)

B5判・302頁 2019.7. ISBN978-4-524-23751-7
定価2,420円(本体2,200円+税10%)

【11】皮膚／耳鼻咽喉／眼／歯・口腔疾患

編集 片山 一朗(大阪市立大学) 阪上 雅史(兵庫医科大学)
五味 文(兵庫医科大学) 岸本 裕充(兵庫医科大学)

B5判・382頁 2019.8. ISBN978-4-524-23752-4
定価3,080円(本体2,800円+税10%)

【12】精神疾患

改訂第2版
近刊

編集 加藤 温(国立国際医療研究センター病院)
森 真喜子(国立看護大学校)

B5判・226頁 2024.1.発売予定
本体予価2,000円+税10%

【13】産科婦人科疾患

編集 百枝 幹雄(聖路加国際病院)
山中美智子(聖路加国際病院)
森 明子(湘南鎌倉医療大学)

B5判・414頁 2019.4. ISBN978-4-524-23754-8
定価3,080円(本体2,800円+税10%)

【14】小児疾患

編集 真部 淳(北海道大学)
松藤 凡(聖路加国際病院)
小林 京子(聖路加国際大学)

B5判・380頁 2019.4. ISBN978-4-524-23755-5
定価2,860円(本体2,600円+税10%)

生化学



著 石堂一巳 徳島文理大学

B5判・168頁 2022.1. ISBN978-4-524-22839-3 定価2,420円(本体2,200円+税10%)



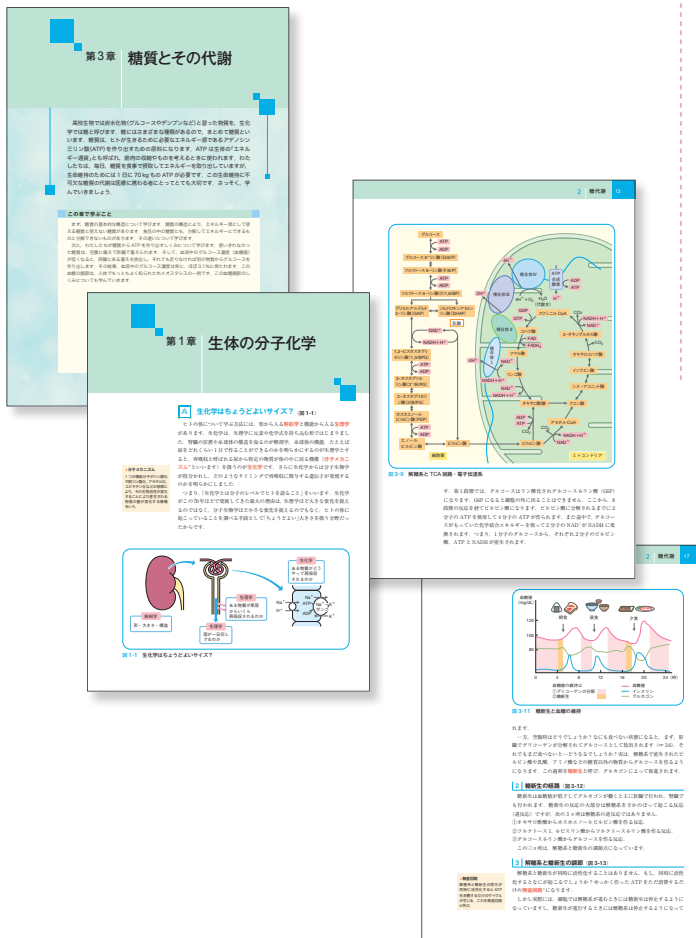
本書の特長

- ✓ 看護学生にとって“難しい”イメージのある生化学を、わかりやすく、興味をもって学べるよう、様々な工夫をしています。
- ✓ 各章の冒頭に「導入」を設けています。高校までの知識の振り返りや、身近な題材とのつながりから、学習内容への関心を引き出します。
- ✓ 「導入」の後に「この章で学ぶこと」を設けています。章全体のストーリーを知ることができ、全体像をイメージしながら読むことができます。
- ✓ 視覚的に理解できるよう、わかりやすく工夫された図を数多く掲載しています。
- ✓ 学生の興味・関心を惹くコラムを随所に挿入しています。健康に関すること、栄養学に関すること、病気や治療に関することなど、生化学が身近な生活や、これから学ぶ多くの医学に関係していることが感じられます。



主要目次

- 第1章 生体の分子化学
- 第2章 代謝の基礎と酵素・ビタミン・ミネラル
 - 1 代謝の基礎
 - 2 酵素
 - 3 ビタミン
 - 4 ミネラル
- 第3章 糖質とその代謝
 - 1 糖質の構造
 - 2 糖質代謝
- 第4章 脂質とその代謝
 - 1 脂質の構造
 - 2 脂質代謝
- 第5章 タンパク質とその代謝
 - 1 アミノ酸とタンパク質の構造
 - 2 アミノ酸とタンパク質の代謝
- 第6章 核酸・ヌクレオチド・遺伝
 - 1 核酸の構造と機能
 - 2 ヌクレオチドの代謝
 - 3 遺伝
- 第7章 ホメオスタシスを維持するための情報伝達
 - 1 細胞間情報伝達
 - 2 細胞内情報伝達
- 第8章 水・電解質のホメオスタシスの維持
 - 1 体の中の水分
 - 2 酸塩基平衡
- 第9章 生体防御(免疫)
 - 1 血液
 - 2 免疫のしくみ
 - 3 自己免疫疾患
- 第10章 疾患の生化学
 - 1 生化学の発展により病気の診断が変わった
 - 2 感染症と予防
 - 3 生活習慣病と生化学
 - 4 がんと生化学



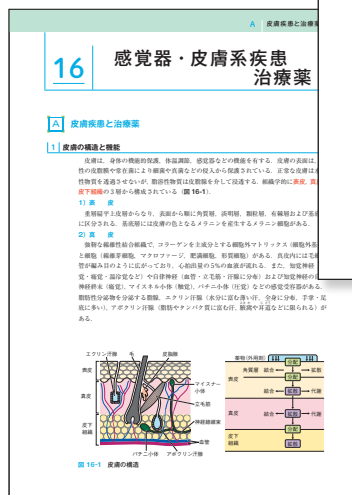
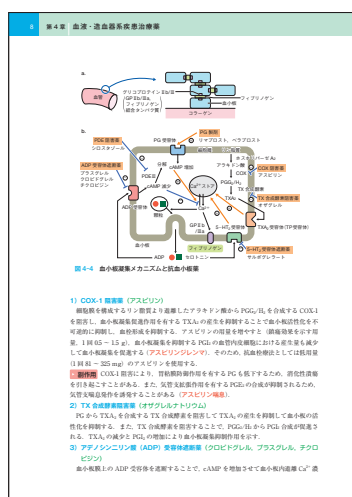
編集 荻田喜代一 摂南大学
首藤 誠 摂南大学

編集協力 竹中 泉 大阪信愛学院短期大学
中山由美 梅花女子大学

B5判・296頁 2020.11. ISBN978-4-524-25291-6 定価2,860円(本体2,600円+税10%)

本書の特長

- ✓ 看護師が必要とする薬物治療学の視点を取り入れた薬理学の教科書。「人」をイメージできるよう、疾患の病態、薬物療法の方針、薬理作用の解説という流れで構成。
- ✓ 患者の一番近くにいる看護師にとって重要な情報である「副作用」「禁忌」については、薬理作用と結びつけて記載し、なぜ起こるのかを理解します。また、患者観察や看護のポイントを盛り込み、臨床とのつながりを示しています。
- ✓ 知識の整理の助けとして、薬剤の作用、特徴をまとめた一覧表を掲載。



執筆

荻田喜代一 摂南大学
米山 雅紀 摂南大学
田中 雅幸 摂南大学
首藤 誠 摂南大学
菊田 真穂 摂南大学
小森 浩二 摂南大学
中山 由美 梅花女子大学
竹中 泉 大阪信愛学院短期大学

主要目次

- 第1章 総論
- 第2章 自律神経系に作用する薬
- 第3章 心臓・血管系疾患治療薬
- 第4章 血液・造血管系疾患治療薬
- 第5章 消化器系疾患治療薬
- 第6章 呼吸器系疾患治療薬
- 第7章 腎臓・尿路・生殖器系疾患治療薬
- 第8章 ホルモン関連薬
- 第9章 代謝系疾患治療薬
- 第10章 抗炎症薬、鎮痛薬
- 第11章 免疫・アレルギー系疾患治療薬
- 第12章 骨・関節系疾患治療薬
- 第13章 抗感染症薬
- 第14章 抗がん薬
- 第15章 中枢神経系疾患治療薬
- 第16章 感覚器・皮膚系疾患治療薬
- 第17章 外科手術で用いられる薬物
- 第18章 救急の際に用いられる薬物
- 第19章 中毒と解毒薬
- 第20章 漢方薬
- 第21章 薬物療法における看護のポイント

微生物学・感染症学

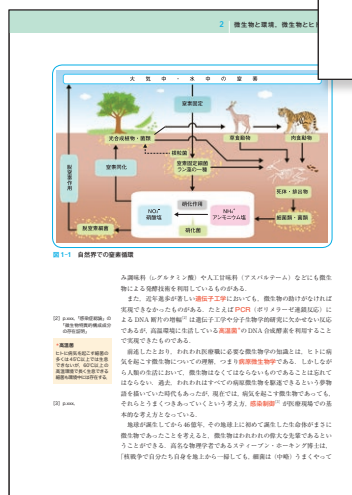
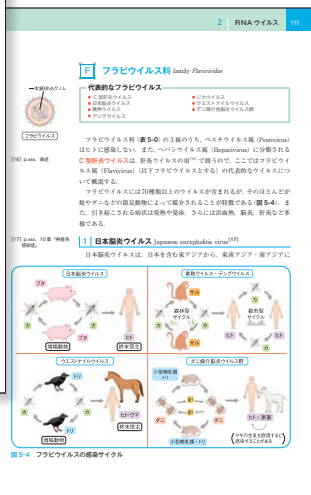


編集 中野隆史 大阪医科薬科大学

B5判・396頁 2020.11. ISBN978-4-524-23798-2 定価3,080円(本体2,800円+税10%)

本書の特長

- ✓ 微生物に重点を置いた講義、感染や感染対策に重点を置いた講義、どちらにも対応できるよう、微生物学編と感染症学編の2本立てとしています。
- ✓ 老年看護学、母性看護学、小児看護学につながる・そこから振り返る際に用いられることを意識し、「性感染症と母子感染」、「高齢者の感染症」、「ワクチン・血清療法」を項目立てしています。
- ✓ 臨床的な内容も重要な領域であるため、感染制御についても充実しています。



執筆

中野 隆史	大阪医科薬科大学	川村 尚久	大阪労災病院
中田 裕二	藍野大学	森松 伸一	大阪医科薬科大学
呉 紅	大阪医科薬科大学	河野 武弘	大阪医科薬科大学病院
鈴木 陽一	大阪医科薬科大学	高崎 智彦	BML総合研究所
金子 幸弘	大阪市立大学	上田英一郎	大阪医科薬科大学病院
太田 伸生	鈴鹿医療科学大学	浮村 聡	大阪医科薬科大学病院
武内 徹	大阪医科薬科大学病院		

主要目次

- 1 微生物学・免疫学
 - 第1章 微生物学総論
 - 1 微生物学を学ぶ意味
 - 2 微生物と環境、微生物とヒト
 - 3 微生物学の歴史
 - 4 微生物の種類と特徴
 - 第2章 細菌総論(細菌の性質)
 - 1 細菌の形態・構造と機能
 - 2 細菌の生育環境・増殖と遺伝・変異
 - 3 細菌の病原性
 - 4 常在細菌叢
 - 第3章 細菌各論(主な細菌)
 - 1 細菌の分類
 - 2 グラム陽性球菌
 - 3 グラム陰性球菌
 - 4 グラム陰性好気性桿菌
 - 5 グラム陰性通性嫌気性桿菌
 - 6 グラム陽性桿菌
 - 7 抗酸菌
 - 8 嫌気性菌
 - 9 らせん菌
 - 10 特殊な細菌
 - 第4章 ウイルス総論(ウイルスの性質)
 - 1 ウイルスの形態・構造
 - 2 ウイルスの増殖
 - 3 ウイルスの遺伝・変異
 - 4 ウイルスの病原性
 - 5 ウイルスによる発がん
 - 第5章 ウイルス各論(主なウイルス)
 - 1 DNAウイルス
 - 2 RNAウイルス
 - 3 肝炎ウイルス
 - 4 プリオン
 - 第6章 真菌
 - 1 真菌
 - 第7章 原虫・蠕虫
 - 1 原虫の性質
 - 2 蠕虫
 - 第8章 免疫学
 - 1 免疫の基本的なしくみ
 - 2 自然免疫系
 - 3 獲得免疫系
 - 4 アレルギー
 - 5 自己免疫疾患
 - 6 感染防御免疫
 - 7 ワクチンと血清療法
 - 2 感染症学
 - 第9章 感染症総論
 - 1 感染症とは
 - 2 感染症の検査・診断と治療
 - 第10章 感染症各論1 全身性および器官別感染症
 - 1 全身性ウイルス感染症
 - 2 発熱性感染症
 - 3 呼吸器感染症
 - 4 消化器感染症・食中毒
 - 5 血液媒介感染症とウイルス性肝炎
 - 6 神経系感染症
 - 7 皮膚・創傷感染症
 - 8 眼感染症
 - 第11章 感染症各論2 その他の感染症
 - 1 性感染症と母子感染
 - 2 高齢者の感染症
 - 3 日見感染症
 - 4 多剤耐性菌による感染症・菌交代症
 - 5 敗血症
 - 6 人獣共通感染症
 - 第12章 感染制御
 - 1 感染対策総論
 - 2 消毒と滅菌
 - 3 院内感染対策

根拠がわかる母性看護過程

事例で学ぶウェルネス志向型ケア計画



編集 中村 幸代 (横浜市立大学)

B5判・264頁 2018.4. ISBN978-4-524-25513-9 定価3,080円(本体2,800円+税10%)

執筆

中村 幸代 横浜市立大学
中田かおり 天使大学
篠崎 克子 国際医療福祉大学
菱沼 由梨 東京都立大学

佐藤 いすみ 日本赤十字看護大学
宮内 清子 和洋女子大学
長田 知恵子 日本赤十字豊田看護大学
竹内 翔子 横浜市立大学

主要目次

第I章 母性看護学の特徴

1.母性看護学の考え方

第II章 看護過程の考え方

1.看護過程とは何か、そしてその展開とは 2.母性看護学における看護過程

第III章 看護過程の展開

A 妊娠期の看護過程

1.正常な妊婦の看護過程

1 妊娠期にある対象者の理解 2 妊娠期の基本的なアセスメント項目

2.切迫早産の看護過程(ハイリスク)

1 切迫早産の対象者の理解 2 切迫早産の基本的なアセスメント項目

3.妊娠高血圧症候群の看護過程(ハイリスク)

1 妊娠高血圧症候群の対象者の理解 2 妊娠高血圧症候群の基本的なアセスメント項目

B 分娩期の看護過程

1 分娩期にある対象者の理解

2 分娩期の基本的なアセスメント項目

C 産褥期の看護過程

1.正常分娩の看護過程

1 産褥期にある対象者の理解 2 産褥期の基本的なアセスメント項目

2.帝王切開の看護過程(ハイリスク)

1 帝王切開を受ける対象者の理解 2 帝王切開後の基本的なアセスメント項目

3.母児分離状況の看護過程(ハイリスク)

1 母児分離にある対象者の理解 2 母児分離の基本的なアセスメント項目

D 新生児期の看護過程

1 新生児期にある対象者の理解

2 新生児期の基本的なアセスメント項目

2.母性看護学におけるセルフケアに関する理論

3.「対象の基本情報」が必要な理由と看護過程への活かし方

事例1 妊娠36週3日に妊婦健診のため来院予定のAさん

事例2 妊娠33週で切迫早産と診断されたBさん

事例3 妊娠31週で妊娠高血圧症候群と診断されたCさん

事例4 分娩第1期の正常経過のDさん

事例5 正常分娩正常産褥、産褥1日目のEさん

事例6 正常分娩正常産褥、産褥4日目のEさん

事例7 帝王切開を受けた産褥3日目のFさん

事例8 36週で分娩、低出生体重児にて母児分離状況にあるGさん

事例9 正常分娩で生まれた日齢1日目のHくん

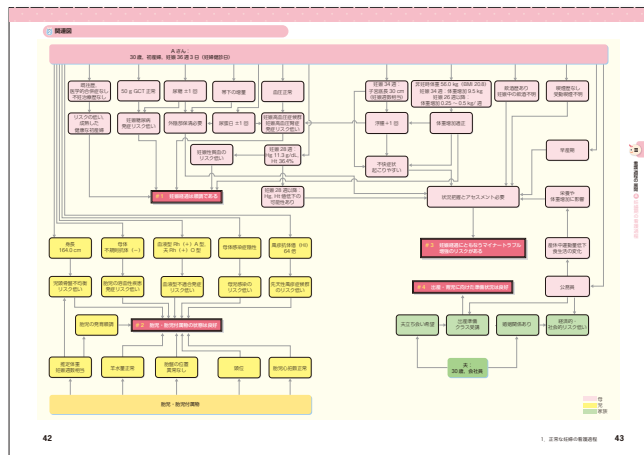
事例10 正常分娩で生まれた日齢4日目のHくん

付録

1.新生児の基準値

2.新生児のフィジカルアセスメント項目

3.産褥期のアセスメント項目



母性看護学実習や演習で、実際に看護過程を展開するうえで基本となるウェルネス志向型を中心に、実習で受け持ちやすい事例を豊富に用いて看護過程を解説。事例の看護過程の展開を通して母性看護学の看護過程を学生が理解し、情報収集やアセスメントの実際に役立てること、そして、受け持ちの対象の看護過程の立案に活かすことが出来るようになる一冊。

根拠がわかる 疾患別看護過程

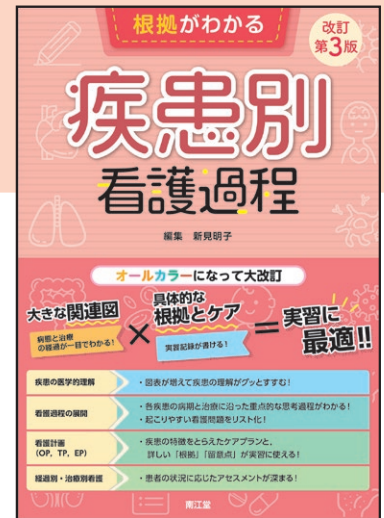


改訂第3版

編集 新見 明子 (川崎医療短期大学)

B5判・1,256頁 2021.9. ISBN978-4-524-24839-1 定価6,820円(本体6,200円+税10%)

大好評参考書がオールカラーになって大改訂! 実習でよく出会う78疾患について、看護過程の展開に必要な医学的知識、病期・治療に沿ったアセスメント、看護計画とケアの「根拠」「留意点」がますます充実。好評の「関連図」では発症から病態生理学的変化、治療経過、看護問題の抽出までを図式化し、患者の経過が一目でわかる。さらに第2部以降で「治療別看護」「経過別看護」「感染症看護」「臨床検査値一覧」を収載し、患者の状況に応じたアセスメントと臨床判断ができる。看護学生や新人看護師の「なぜ・どうして」に応える、実習で役立つ頼れる味方!



執筆

新見 明子	川崎医療短期大学	鈴木千絵子	姫路大学	加藤 公美	川崎医科大学附属病院	平田 早苗	川崎医科大学附属病院
榎本 朋子	川崎医療短期大学	山本 直美	川崎医療短期大学	三宅 映子	川崎医療短期大学	井上 千穂	川崎医科大学附属病院
大倉 美穂	川崎医療福祉大学	黒田寿美恵	県立広島大学	福武まゆみ	川崎医療短期大学	坂口 佳織	川崎医科大学附属病院
辻井 由紀	たつの市民病院	吉田 和美	県立広島大学	松本 啓子	香川大学	寺本 里美	川崎医科大学附属病院
中尾富士子	熊本県立大学	掛屋 純子	川崎医療短期大学	亀高 泰世	岡山大学病院	松本 明美	川崎医療短期大学
平松 貴子	川崎医科大学附属病院	掛田 崇寛	川崎市立看護大学	小淵 京子	川崎医療短期大学	弘中 藍子	岡山大学
沖田 聖枝	川崎医療短期大学	高岡 宏一	関西福祉大学	岡本 亜紀	岡山大学	日下 知子	川崎医療短期大学
河畑 匡法	川崎医療短期大学	岡田みどり	川崎医療短期大学	岡田 淳子	県立広島大学	阿部 裕美	川崎医療短期大学
黒田 裕子	川崎医療短期大学	清水登紀子	川崎医科大学附属病院	片山 友里	元 県立広島大学	合田 友美	千里金蘭大学
林 千加子	川崎医療短期大学	宮川 藍	川崎医療福祉大学	安田 千香	県立広島大学	松本佳代子	川崎医療短期大学
小野 美穂	岡山大学	中川 初恵	旭川大学	村上 美香	川崎医科大学附属病院	中原 貴子	川崎医療福祉大学

主要目次

序章 入院患者の一般的情報収集ガイド 基本的な情報収集項目	第5章 腎・泌尿器系疾患 慢性腎臓病 (CKD) 慢性糸球体腎炎 (症候群) 腎がん (腎細胞がん) 前立腺がん 膀胱がん 腎がん (腎細胞がん)	全身性エリテマトーデス (SLE) 多発性筋炎 (PM)・皮膚筋炎 (DM)	帝王切開術前・後 低出生体重児 不妊症
第1章 循環器系疾患 狭心症 心筋梗塞 心不全 閉塞性動脈硬化症 大動脈解離・心タンポナーデ リンパ浮腫	第6章 血液・造血器系疾患 再生不良性貧血 白血病 悪性リンパ腫 多発性骨髄腫	第11章 感染症 HIV感染症 (AIDS) 肺結核	第17章 小児疾患 川崎病 ファロー四徴症 気管支喘息 腸重積 ネフローゼ症候群 急性リンパ性白血病 (ALL) 麻疹 発育性股関節形成不全 (先天性股関節脱臼)
第2章 呼吸器系疾患 肺がん 肺炎 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 気胸	第7章 脳血管系疾患 脳出血 くも膜下出血 脳梗塞 脳腫瘍	第12章 運動器系疾患 脊髄損傷 腰椎椎間板ヘルニア 大腿骨頸部骨折 変形性膝関節症	第2部 経過・治療別の看護 第1章 経過別看護 急性期 回復期 慢性期 終末期
第3章 消化器系疾患 食道がん 胃がん 潰瘍性大腸炎 大腸がん 肝硬変・肝がん 胆道がん 胆石症 膵炎 胆石症	第8章 神経・筋疾患 多発性硬化症 (MS) 筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 重症筋無力症 (MG) パーキンソン病 (PD)	第13章 皮膚疾患／熱傷 悪性黒色腫 (メラノーマ) 熱傷 アトピー性皮膚炎 疥癬	第2章 治療別看護 薬物療法 食事療法 手術療法 放射線療法 リハビリテーション療法
第4章 栄養・代謝／内分泌系疾患 糖尿病 脂質異常症 甲状腺機能亢進症 (バセドウ病) 甲状腺がん 脂質異常症	第9章 精神疾患 認知症 統合失調症 双極性障害 抑うつ (うつ病) パーソナリティ障害	第14章 眼／咽・喉頭疾患 網膜剥離 白内障 喉頭がん 白内障	付録 感染症看護 臨床検査値一覧
	第10章 膠原病／自己免疫系疾患 関節リウマチ (RA)	第15章 婦人科系疾患 乳がん リンパ浮腫 卵巣がん 子宮がん 卵巣がん 子宮筋腫	
		第16章 母性／産期 周産期の正常過程と標準的看護過程 妊娠高血圧症候群 切迫産産・切迫早産	

根拠がわかる症状別看護過程

こころとからだの69症状・事例展開と関連図

近刊

電子版

改訂第4版

編集 百瀬 千尋 (JCHO横浜中央病院附属看護専門学校)
井澤 晴美 (前佼成看護専門学校)

B5判・896頁 2023.11.発売予定 ISBN978-4-524-22537-8 定価5,940円(本体5,400円+税10%)

身体症状に加え心理・社会的症状を含む69の症状について、モデル的な看護診断と、事例に基づく具体的な看護過程について関連図を交えて解説。今改訂では新たな編集体制のもと、看護計画を見やすい表形式としてより多くの根拠・留意点などを示すようにしたほか、イラスト多く用いてよりビジュアルにわかりやすい紙面とした。看護の視点から人間を捉えた「症状別看護」の決定版。



*表紙は旧版のものです。

執筆

百瀬 千尋 JCHO横浜中央病院附属看護専門学校
大澤 健司 JCHO東京山手メディカルセンター附属看護専門学校
大隈 直子 JCHO九州病院
川崎 寛子 前JCHO東京新宿メディカルセンター附属看護専門学校
飯田 雅子 横浜未来看護専門学校
井澤 晴美 前佼成看護専門学校
福森 茂樹 JCHO東京新宿メディカルセンター附属看護専門学校
茂木真由美 JCHO横浜中央病院
本田 里香 JCHO東京新宿メディカルセンター附属看護専門学校
渡辺 匡代 JCHO横浜中央病院附属看護専門学校
大塚 克江 JCHO横浜中央病院附属看護専門学校

向井恵美子 JCHO神戸中央病院附属看護専門学校
坂本 真澄 JCHO横浜中央病院附属看護専門学校
島村 純子 JCHO東京新宿メディカルセンター
酒井 礼子 南部厚生病院
三井美恵子 JCHO東京山手メディカルセンター附属看護専門学校
佐野なつめ JCHO東京新宿メディカルセンター附属看護専門学校
古畑 聡子 JCHO東京新宿メディカルセンター附属看護専門学校
関根 貴子 JCHO横浜中央病院附属看護専門学校
戸田 法子 JCHO横浜中央病院附属看護専門学校
飯田 真紀 JCHO本部

主要目次

序 看護からみた症状とは

第1章 呼吸

1. 咳嗽・喀痰
2. 呼吸困難
3. 咯血
4. 胸水

第2章 循環

1. 血圧異常
2. 動悸
3. 貧血
4. 出血傾向
5. 吐血・下血
6. ショック
7. けいれん
8. 浮腫
9. 腹水
10. 脱水

第3章 栄養・代謝

1. 食欲不振
2. 嚥下困難
3. 悪心・嘔吐
4. 肥満・やせ
5. 血糖異常
6. 発熱
7. 発汗
8. 褥瘡・びらん
9. 黄疸

第4章 排泄

1. 頻尿・尿閉・残尿感
2. 尿失禁

3. 血尿

4. 多尿・乏尿
5. 便秘
6. 下痢
7. 便失禁

第5章 活動・休息

1. 倦怠感
2. 運動障害
3. 振戦
4. 不眠

第6章 知覚

1. 視覚障害
2. 聴覚障害(難聴)
3. しびれ・知覚障害
4. めまい
5. 痒痒感
6. 疼痛

第7章 理解

1. 意識障害
2. 見当識障害
(記憶障害, 知能障害, 妄想, 感情の障害)
3. 幻覚・妄想
4. せん妄
5. コンプライアンスの低下
6. 高次脳機能障害

第8章 伝達

1. 言語障害
2. 失声

第9章 感情

1. 抑うつ状態

2. 依存

3. 不安
4. 恐怖
5. 悲嘆
6. 拒否・攻撃的行動
7. ボディイメージの混乱

かんたん看護研究

さがす・つくる・仕上げる



改訂第2版

編集 桂 敏樹 (京都大学)
星野 明子 (京都府立医科大学)

B5判・234頁 2020.3. ISBN978-4-524-22507-1 定価2,640円(本体2,400円+税10%)

どこから取り組めばよいかわからない、難しくてうまく進められない「看護研究」をどう進めていくか?看護研究をやさしく導き、本書どおりに進めれば効率よく仕上がる、看護研究のガイドブック。ポイントを確実におさえてやさしく解説する。苦手意識を取り除き、看護研究が上手に仕上がるようになる最適な一冊。今改訂では文献の検索方法や倫理審査に関する項目をアップデート。現代に即した使いやすい参考書となった。



執筆

桂 敏樹 京都大学
奥津 文子 関西看護医療大学
臼井 香苗 京都府立医科大学

滝澤 寛子 京都先端科学大学
星野 明子 京都府立医科大学
山崎 浩司 信州大学

横田 素美 文京学院大学
大橋 純子 四天王寺大学
大竹真裕美 社会医療法人一陽会一陽会病院



主要目次

第1歩 看護研究のテーマを探してみよう

- 臨床の現場で感じる疑問や悩みから研究を思い起こそう
 - 臨床の現場に何があるの?
 - ニーズとシーズって何?
 - ニーズとシーズの融合によるケアの創造はなぜ必要なの?
- 臨床で気付いたことを問題としてとりあげよう
 - 臨床の現場で感じる気付きや疑問って何?
 - 看護研究につながる疑問を生むための姿勢って何?
 - 看護研究はどこからどのようにスタートするの?

第2歩 看護研究のテーマを決めよう

- 問題に関連する研究を文献検索して見つけよう
 - 文献検索は何に役立つの?
 - そもそも文献とは?
 - どのような文献をどのように集めるの?
- 研究論文をクリティークしよう
 - 研究論文をクリティークするとは?
 - 何のために研究論文をクリティークするの?
 - どのように研究論文をクリティークするの?
 - 研究論文をクリティークすることは何に役立つの?

第3歩 看護研究計画書を組み立てよう

- 研究の問いから研究の枠組みを整理しよう
 - 研究の枠組みとは?
 - なぜ研究の枠組みが必要なの?
 - 研究デザインには何があるの?
 - 量的研究方法と質的研究方法のどちらを選ばよいの?
 - 研究助成金を獲得するにはどうしたらよいの?
- 量的研究とその研究デザインはこう使おう
 - 量的研究とは?
 - 量的研究にはどのようなものがあるの?
 - どのような場合に量的なアプローチの研究デザインを選択するの?
 - 代表的な量的研究は実際にどうやるの?
 - 量的研究を実際に行うためには何を知ればよいの?
 - 量的研究を行うための具体的な方法とは?
 - 量的研究のデータ分析の具体的な方法とは?
 - 初学者にもできる統計的手法を使った分析はどのようやるの?

3 質的研究とその研究デザインはこう使おう

- 質的研究とは?
- 質的研究のデータ収集法とは?
- 質的研究のデータ分析法とは?
- 代表的な質的研究は実際にどう展開するの?
- 代表的な質的研究は実際にどうやるの?
- 質的研究で重要なことは何?
- 研究を行う上での倫理上の問題を考えよう
 - 看護研究を行う上での倫理とは?
 - 倫理審査を受けなければならない看護研究とは?
 - 倫理上の配慮のポイントとは?
- 実施に即した具体的な研究計画書をつくろう
 - 研究計画書とは?
 - なぜ研究計画書を書く必要があるの?
 - 一般的な研究計画書では何を書けばよいの?
 - 研究助成金を得るための研究計画書の書き方とは?
- 研究計画書に沿って研究を実施しよう
 - 研究の実施で気を付けることは何?

第4歩 発表のための論文をつくろう

- 研究を論文にまとめてみよう
 - 論文にまとめる意義とは?
 - 論文はどうつくるの?
- 学会発表の抄録をつくろう
 - 学会発表の抄録をつくるには?

第5歩 看護研究を次に活かそう

- 研究成果を臨床に活かそう
 - 事例研究は実践に活かせるの?
 - 臨床における研究の本来の目的は何だったの?
 - 臨床に活かせる確かなエビデンスが得られたかどうかを知るには?
 - 研究成果を臨床の看護に活かすにはどうしたらよいの?
- 次の研究につなげよう
 - 実施した研究の問題点は何?
 - 次の研究に向けて何を準備すればよいの?

基礎看護学テキスト

EBN志向の看護実践

近刊

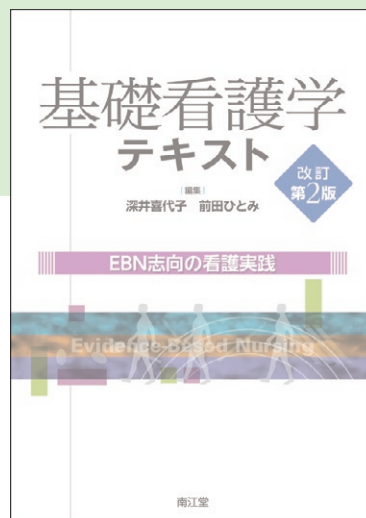


改訂第3版

編集 深井喜代子 (東京慈恵会医科大学)
前田ひとみ (熊本大学)

B5判・510頁 2023.10.発売予定 本体予価5,000円＋税10%

研究データに裏付けされた看護実践の実現を目指し、可能な限りの根拠を示しながら基礎看護学の広範で多様な内容をまとめた好評テキストの改訂版。今版では、新しいエビデンスをもとに全体の記述を見直し、新項目としてゲノム医療、排便障害とケアなどの内容を追加した。看護の科学性を希求する志の高い看護学系教員、次代の看護界を支える看護大学生に必携の書。



*表紙は旧版のものです。

執筆

深井喜代子	東京慈恵会医科大学	佐伯 由香	愛媛大学	真田 弘美	東京大学	横山 美江	大阪市立大学
武田 祐子	慶應義塾大学	池田 理恵	岡山県立大学	仲上豪二郎	東京大学	赤瀬 智子	横浜市立大学
岡 美智代	群馬大学	關戸 啓子	京都府立医科大学	紺家千津子	石川県立看護大学	原 好恵	人間環境大学
宮脇美保子	慶應義塾大学	大川百合子	宮崎大学	小坂喜久代	群馬大学名誉教授	岡田 淳子	県立広島大学
石原 美和	神奈川県立保健福祉大学	香春 知永	武蔵野大学	柳 奈津子	群馬大学	岡田みどり	川崎医療短期大学
松本 智晴	熊本大学	田中 愛子	山口大学	樫野 香苗	名古屋市立大学	武田 利明	岩手県立大学
川口 孝泰	東京情報大学	伊丹 君和	滋賀県立大学	佐藤 正美	東京慈恵会医科大学	肥後すみ子	元純真学園大学
中山 和弘	聖路加国際大学	渡邊 順子	静岡県立大学	荒尾 晴恵	大阪大学	田中 裕二	千葉大学
新見 明子	川崎医療短期大学	丹 佳子	山口県立大学	村上 美華	熊本大学	前田 耕助	東京都立大学
早瀬 良	中部大学	縄 秀志	聖路加国際大学	神田 清子	高崎健康福祉大学	田中美智子	宮崎県立看護大学
前田ひとみ	熊本大学	徳永なみじ	愛媛県立医療技術大学	植田喜久子	日本赤十字広島看護大学	峰松 健夫	東京大学
西田 直子	京都学園大学	大久保暢子	聖路加国際大学	鈴木志津枝	兵庫医療大学	米田 照美	滋賀県立大学
兵藤 好美	岡山大学	中尾富士子	熊本県立大学	安酸 史子	関西医科大学		
若村 智子	京都大学	須釜 淳子	藤田医科大学	鈴木みずえ	浜松医科大学		

主要目次

- I 新時代の看護
 - 1 看護の対象と看護学
 - 2 新時代の看護の役割
 - 3 科学的看護の推進
 - 4 ゲノム医療と看護
 - 5 看護のグローバル化
 - 6 患者・家族の意思決定 (ACPを含む)
 - 7 政策と看護
- II 看護活動展開の方法
 - 1 看護過程
 - 2 看護活動の情報
 - 3 情報テクノロジーと看護
 - 4 健康情報とヘルスリテラシー
- III 看護活動の前提となる技術
 - 1 看護における人間関係とコミュニケーション
 - 2 感染看護
 - 3 看護動作とボディメカニクス
 - 4 医療安全 (リスクマネジメント)
- IV ヘルスアセスメント
 - 1 身体的健康状態のアセスメント
 - 2 心理状態と社会性のアセスメント
 - 3 セルフケア能力
- V 日常生活の援助
 - 1 生活の場を整える
 - 2 生理的ニーズを補充する
- VI 治癒促進と症状緩和のケア技術
 - 1 患部の保護
 - 2 体液バランスを保つケア
 - 3 浮腫のケア (リンパマッサージ)
 - 4 褥瘡の予防ケア
 - 5 ストーマケア
 - 6 安楽・安寧を保つケア
 - 7 悪心・嘔吐のケア
 - 8 排便障害のケア
 - 9 痛みのケア
 - 10 がん疼痛のケア
 - 11 タッチのケア
 - 12 味覚異常のケア
 - 13 視覚障害者のケア (ロービジョンケア)
 - 14 ターミナルケア
- VII 看護の教育的役割
 - 1 看護の教育的役割
 - 2 ヘルスプロモーションの理念と方策
- VIII 診療の補助
 - 1 薬物療法の管理
 - 2 注射
 - 3 輸血
 - 4 検査補助
 - 5 外来看護の役割
 - 6 心肺蘇生と止血法
- IX 看護現象の測定技術
 - 1 脳活動-1 脳波
 - 2 脳活動-2 fMRI
 - 3 生体リズム
 - 4 微生物の同定
 - 5 心拍変動
 - 6 呼吸測定
 - 7 生体反応 (実験動物/組織/細胞)
 - 8 遺伝子の同定
 - 9 病床環境測定
 - 10 視線計測
 - 11 痛み度の測定

新・看護生理学テキスト

看護技術の根拠と臨床への応用

編集 深井喜代子(東京慈恵会医科大学) 佐伯 由香(愛媛大学) 福田 博之(元川崎医療福祉大学)

前版『看護生理学テキスト』を刷新。新たに「学習目標」「キーワード」「学習課題」を設け、より利便性を高めた。わかりやすく解説した“看護による看護のための生理学テキスト”。

定価 5,280 円(本体 4,800 円+税 10%) B5判・512頁 2008.5. ISBN978-4-524-24703-5



基礎から学ぶ医療関連感染対策 (改訂第3版)

標準予防策からサーベイランスまで

著 坂本史衣(聖路加国際病院)

感染対策を“しっかり学べる”テキストの改訂版。感染対策の基礎知識から臨床において議論の分かれる点まで網羅。こまかい予備知識がないビギナーはもちろん、専門看護師、認定看護師をめざしている方にも有用。今改訂では、関連するガイドラインに基づく記述のアップデートに加え、輸入感染症対策の項目を新設。臨床での具体的な感染対策に活用できるチェック項目などを提示し、実用的な部分も意識して解説を加えた。患者の安全を守る医療者として必須の知識がこの一冊に。

定価 3,080 円(本体 2,800 円+税 10%) B5判・192頁 2019.2. ISBN978-4-524-23758-6



今日の助産 (改訂第4版)

マタニティサイクルの助産診断・実践過程

編集 北川真理子(鳥取看護大学/名古屋市立大学名誉教授) 医学監修 生田 克夫(前名古屋市立大学)
内山 和美(前宝塚大学)

マタニティサイクルの助産診断と実践過程に焦点をあてた助産学の標準テキスト。JRC蘇生ガイドライン2015や産婦人科診療ガイドライン2017、妊娠高血圧症候群の新定義・臨床分類2018などに対応した最新版。(1)どのようなデータ・情報をとるか、(2)アセスメントのポイントやコツや根拠は何か、(3)それらから導き出される助産診断の例、(4)助産診断に基づく助産ケアの例とそのポイント、(5)助産ケアの評価というように、一連の助産診断・実践の過程が一目でわかる考え抜かれた見開きの構成。いつの時代も変わることのない助産の技、コツを伝える助産師必携のテキスト。助産を学ぶ学生にも、最新の情報を効率良く収集しアップデートしたい多忙な臨床助産師にもおすすめの一冊。

定価 9,680 円(本体 8,800 円+税 10%) A5判・1,216頁 2019.3. ISBN978-4-524-24625-0



みえる生命誕生 (改訂新版)

受胎・妊娠・出産

監訳 鮫島 浩(宮崎大学医学部附属病院) 大月恵理子(順天堂大学)

助産学・母性看護学・産科学に関連した目を見はる美しさのビジュアル図鑑。手に取りやすいサイズになってリニューアル！ 生殖器の解剖から、遺伝、周産期(生殖・妊娠・分娩・産後)の正常過程と異常過程、不妊治療や生殖医療まで—豊富なイラスト・写真・超音波像・X線像にコンパクトな解説がつき、“教科書”だけではイメージできなかった知識を視覚的に理解できる。参考書や臨床で使える資料としてはもちろん、妊娠・出産に興味をもつ一般読者にも有用な一冊。

定価 6,160 円(本体 5,600 円+税 10%) AB判・256頁 2022.9. ISBN978-4-524-23437-0



今日の治療薬2024 解説と便覧

近刊

編集 伊豆津宏二 (国立がん研究センター中央病院)
今井 靖 (自治医科大学教授)
桑名 正隆 (日本医科大学教授)
寺田 智祐 (京都大学医学部附属病院)

現在使用されているほぼすべての医療薬剤について、その効能・使用法・有害事象などを網羅。薬効群ごとに解説と便覧とした構成が使いやすく圧倒的な支持を得ている。将来の現場ですぐに活用できるように、実習時から使い慣れておきたいベストセラー。

本体予価 4,800 円+税 10%

B6判・1440頁 2024.1. 発売予定

Now
Printing

3ステップ解剖生理学

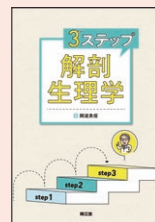
DL

著 開道貴信 (大阪樟蔭女子大学教授)

管理栄養士、看護師を目指す学生に向けた教科書。解剖生理学のいろはから国試レベルの学習内容まで3ステップで学ぶことができる。Step 1, Step 2では高校までの復習も兼ねた解剖生理学の基礎を、Step 3では国試レベルの学習内容を掲載。丁寧な解説だけでなく、読者の理解を助ける豊富なイラストをフルカラーで掲載した、初学者にもおすすめの一冊。管理栄養士国家試験出題基準および看護師国家試験出題基準対応。

定価 3,520 円 (本体 3,200 円+税 10%)

B5判・288頁 2022.10. ISBN978-4-524-22693-1



今日の臨床検査2023-2024

DL

新刊

監修 矢富 裕 (東京大学教授)
山田 俊幸 (自治医科大学教授)

膨大な臨床検査の情報を臨床に即した分類でコンパクトにまとめた、隔年改訂の好評書。保険収載されている検査につき、検体・検査対象物質などをまとめた「概説」と、各検査の目的、方法、判読のポイントなどの「解説」で構成。

定価 5,280 円 (本体 4,800 円+税 10%)

B5判・620頁 2023.6. ISBN978-4-524-23319-9



入門組織学 (改訂第2版)

著 牛木辰男 (新潟大学学長)

初版から20年以上、医学部・コメディカル学生に採用、支持されている初学者向け組織学の教科書。定評のある美しい図版とわかりやすい文章で解説する編集方針を踏襲し、この間の学問領域の進展による新しい知見を盛り込む改訂を行った。また巻末に標本作製法と顕微鏡についての章を設け、より深い知識を得られる充実した一冊となっている。

定価 5,500 円 (本体 5,000 円+税 10%)

B5判・400頁 2013.4. ISBN978-4-524-21617-8



医学概論 医学のコンセプトと医療のエッセンス

著 中島 泉 (名古屋大学名誉教授/中部大学名誉教授)

医療系学部学科の学生を対象とした、医学の歴史、人体の構造、ヒトの正常と異常、病気、医療の現状など、医学一般を学ぶための教科書。医学全体の理念(コンセプト)を学ぶ基礎編と、医学の実践である医療の基本(エッセンス)を知るための展開編の2部構成。多数の図版とコラムにより、わかりやすく、読者の興味を引きつけて通読できるように工夫した。

定価 3,080 円 (本体 2,800 円+税 10%)

B5判・282頁 2015.12. ISBN978-4-524-26751-4



やさしい生理学 (改訂第7版)

DL

編集 彼末一之 (早稲田大学特任教授)

能勢 博 (信州大学特任教授)

医療系学生のために生理学の基本的な内容について、文献的考察は極力省略し、一般的に認められていることをわかりやすく、かつ簡単に解説したテキスト。改訂第7版では半分以上の章を全面改訂し、とくに運動療法にかかわる「代謝」「体温」「筋」の章をアップデート。また全ページフルカラーとし、視覚的理解を促進する紙面構成とするともに、各章冒頭に「Starter Question」を設けて学習内容を俯瞰できるよう工夫している。

定価 2,860 円 (本体 2,600 円+税 10%)

B5判・342頁 2017.12. ISBN978-4-524-25417-0



入門人体解剖学 (改訂第6版)

DL

近刊

著 藤田恒夫 (新潟大学名誉教授)
改訂 藤田信也 (長岡赤十字病院副院長)

刊行以来定評を得ている初学者のための解剖学書。今改訂では紙面デザインを一新し、さらに見やすくなった。全章にわたり臨床に必要な解剖学の記述を補完したうえで、3章に「細胞と細胞小器官」の項を追加し、「13章 神経系」を大幅に加筆した。また、臨床に関する内容を新設の「コラム」や「臨床ノート」にまとめ、臨床画像を多数追加した。

本体予価 5,400 円+税 10%

B5判・440頁 2023.12. 発売予定

Now
Printing

わかりやすい病理学 (改訂第7版)

DL

監修 恒吉正澄 (九州大学名誉教授/国際医療福祉大学特任教授)

編集 小田義直 (九州大学教授)

相島慎一 (佐賀大学教授)

視覚的に理解することが容易なシェーマ図を豊富に盛り込んだ病理学の教科書。通読のしやすさに優れ、アドバンスな内容な臨床的知識、コラム的な解説は文字の大きさと本文とは区別しており、レベルに応じた学習が可能。今版では、難易度が高い章における構成変更のほか、医療系国家試験に対応する図の追加や文字の大きさの区別化を徹底するなど、さらに「わかりやすさ」を追求した。

定価 2,970 円 (本体 2,700 円+税 10%)

B5判・364頁 2021.3. ISBN978-4-524-22654-2



基礎テキスト

最新育児小児病学 (改訂第7版)

監修 黒田泰弘(徳島大学名誉教授)
編集 香美祥二(徳島大学病院長)／森 健治(徳島大学教授)

医療福祉系学科学生向けに「小児科学」をコンパクトにまとめた好評教科書。「育児学」に加えて「小児科学」をバランス良く学習できることが特徴。今改訂では、最新の知見を取り入れることはもちろん、統計数値や法制度についての記述もアップデート。「小児病学」部分の記述に軽重をつけ、よりわかりやすい内容となった。



定価 3,300 円 (本体 3,000 円+税 10%)
B5判・260頁 2018.3. ISBN978-4-524-25178-0

基礎医学統計学 (改訂第7版)

共著 加納克己(筑波大学名誉教授)
高橋秀人(国立保健医療科学院)

数学的な証明を大胆に省き、例題を解きながら統計手法を学ぶことで、実践的な能力を身につけられるロングセラー教科書の改訂第7版。医学統計で用いられるほとんどの手法をカバー。今改訂では、導入として「統計学を学ぶために」の章を新設したほか、キャラクターを活用しより親しみやすい紙面構成に刷新。むずかしいと思われがちな統計学を、苦手意識を持つことなく学習できる。これから統計を学ぶ学生必読の一冊。

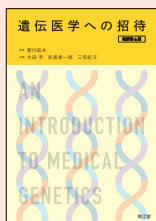


定価 2,530 円 (本体 2,300 円+税 10%)
B5判・242頁 2019.3. ISBN978-4-524-24149-1

遺伝医学への招待 (改訂第6版)

監修 新川詔夫(長崎大学名誉教授／北海道医療大学名誉教授)

遺伝医学のコンパクトな入門教科書として多くの学生に広く支持されている好評書。基礎的内容から、臨床で役立つ知識を、わかりやすく、親しみやすい口語調で解説。用語解説、コラムを充実させている内容が理解しやすい。



定価 2,200 円 (本体 2,000 円+税 10%)
A5判・196頁 2020.1. ISBN978-4-524-24931-2

イラストレイテッド 心電図を読む 鑑別に迷わないために (改訂第2版)

監修 杉浦哲朗(土佐市民病院名誉院長/高知大学特任教授)
著 土居忠文(高知医療支援研究所所長)

数多ある心電図本のなかでも良書としてベストセラーを誇る心電図ガイドが、新規図を豊富に盛り込みついに改訂。心臓の病態を波形から読み取るノウハウを凝縮し、頭に入れておくべき鑑別疾患をコンパクトにまとめた。学生はもちろん、現場に出た臨床検査技師、看護師の入門書に最適で、心電図の判読スキルを無理なく身につける一冊に仕上がった。暗記に頼らない心電図の本当の読み方がここにある。



定価 3,740 円 (本体 3,400 円+税 10%)
B5判・184頁 2016.9. ISBN978-4-524-25543-6

はじめて学ぶやさしい疫学 日本疫学会標準テキスト (改訂第4版)

監修 日本疫学会

医療・保健従事者にとって必須の基礎科学でありながら、理解するのが難しいといわれている疫学について、初学者を対象にわかりやすく解説した好評テキスト。内容は基本的事項にしばり、簡潔な文章とともに図表、イラストによって視覚的な理解をたすけ、実践的な流れを習得できる構成とした。

Now
Printing

本体予価 2,200 円+税 10%
B5判・220頁 2023.12. 発売予定

医療福祉をつなぐ関連職種連携 講義と実習にもとづく学習のすべて

編集 北島政樹(国際医療福祉大学名誉学長)

急性期から回復期・維持期にかけての様々な職種間連携、病院間連携、医療-福祉連携を、豊富な事例とともに学べる、チーム医療・関連職種連携を一から学ぶ学生必携のテキスト。関連職種連携が必要となった背景やその理論等を学ぶ講義編と、知識を実践に活かすPBL形式の演習・実習編という構成で、医療・福祉の現場で行われる様々な連携の基礎知識を身に付けることができる。



定価 3,520 円 (本体 3,200 円+税 10%)
A4判・220頁 2013.4. ISBN978-4-524-26802-3

やさしい保健統計学 (改訂第5版増補)

著 縣 俊彦(元国際医療福祉大学教授)

看護師・保健師養成校の学生が、保健統計学の基礎的な概念と手法を理解できるよう、身近な例題で解説したテキスト。数式や代数・記号の使用を厳選し、学習の目安となる項目の難易度とキーワードを明示するなど、初学者でもわかりやすい内容になっている。増補版では、国民保健の現状にあわせ、各種統計データの更新を行った。



定価 1,980 円 (本体 1,800 円+税 10%)
B5判・206頁 2019.3. ISBN978-4-524-24124-8

minimum essentialを わかりやすくまとめた 南江堂シンプルシリーズ

シンプル解剖生理学

著 河田 光博 (京都府立医科大学名誉教授)
樋口 隆 (福井大学名誉教授)

人体の構造(解剖)と機能(生理)を関連づけ、ビジュアルな図を多用して平易に解説。知識の整理に役立つ紙面構成。



定価3,520円(本体3,200円+税10%)
B5判・368頁 2004.1. ISBN978-4-524-22054-0

シンプル生理学 (改訂第8版)

著 貴邑 富久子 (横浜市立大学名誉教授)
根来 英雄 (福井医科大学名誉教授)

医療系学部学生対象の生理学の定番教科書。初学者でも通読しやすい内容で、読者の興味を惹く生理学の実験やエピソードも多数紹介。



定価3,300円(本体3,000円+税10%)
B5判・384頁 2021.3. ISBN978-4-524-22655-9

シンプル生化学 (改訂第7版)

監修 林 典夫 (東北大学名誉教授)
廣野 治子 (前東北大学医歯技術短期大学部教授)
編集 野口 正人 (久留米大学名誉教授)
五十嵐 和彦 (東北大学大学院教授)

基本事項の解説に最新の知見を盛り込んだ好評テキスト。この一冊で膨大な生化学の全体像がつかめる、コンパクトながら充実した記述内容。



定価3,190円(本体2,900円+税10%)
B5判・458頁 2020.3. ISBN978-4-524-24659-5

シンプル薬理学 (改訂第6版)

編集 野村 隆英 (藤田医科大学名誉教授)
石川 直久 (愛知医科大学名誉教授)
梅村 和夫 (浜松医科大学教授)

進歩が早く膨大な内容を含む薬理学の全体像と最新情報を、わかりやすい記述と豊富な図表によって解説した好評テキスト。



定価3,190円(本体2,900円+税10%)
B5判・368頁 2020.1. ISBN978-4-524-24658-8

シンプル病理学 (改訂第8版)

編集 笹野 公伸 (東北大学教授)
岡田 保典 (順天堂大学教授/慶応義塾大学名誉教授)
安井 弥 (広島大学教授)

今改訂では、新知見の追加・内容の更新と共に、画像所見の理解が肝要となる病理学においてより効率的な理解ができるよう、画像加工の追加やシェーマ併載といった工夫を計った。



定価3,300円(本体3,000円+税10%)
B5判・428頁 2020.7. ISBN978-4-524-24934-3

シンプル微生物学 (改訂第6版)

編集 小熊 恵二 (岡山大学名誉教授)
堀田 博 (神戸大学名誉教授/甲南女子大学教授)
若宮 伸隆 (徳川医科大学名誉教授)

ミニマムな解説を骨子としつつ、新知見、展望などのAdvanceまでをしっかりとおさえている内容が、コメディカルから医学部生までの幅広い学生に好評のテキスト。



定価3,520円(本体3,200円+税10%)
B5判・474頁 2018.3. ISBN978-4-524-25483-5

シンプル免疫学 (改訂第5版)

共著 中島 泉 (中部大学学事顧問/名古屋大学名誉教授)
高橋 利忠 (愛知県がんセンター名誉総長)
吉開 泰信 (九州大学名誉教授)

免疫学の重要なポイントをコンパクトにまとめつつ、最新の研究もカバーしたコメディカル学生のための教科書。

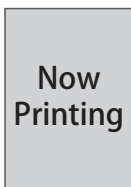


定価3,190円(本体2,900円+税10%)
B5判・310頁 2017.9. ISBN978-4-524-25446-0

シンプル衛生公衆衛生学 2024

監修 小山 洋 (群馬大学名誉教授)
辻 一郎 (東北大学名誉教授)
編集 上島 通浩 (名古屋市立大学教授)
大久保孝義 (帝京大学教授)

“精選された内容をわかりやすく伝える”をコンセプトにした衛生学・公衆衛生学の定本。

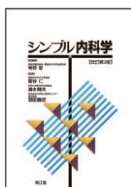


本体予価2,600円+税10%
B5判・430頁 2024.3.発売予定

シンプル内科学 (改訂第2版)

総編集 寺野 彰 (獨協学長兼理事長/獨協医科大学名誉学長)
編集 菅谷 仁 (獨協医科大学名誉教授/足利赤十字病院)
清水 輝夫 (帝京大学医学部名誉教授)
羽田 勝征 (埼玉医科大学総合医療センター客員教授)

最新かつ重要な知識が整理されたスタンダードなテキストの改訂版。初版同様、基礎から臨床まで、習得すべき必須の内容が十分に解説されている。



定価7,150円(本体6,500円+税10%)
B5判・736頁 2017.9. ISBN978-4-524-26658-6

南江堂コンパクトシリーズ

コンパクト微生物学 (改訂第5版)

編集 小熊 恵二 (岡山大学名誉教授)
堀田 博 (神戸大学名誉教授/甲南女子大学教授)
編集 林 俊治 (北里大学教授)
石戸 聡 (兵庫医科大学教授)

微生物学のミニマムエッセンスをまとめたテキスト。総論、各論に加えて臓器別感染症の章を設け、基礎から臨床まで総合的に理解することが可能。



定価2,530円(本体2,300円+税10%)
B5判・304頁 2021.3. ISBN978-4-524-22636-8

コンパクト生化学 (改訂第4版)

編集 大久保孝男 (滋賀医科大学名誉教授)
賀佐 伸省 (札幌医科大学名誉教授)

生化学の基礎を限られた時間内で身に付けることを目指して編集された、コンパクトで分かりやすい教科書。



定価2,420円(本体2,200円+税10%)
B5判・242頁 2017.2. ISBN978-4-524-25946-5

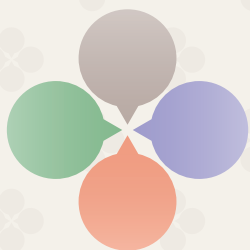
コンパクト栄養学 (改訂第4版)

監修 青山 洋右 (東京大学名誉教授/お茶の水女子大学名誉教授)
廣野 治子 (前東北大学医歯技術短期大学部教授)
編集 久保田 俊一郎 (東京大学名誉教授/帝京大学特任教授)
寺本 房子 (川崎医療福祉大学特任教授)

看護系を中心としたコメディカル学生のための栄養学テキスト。必要な内容をコンパクトにまとめながら、重要な生化学的内容はしっかりと解説。



定価2,420円(本体2,200円+税10%)
B5判・230頁 2017.9. ISBN978-4-524-25945-8



看護教育のための情報サイト

NurSHARE

つながる・はじまる・ひろがる

看護教員の“したい！”に応える 新メディア&プラットフォーム

What's
NurSHARE?

世の中の大きな変化に伴い、看護教育の現場も新たな時代を迎えています。

看護教育の情報を一早くキャッチしたい、自校の教育実践を発信したい、他校の教育方法を知りたい……
そんな看護教員のみなさまの“したい！”を実現できるのが「**NurSHARE(ナースシェア)**」です。

ご利用いただけるコンテンツの一部をご紹介します

すべて
無料



特集・コラム

月替わりの「企画」や定期更新の「連載」など、看護教育に関する記事をお読み頂けます。ご自身の看護実践を記事として発信頂くことも可能です。



教材シェア

ご自身が作成した教材を投稿したり、他のユーザーが作成した教材や、NurSHARE オリジナルのフリーイラストをダウンロードしたりして、講義資料などにご利用頂けます。



掲示板

学会や勉強会、セミナーなどの開催情報を投稿し、参加者を募ることができます。イベントの告知はもちろん、共同研究者の募集などにもご活用頂けます。



★その他、豊富な看護教育コンテンツをご用意しています。

日頃の教育やご業務にお役立ていただける無料イベントやオンラインイベントも随時開催中！ ぜひご参加ください。

ロゴマークに込めた思い



TALK
交流

+



BLOOM
開花

+



COLORFUL
個性

=



NurSHARE
ナースシェア

看護教員が集い会話に花が咲くイメージを
ロゴマーク化しました。
カラフルな配色は教員一人ひとりの
幅広い個性をあらわしています。
外側に向かって明るくなるグラデーションには、
看護教育が未来へとひろがっていくことへの
願いが込められています。

●ご登録はこちらから

<https://www.nurshare.jp/user/register>

上記の URL を直接入力するか右の二次元コードを読み取り、NurSHARE サイトへと
アクセスしてください。その後は、サイトの表示に従ってお手続きをお願いいたします。



ご採用特典 教科書データサービスのご案内

当社では**教科書ご採用特典**として、

教育場面（投影・学生へ配布する印刷物）でご利用可能な、書籍掲載の図表データ（JPEG）などをダウンロードできるサービスを行っております。

ご採用の折にはぜひご利用ください。

【ご利用いただけるデータ例】

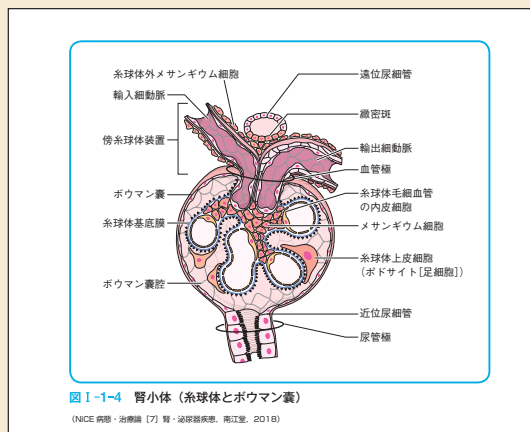


図 I-1-4 腎小体（糸球体とボウマン嚢）

（NICE 病態・治療論 [7] 腎・泌尿器病態、南江堂、2018）

【対象書籍一覧】 カタログ内  マークもご参照ください。

●看護学テキスト NiCE 病態・治療論シリーズ（全14巻）

●看護学テキスト NiCE シリーズ

看護学原論
看護倫理
看護理論
地域・在宅看護論Ⅰ・Ⅱ
成人看護学概論
急性期看護Ⅰ・Ⅱ
慢性期看護
成人看護技術
リハビリテーション看護
エンドオブライフケア
がん看護
老年看護学概論
老年看護学技術
小児看護学Ⅰ・Ⅱ
母性看護学Ⅰ・Ⅱ
精神看護学Ⅰ・Ⅱ
災害看護

国際看護
看護管理学
感染看護学
家族看護学
看護教育学
看護関係法規
看護と研究
生化学
薬理学
微生物学・感染症学

●シンプルシリーズ

●コンパクトシリーズ

●関連対象書籍

イラストレイテッド心電図を読む
遺伝医学への招待

【お申し込み】

- 本サービスのお申込みは下記 URL よりお願いいたします。
<https://www.nankodo.co.jp/customer/textbookapplyentry.aspx>
- 以前に本サービスをご利用いただいたことがある（本サービス ID・パスワードを取得済である）場合は、下記 URL よりログインのうえお申し込みください。
<https://www.nankodo.co.jp/customer/textbookapplycontinue.aspx>



申し込みページ二次元コード



ログインページ二次元コード

【ご利用における注意事項】

- 本サービスは、**大学、短期大学、専門学校等において対象書籍を20冊以上ご採用いただいている先生限定のサービスとなります。**
- **教科書採用が確認できない場合、ご利用登録をお断りさせていただきます。**
（お取引書店から当社への書籍発注を確認したのちに ID・パスワードをお届けいたします。）
- 本サービスのご利用には、**毎年の利用申請**が必要となります。
- 本サービスのご利用には、**利用規約への同意**（Web上に記載）が必要となります。
- 本サービス提供データは、**教育場面（投影・学生へ配布する印刷物）**に限りご利用いただけます。
- 書籍によっては、一部提供できない図表がございます。
- **本サービスを受ける権利を他者に譲渡または貸与することはできません。**
（複数名で該当書籍を使用している場合は、利用者ごとに申請が必要となります。）

ご不明の点は nkdtext@nankodo.co.jp（株式会社 南江堂営業部販売2課）までお問い合わせください。

※お問い合わせの際には、お名前・ご所属を明記くださいますようお願い申し上げます。

◎個人情報保護の目的

ご登録された個人情報は、お客様本人のお問合せの処理、本サービスの維持向上のほか、当社の取扱い商品の案内等に使わせていただくこともございます。

◎個人情報保護方針

弊社ホームページをご覧ください。